

仙台市文化財調査報告書第271集

仙 台 城 跡 4

—平成15年度 調査報告書—



2004年3月

仙台市教育委員会

仙台市文化財調査報告書第271集

仙 台 城 跡 4

—平成15年度 調査報告書—



2004年3月

仙台市教育委員会

序 文

17世紀初頭に初代仙台藩主伊達政宗が仙台城を築き、城下町仙台を育んで以来、仙台は急速な発展を遂げ、人口100万人を超える日本有数の大都市となりました。都市化が進み、かつての城下町の町並みが失われつつある中、仙台城跡は青葉城や天守台という愛称で親しまれ、市民の歴史的シンボル、心のふるさととして生き続けてきました。

仙台城跡は、戦前から第一級の近世城郭遺跡であるとの評価を受けており、昭和20年の空襲で焼失した大手門は国宝に指定されておりました。平成9年度から始まった石垣修復工事に伴う本丸跡の発掘調査や平成13年度から始まった本丸大広間跡の発掘調査成果などを通して、その歴史的評価が高まり、平成15年8月27日付けの官報告示により、仙台市民の念願であった国史跡に指定されました。

築城より400年余り、伊達政宗が築いた仙台城跡は、仙台市民のみならず日本国民の宝となり、未来永劫守られ、皆様に愛されていくことになりました。今回の国史跡指定に際し、ご指導ご協力いただきました文化庁をはじめとする関係諸機関の皆様、そして市民の皆様に深く御礼申し上げます。

さて、今年度は、仙台城跡全域に及ぶ遺構現況調査や大広間跡・御成門跡の発掘調査、本丸にいたる登城路跡の発掘調査、広瀬川護岸石垣の測量調査などが行われました。本丸御殿の主要な建築物であった大広間跡の発掘調査は今年度で3年目を迎え、これまでの調査成果から、その規模や構造などを解明する多くの資料を得ることができました。大広間跡から出土した金銅金具からは、江戸時代初期の金工職人の優れた技術や豪華絢爛な装飾が施された仙台城大広間の姿が想像されます。

今回の調査事業及び調査報告書の刊行にあたり、ご指導、ご協力を賜りました多くの方々に深く感謝申し上げますとともに、本報告書が研究者のみならず市民の皆様に広く活用され、文化財保護の一助となれば幸いです。

平成16年3月

仙台市教育委員会

教育長 阿部芳吉

例 言

- 本書は、仙台城跡の平成15年度遺構現況調査の報告書である。
- 本調査は、国庫補助事業である。
- 本報告書の作成にあたっては以下のとおり分担し、編集は渡部が行った。
本文執筆 渡部 紀
遺構台帳作成 渡部 紀・中山 純・伊藤 嶽
- 全体平面図は平面直角座標系Xを用いており、方位角は真北線を基準としている。

目 次

I	はじめに	1
II	地区区分と台帳記入の仕方	2
III	遺構の現況	
1	本丸地区	5
	本丸地区的全体図	5
	北壁石垣 石垣1001	6
	懸造跡石垣 石垣1002	19
	御守殿跡石垣 石垣1003	20
	大番土手土星1001	21
2	二の丸地区	22
	二の丸地区的全体図	22
	二の丸西縁石垣 石垣2001	23
	二の丸詰門付近石垣 石垣2002	24
	千貫橋石垣 石垣2003	25
	筋違橋石垣 石垣2004	27
	千貫橋西方石垣 石垣2005	29
	大手門北脇池 池2001	30
3	三の丸地区	33
	三の丸地区的全体図	33
	奥門西側石垣 石垣3001	34
	奥門東側石垣 石垣3002	36
	子門西側石垣 石垣3003	38
	子門東側石垣 石垣3004	40
	大手門脇構下石垣 石垣3005	42
	大手門脇構下平場 平場3001	44
	三の丸西側土手石垣 石垣3006	45
	巽門礎石 門3001	46

土壙	3001	47
土壙	3002	52
長沼水堀	堀3001	54
五色沼水堀	堀3002	55
4	登城路地区	56
	登城路地区の全体図	56
	大手門北側石垣 石垣4001	57
	大手門脇構石垣 石垣4002	64
	中門北側石垣 石垣4003	66
	中門南側石垣 石垣4004	70
	下馬脇石垣 石垣4005	75
	下馬平場石垣 石垣4006	76
	沢門下石垣 石垣4007	77
	沢曲輪石垣 石垣4008	78
	清水門北側石垣 石垣4009	79
	清水門南側石垣 石垣4010	84
	清水門井戸石垣 石垣4011	86
	時太鼓石垣 石垣4012	89
	沢門東側土壙 土壙4001	90
	沢門南側土壙 土壙4002	91
	中門北側土壙 土壙4003	94
	下馬平場 平場4001	96
	沢曲輪平場 1 平場4002	97
	沢曲輪平場 2 平場4003	98
	沢曲輪平場 3 平場4004	99
	沢曲輪平場 4 平場4005	100
	清水門北側平場 平場4006	101
	造酒屋敷平場 平場4007	102
	清水門井戸 井戸4001	103
	見付堀脇石組側溝 石組4001	104
5	御裏林地区	105
	御裏林地区の全体図	105
	貯水槽石垣 石垣1	106
	本丸北西壁下石垣 石垣2	111
	御清水	115
	御清水石垣 石垣3	116
	切通堀切 堀切1	119

堀切 2	120
堀切 3	124
堀切 4	130
堀切 5	132
堀切 6	133
土壠 1	134
土壠 2	135
土壠 3	136
土壠 4	139
土壠 5	140
土壠 6	141
貯水槽平場 平場 1	142
平場 2	143
平場 3	144
平場 4	145
平場 5	146
平場 6	147
平場 7	148
残月亭推定地平場 平場 8	149
平場 9	151
平場 10	152
平場 11	153
切岸 1	154
6 その他の地区	155
その他の地区的遺構	155
広瀬川護岸石垣 1 石垣5001	156
広瀬側護岸石垣 2 石垣5002	161
広瀬川護岸石垣 3 石垣5003	162
筋違橋東方石垣 石垣5004	164
石垣5005	165
石垣5006	166
石垣5007	168
IV まとめ	169
報告書抄録	

I はじめに

(1) 調査体制

平成15年度は、仙台城跡遺構確認調査の5カ年計画の3年次にあたり、下記の体制で臨んだ。(敬称略・順不同)

調査主体 仙台市教育委員会(生涯学習部文化財課仙台城史跡調査室)

発掘調査、整理を適正に実施するために調査指導委員会を設置し、指導、助言を受けた。

委員長 斎藤 錠雄(宮城県農業短期大学名誉教授 近世史)

副委員長 岡田 清一(東北福祉大学教授 中世史)

委員 鈴木 啓(福島県考古学会会長 考古学)

西 和夫(神奈川大学教授 建築史)

北垣聰一郎(奈良県立橿原考古学研究所共同研究員 石垣・城郭研究)

千田 嘉博(国立歴史民俗博物館考古研究部助教授 城郭考古学)

仙台城跡調査指導委員会は以下のとおり開催した。

第7回: 平成15年8月29日第6次・第7次調査中間報告、現地視察

第8回: 平成15年12月3日第7次・第8次・第9次調査中間報告、現地視察

第9回: 平成16年3月17日第6次・第7次・第8次・第9次調査結果報告、現地視察、平成16年度調査計画
分布調査の実施にあたり、東北大大学院理学研究科附属植物園のご協力をいただいた。

(2) 調査担当

文化財課	課長 青柳 良文
	主幹 田中 则和
仙台城史跡調査室長	金森 安孝
	主査 大村 仁
	主任 渡部 紀
	教諭 豊村 幸宏
文化財教諭	中山 純
文化財教諭	伊藤 隆

(3) 調査の目的

仙台城跡を総合的に把握するために、城跡全体に存在する遺構の分布状況を記録化することを目的として遺構現況調査を実施した。

(4) 調査の概要

分布調査を行い、目視により確認された遺構の位置、規模などを略計測し、写真撮影を行った。調査結果は遺構台帳に記録した。分布調査は5月7日より開始し8月8日まで継続的に実施し、その後も断続的に調査した。今回対象とした地域は、主に仙台市有地、国有地であることから、それ以外の所有者土地についても分布調査を今後とも継続していく必要がある。

II 地区区分と台帳記入の仕方

(1) 地区区分（第1図）

基本となる地形図は、昭和63年作成の1/500仙台城跡地形図を用いた。平面直角座標系Xをもとに100m単位のグリッドを設定し、アルファベットと数字によるグリッド記号を付し地点把握の基準とした。また、対象地が広域であるため、本丸跡を中心とした「本丸地区」、二の丸跡から勘定所跡・扇坂跡にかけての「二の丸地区」、水堀を含んだ「三の丸地区」、大手門・奥門から本丸へいたる「登城路地区」、現在東北大学植物園となっている「御裏林地区」、それ以外全てを対象とした「その他の地区」の6地区に区分した。この区分は便宜的なもので曲輪の範囲を正しく反映したものではない。

(2) 遺構番号

発見された遺構は、石垣、平場、堀切といった種類毎にそれぞれ1から番号を付したが、地区が分かるように、本丸地区は1001から、二の丸地区は2001から、三の丸地区は3001から、登城路地区は4001から、御裏林地区は1から、その他の地区は5001からとした。また、仮称であるが遺構の名称をつけた。たとえば、本丸地区で解体修復が行われた石垣は、「北壁石垣 石垣1001」と呼称することとした。

(3) 計測

高さ(深さ)：遺構の高さ、深さ。堀切脇の土壠のように下端の高さが両側で異なる場合は、高い方の下端からの計測値を高さとした。これらは任意の数か所で計測した。

幅：土壠の場合は底幅と上端幅、堀切の場合は上端幅を計測した。任意の数か所で計測した。

石垣の勾配：任意の数mおきに石垣表面にスタッフを当て角度を計測した。

石材：全く加工のない石を「自然石」、削面のある石を「削石」、規格品として加工された石を「切石」と分類した。

積み方：石材の大きさや目地などに規格性がなく不規則な積み方を「乱積み」、横目地が通り整然とした積み方を「整層積み」と分類した。

数量：表面で見える限りの石材数を数えた。

現状：石垣の場合は特に形状の変位を観察した。

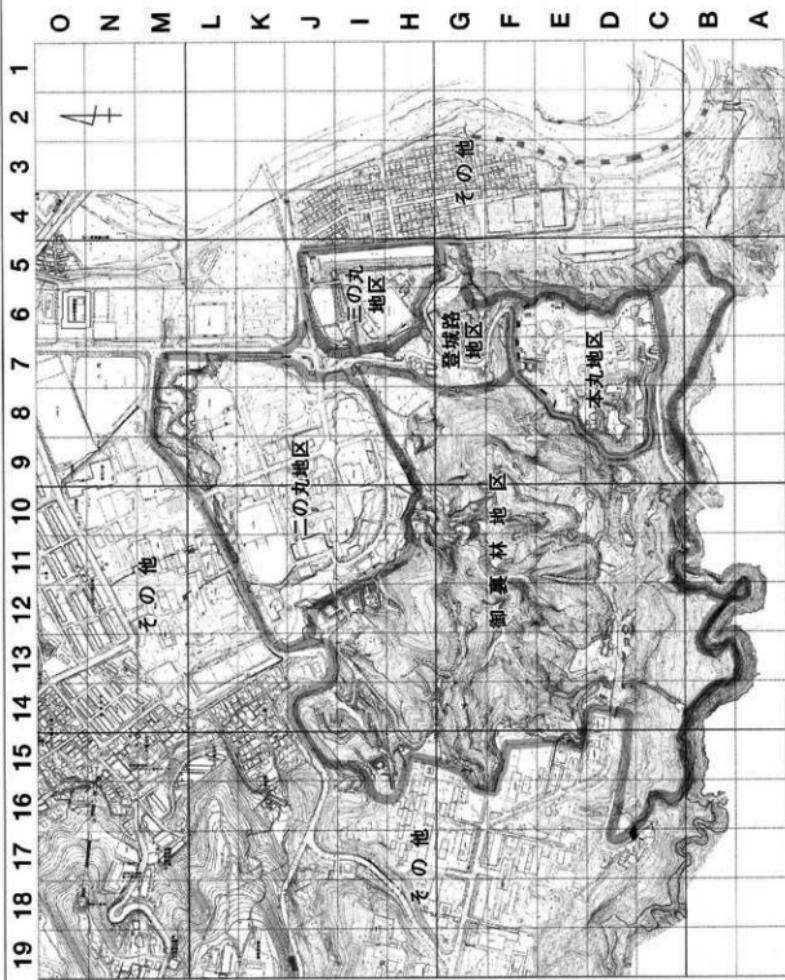
(4) 写真撮影

写真記録は、35mmカラーリバーサルフィルムとデジタルカメラ（500万画素）で行った。撮影後のカラーリバーサルフィルムはスライドファイルに収納し、デジタルデータは調査事務所内ハードディスクに記録している。

(5) 台帳の作成

分布調査の記録はカード形式の台帳に手書きで記載した（第2図）。この台帳はデータベースソフト（マイクロソフトアクセス）で管理する作業を進めており、将来的には発掘調査データなどとともに（仮称）仙台城跡GISに移管し…括管理していく予定である。

第1図 グリッド配置と地区区分図



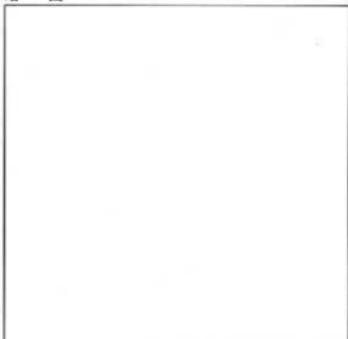
造構位置図



造構番号

特記事項

站 図



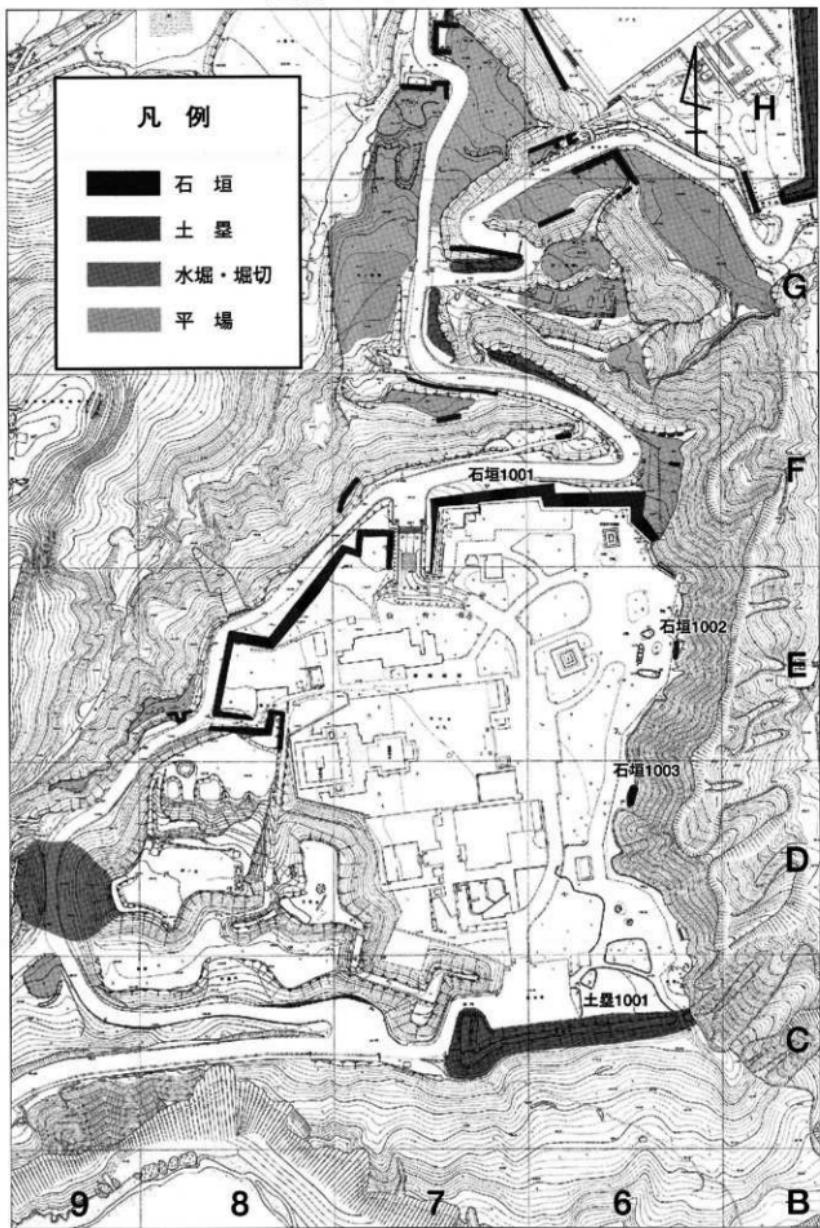
調査年月

 /

調査者

第2図 台帳の様式

III 遺構の現況 1 本丸地区



第3図 本丸地区の全体図



北端石垣 A面 石垣1000A
地区名 本丸
地区番号 E7, F7
延長 39.2m (天端35.4m)
高さ(深さ) 2.1~12.2m
傾斜



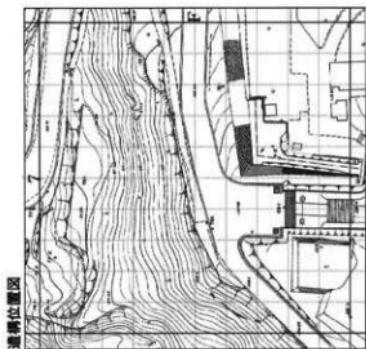
全景(西より)

AB角部(北西より)

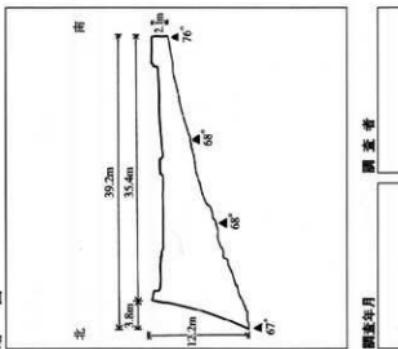


AH角部(北より)

測量番号	北端石垣 A面 石垣1000A
地区名	本丸
地区番号	E7, F7
延長	39.2m (天端35.4m)
高さ(深さ)	2.1~12.2m
傾斜	
積み方	
差留保み	
数量	897 AB角:幅、AH角:幅、新規6-9規
現状	ハラミ、ズレなど見られるため構体修復
特記事項	下端石の大部が欠損 ・南端で、1石分西へ張り出す (本丸詰門側端部) ・本丸詰門側石あり



跡図



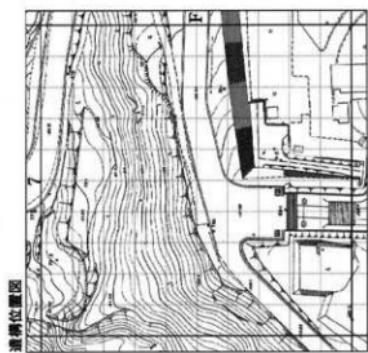


全景(北より)

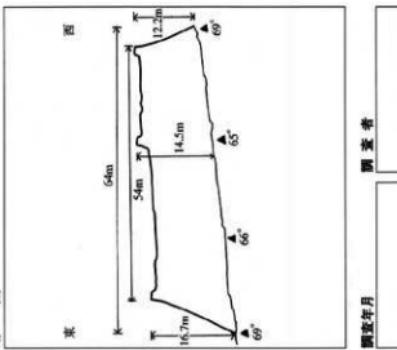
BC角部(北より)



測量番号	北壁石面B面 石垣1001B
地区名	本丸
地区番号	F6, F7
延長	64m (天端54m)
高さ(原さ)	12.2~16.7m
幅	勾配 (65°~69°)
石材	切石
積み方	並置積み
数量	2400m ³ (B面:56m, BA角頭:紫石:30-32m ³)
現状	ハラミ、ズレなど見られるため解体修復
特記事項	西側に東脇櫓台が設けられた。 ・天端の大部分欠損



跡 図



全景(東より)



全景(東より)

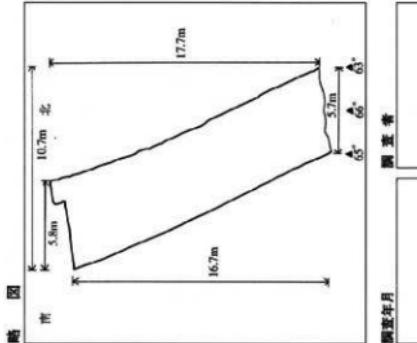


測量位置図



測量位置図

測量番号	北側石面C面 石垣1001C
地区名	本丸
地区番号	
延長	10.7m (天端5.8m)
高さ(奥さ)	16.7~17.7m
幅	
勾配	63°~66°
石材	
切石	
積み方	
差層積み	
数量	258 BC角: 26袋、紫石36~29袋
現状	・ハラミ、ズレなど見られた め解体修復
特記事項	・BC角部のみ天端石残存
測量年月	
測量者	



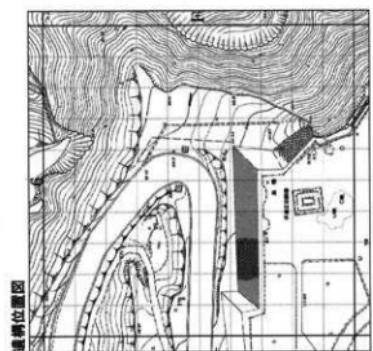


全景(北より)

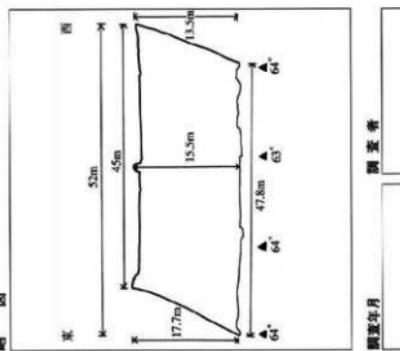


DE角部(北東より)

遺構番号	北端石垣 D面 石垣1001D
地区名	本丸
地区番号	
Ps	
延長	52m (天端45m)
高さ(奥さ)	17.7m
傾	
勾配	63°~64°
石材	
切石	
積み方	
修復積み	
数量	3027 DE外:2786、裏石:32~36袋
現状	・ハラミ、ズレなど見られるため解体修復
特記事項	・東側に櫓台が設けられる。
	・天端石の大部分火鉄



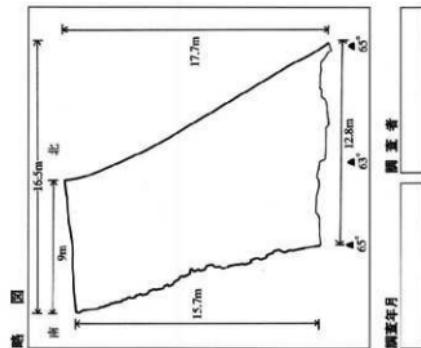
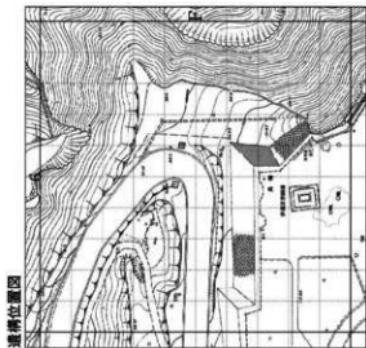
跡図



全景(東より)



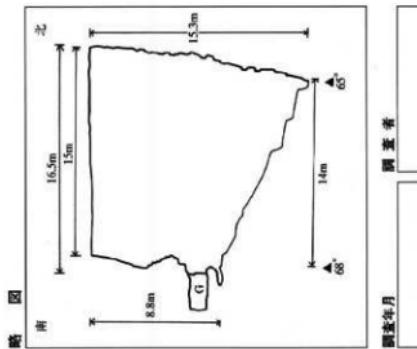
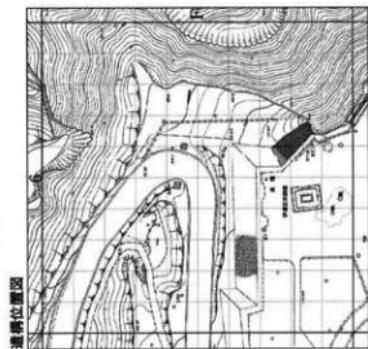
測量番号	北側石垣正面 石垣100IE		
地区名	本丸		
地区番号			
F6			
延長	16.5m (天端9m)		
高さ(深さ)	17.7~15.7m		
幅			
勾配	63°~65°		
石材			
切石			
積み方			
整層積み			
数量	561 DE内: 26段、築石: 32~34段		
現状	<p>・ハラミ、ズレなど見られるた め解体修理</p>		
特記事項	<p>・天端石は残存している</p>		

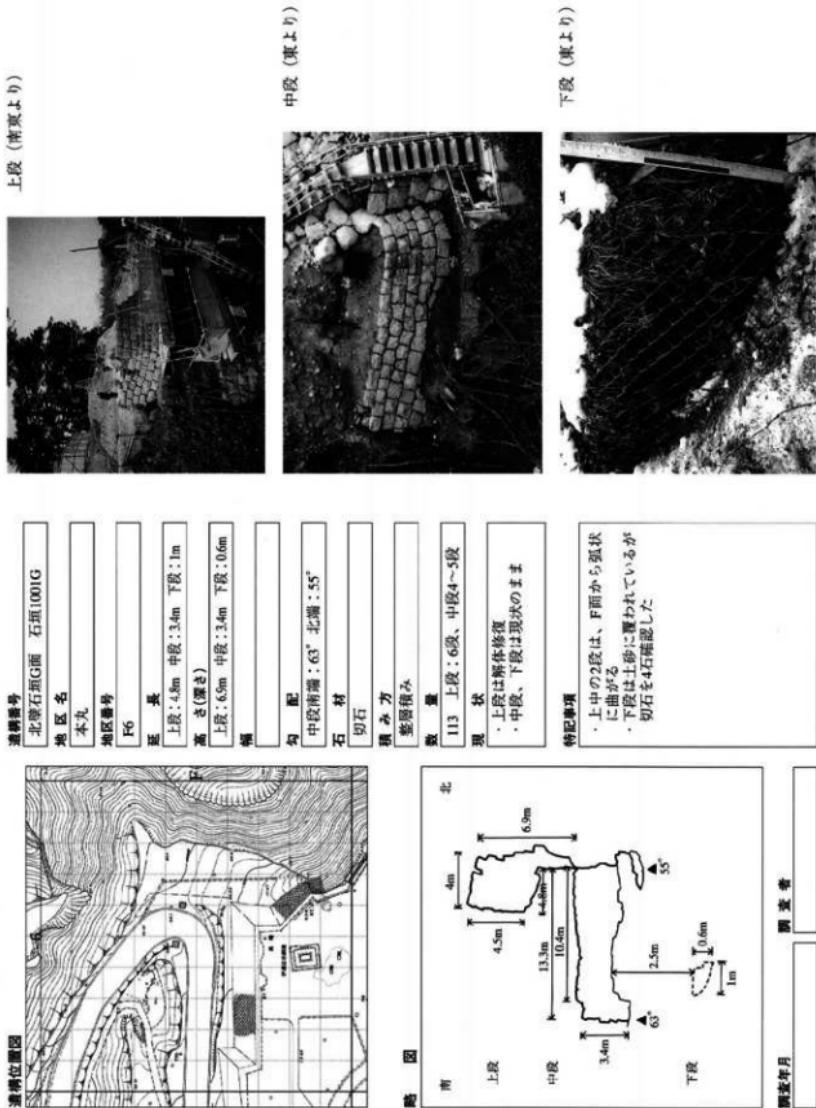


全景(東より)



遺構番号	北壁石垣前面 石垣1001F
地区名	本丸
地区番号	
F6	
延長	16.5m(天端15m)
高さ(深さ)	15.3~8.8m
幅	
勾配	(65°~68°)
石材	切石
積み方	整面積み
数量	1045 約石: 25~39袋
形状	ハラミ、ズレなど見られた ため解体修復
特記事項	・天端石は残存している
調査者	





全景(街より)



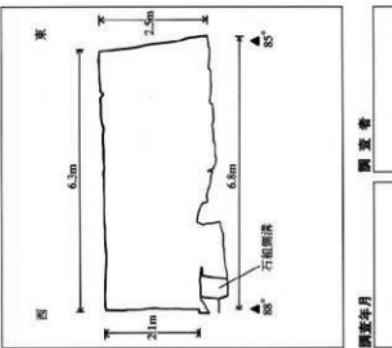
H1角部(南東より)

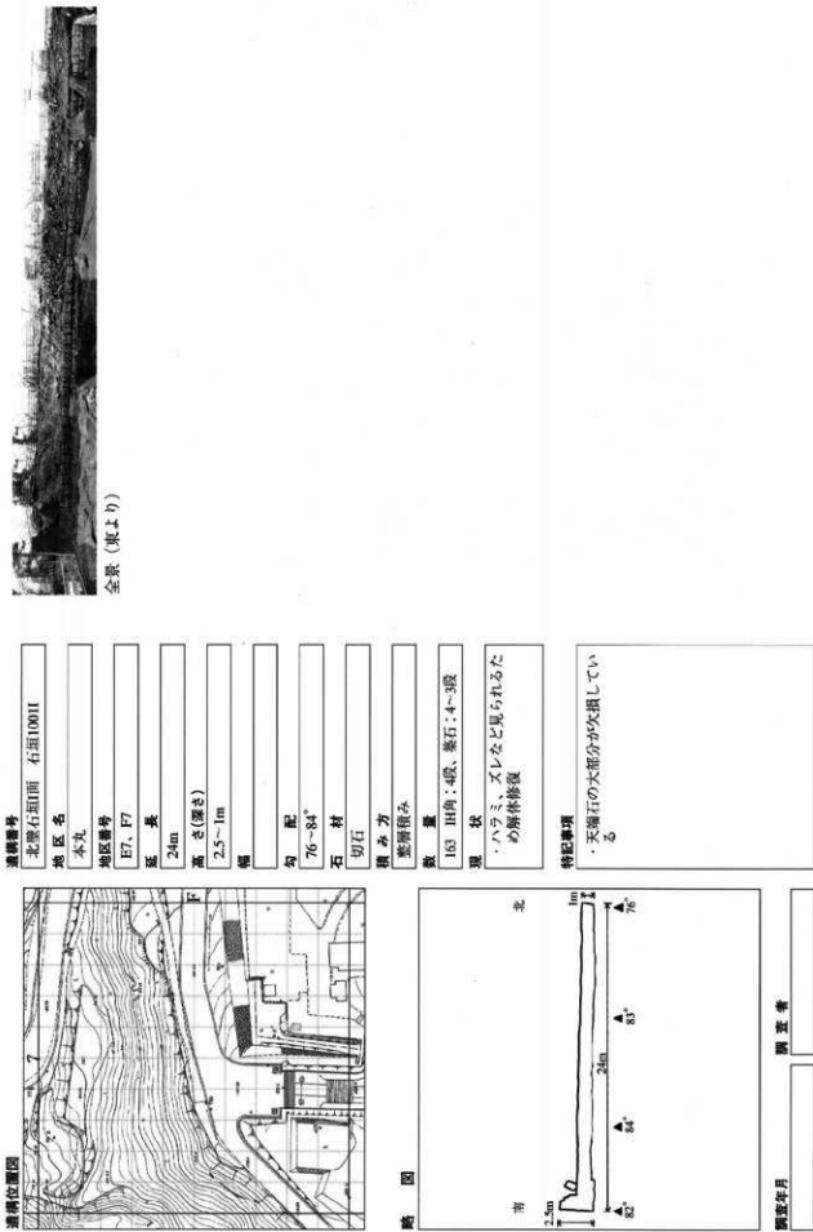


遺構番号	
北壁石垣H面	石垣1001H
地区名	本丸
地区番号	
EJ	
延長	
6.5m(天端6.3m)	
高さ(厚さ)	
2.1~2.5m	
幅	
勾配	
85°~88°	
石材	
積み方	
積層積み	
数量	
45 HA角:4段、H角:4段、紫石57枚	
現状	
・ハラミ、ズレなど見られた 力所体跡復	
特記事項	



跡 図







JK角部（南より）



全景（南より）



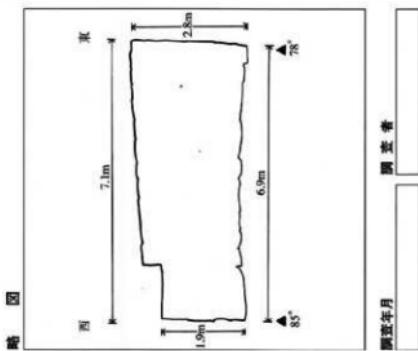
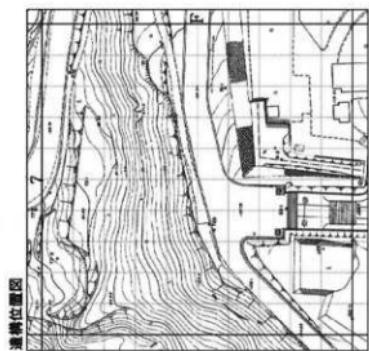
全景(東より)



全景(東より)



遺構番号	北櫓石垣K面 石垣101K
地区名	本丸
地区番号	F7
延長	7.1m
高さ(深さ)	1.9~2.8m
幅	
勾配	
78°~85°	
石材	
切石	
積み方	
荒削り込み	
数量	94 JK個:3段、築石7~8段
現状	ハラミ、ズレなど見られるため解体修復
特記事項	



調査年月

調査者

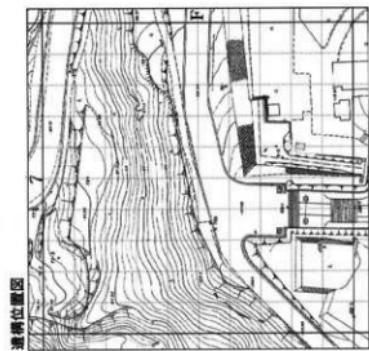


金櫻 (南より)

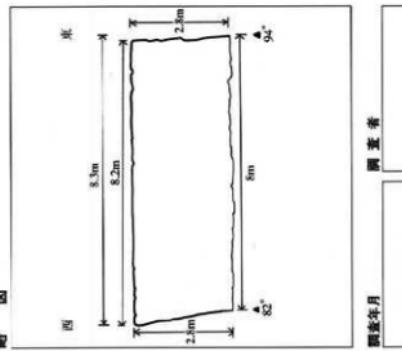


LM角部 (南東より)

遺構番号	北壁石垣上面 石垣1001L
地区名	本丸
地区番号	F7
延長	8.3m
高さ(深さ)	2.8m
種	
勾配	
S2°~04°	
石材	
切石	
積み方	
並列積み	
数量	
121 LM角 : 5段、紫石7~8段	
現状	
・LM角部のズレが著しい	
特記事項	



附図



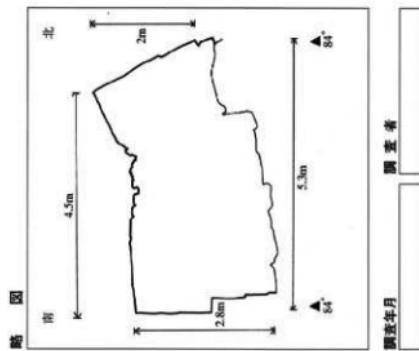
調査年月

調査者

全景(東より)



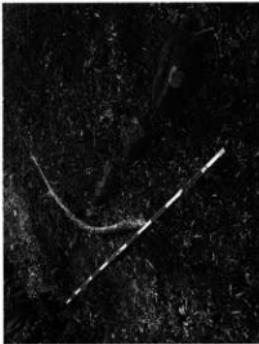
測量番号	北端石垣M面 石垣1001M
地区名	本丸
地区番号	F7
延長	5.3m (天端4.5m)
高さ(厚さ)	2.8~2m
幅	勾配
	82°~84°
石材	切石
積み方	密層積み
数量	38 ML角:5t, BB角:3t, 麻石:4-7t
現状	・ML角部のズレが著しい ・中央部の天端石が欠損している
特記事項	



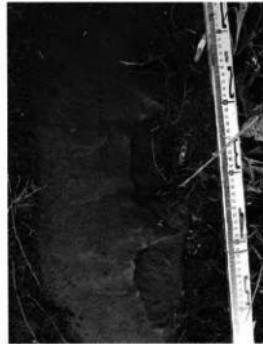
企賀 (南より)



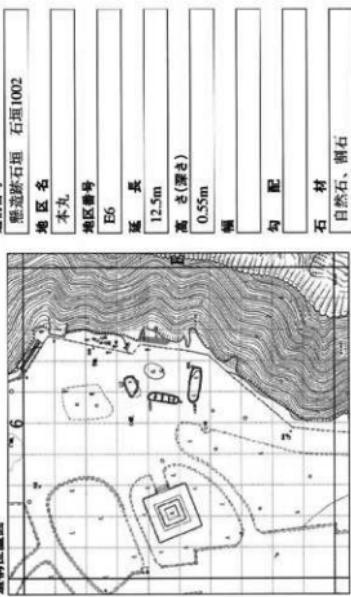
近景 (北東より)



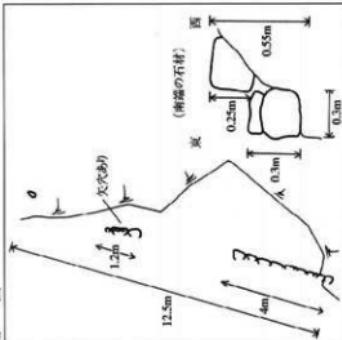
矢六



遺構位置図



跡 図



特記事項

・当際であり南端は崩壊している
と考えられる

・北側の石列と南側の石列で方
向が若干ズレるようである

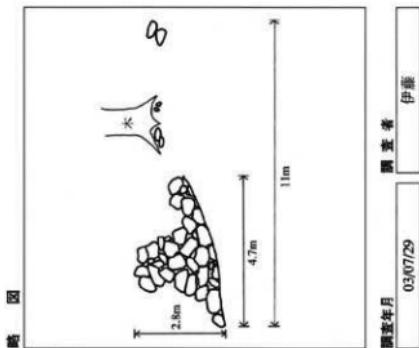
金繁(北より)



近景(北より)



測量番号	御守院跡石垣 石垣1003
地区名	本丸
地区番号	D6
延長	11m
高さ(深さ)	2.8m
勾配	80°
石材	自然石
積み方	乱積み
数量	約40~7~8段
現状	・崖際であり、また木の根がかかる ・近くに落れないが今のこところ ・加工痕は認められない
特記事項	



調査年月
03/07/29
調査者
伊藤

近景(北より)



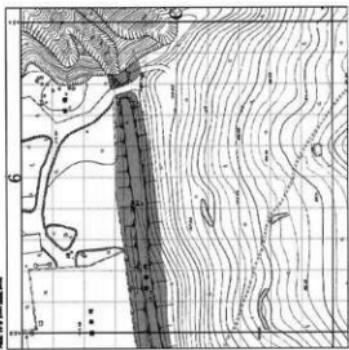
近景(北東より)



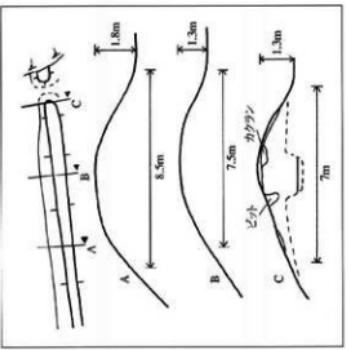
断面(東より)



遺構位置図



跡 図

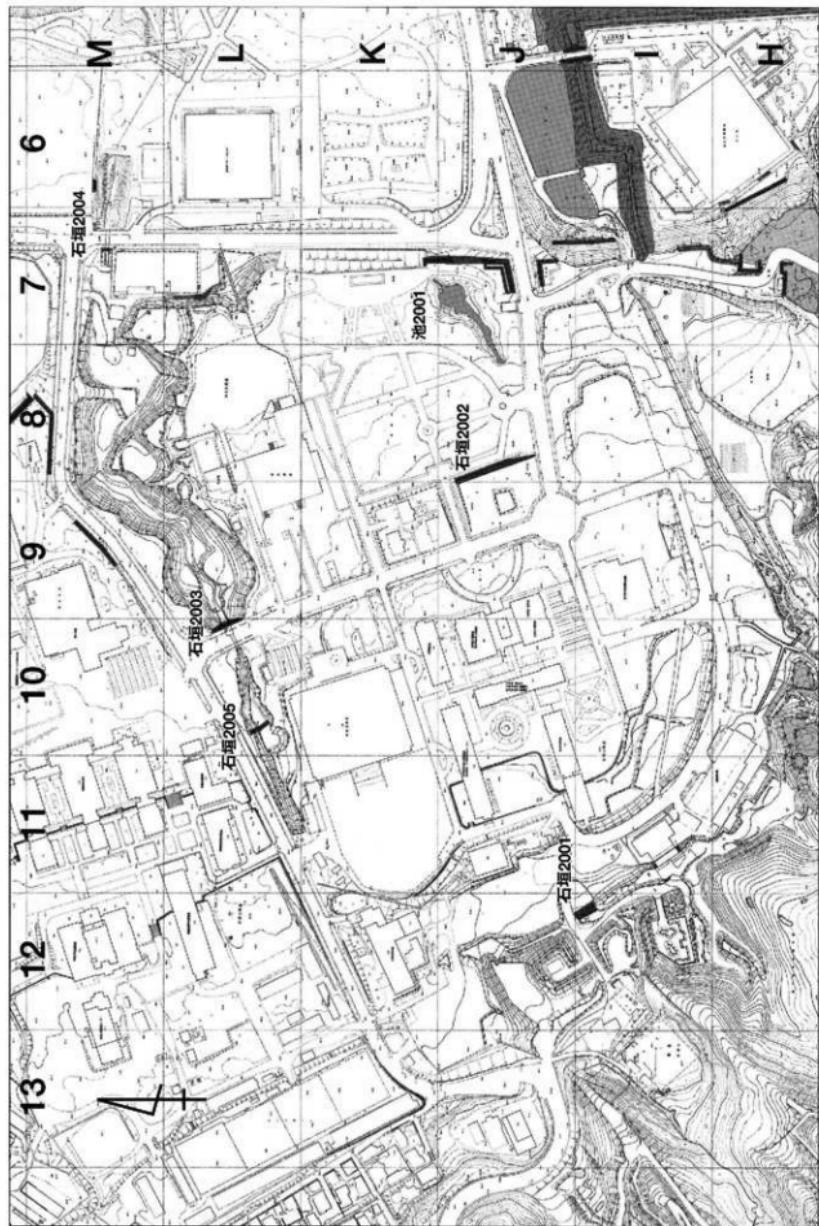


調査年月 _____ 調査者 _____

特記事項

・断面測量により、盛土はされておらず削り出した上部である。また、ビット状の落ち込みが1基確認された。

2 二の丸地区



第4図 二の丸地区的全体図

全景 (北東より)



全景 (東より)



全景 (北東より)



遺構番号

二の丸西縁石垣 石垣2001

地区名
二の丸地区番号
112延長
1.9m高さ(原さ)
0.55m

幅

勾配

石材

自然石

積み方

乱積み

数量

12.1~4段

現状

・斜面の上部にあり、崩壊の危
険性がある

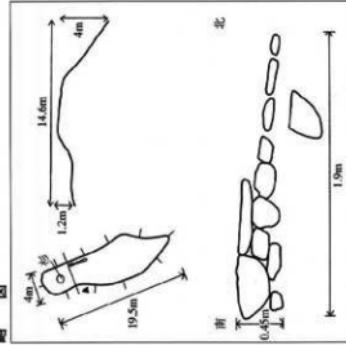
特記事項

・二の丸西縁の壇の基礎の可能
性が考えられる

遺構位置図



路図



調査年月

03/06/19

調査者

中山・伊藤

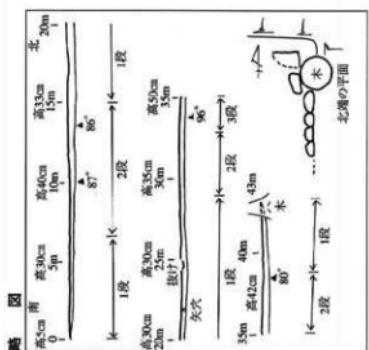
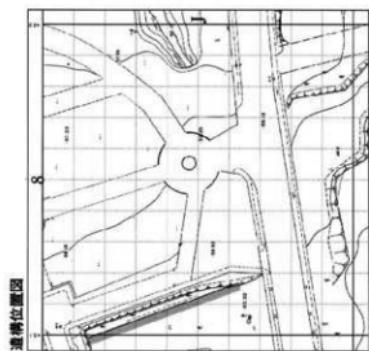
金井(北東より)

近景(東より)
前面を正面にしている

近景(東より)



遺構番号		二の丸詰門付近石垣 石垣2002	
地区名	二の丸	地区番号	
延長	43m	高さ(深さ)	0.05~0.5m
傾斜	80°~96°	材質	自然石と削石
積み方		乱積み	
勾配		数量	1~3段
現状		・北端部で木枠がからんでいる ・一部で石材が壊りてている	
特記事項	<p>・削石は、河原石の前面を正面にしたもの ・土管が入っているなり、ドリルで削った木材があるため、積み直されていると考えられる ・穴あきあり、開口8cm、深4cm ・北端部の石材は上面が平坦であり北面が直線的</p>		



調査年月 _____ 調査者 _____

企画 (東より)



近景 (東より)



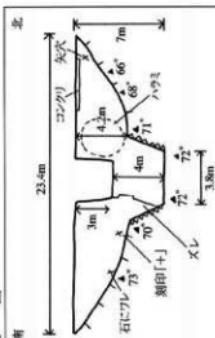
近景 (東より)



遺構位置図



跡 図



調査年月	05/08/05
調査者	渡部・中山

遺構番号
千貫塙石垣A面 石垣2003A地区名
二の丸地区番号
L10延長
23.4m高さ(厚さ)
7m

幅

勾配
 $66^{\circ} - 73^{\circ}$ 石材
切石主体で自然石がまじる積み方
整脚積み。石の角を切り欠く加工がある数量
最大18段現状
一部ハラミ、石のズレ、ヒビがある
・土崩であり、上を車、人が通行している特記事項
・切石表面は、粗い加工で凸状のものと、細かい加工で平坦なものがある。これらに自然石がまじる。
・基礎めはよく見えず不明。
・水路の開削は、算木積み、後の加工はない。
・石の間に、縦長の石を入れることがある。
・矢穴：間口7×深4、間口7×深3cm

角部(南東より)

C面角部(北より)
目地にコシクリが残されている

B面角部(南より)



通称番号

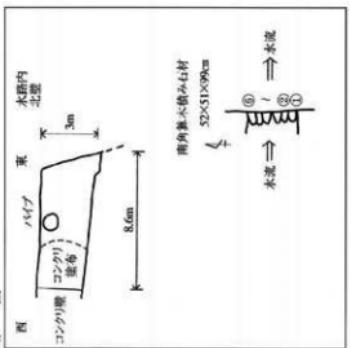
子貢焼石垣B面 石垣2003B	
地区名	
二の丸	
地区番号	
L10	
延長	
8.6m	
高さ(深さ)	
3m	
幅	
勾配	
石材	
切石主体で自然石がまじる	
積み方	
並列積み	
数量	
現状	
・パイプが入ったコックリが 塗りつけられたり、改変され ている	

・南壁C面も同様である ・水路出口の石材法量(南から 順に)
幅 高 挿え
①46 × 36 × 55 cm
②50 × 34 × 61
③50 × 34 × 81
④45 × 35 × 60
⑤45 × 36 × 70
⑥40 × 37 × 78

通称番号



略図



調査年月

03/08/05

調査者

深部・中山

角部(南西より)



近景(南より)



近景(南より)



通称番号

荒瀬橋石垣A面 石垣2004A

地区名
二の丸地区番号
M7延長
11.4m高さ(深さ)
2.3m

幅

勾配

86°(角より1m範囲)

石材

切石主体で割石が混じる

積み方

角は斜木積み、大部分が落とし積みで、部分的に整層積み

数量

(断いため不明) 角部6段

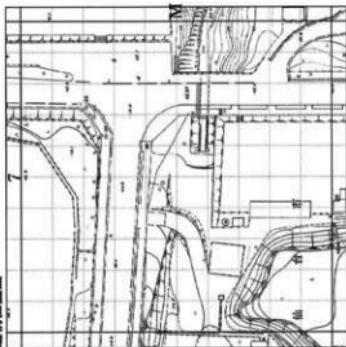
現状

・パイプが數本あり、かなり改変されている

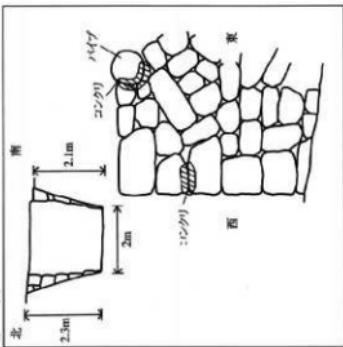
特記事項

- 一部の目地にコンクリートを挿りつけている
- 西側は開削積み石垣、上部はコンクリートの壁に沿する
- 東流する水路の南北壁

通称番号



断面図



調査年月

03/08/06

調査者

渡部

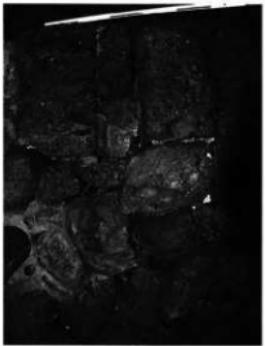
角部（北西より）



近景（北より）



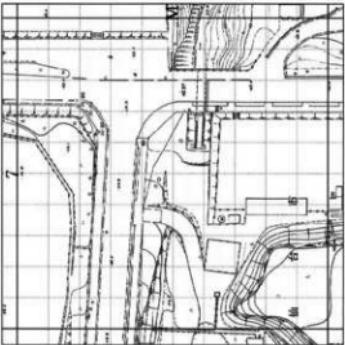
近景（北より）



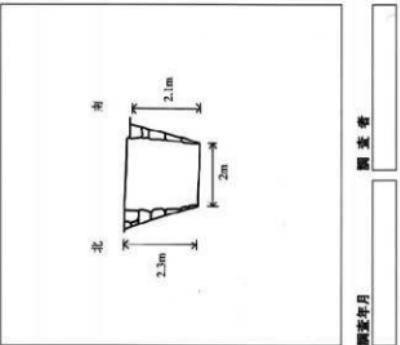
遺跡位置図

施設種別	施設構石垣 B面 石垣2004B
地区名	二の丸
地区番号	M7
延長	11.4m
高さ(深さ)	2.1m
幅	
勾配	90° (舟より1m半圓)
石材	切石主体で、隅石が混じる
積み方	角は真木積み、大部分落とし積みで、部分的に疊層積み
数量	(船いため不明) 角部5段
現状	・パイプが數本あり、かなり改変されている
特記事項	・東流する水路の南北壁 ・西側は開石垣、上部はコンクリートに接する

遺跡位置図



地図



調査年月

調査者

近景（北より）



水路部近景（東より）



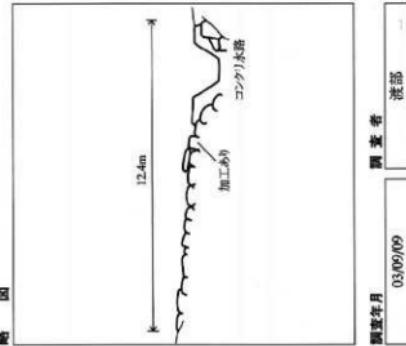
全景（北より）



遺跡番号	千賀橋西方石道 石道2005
地区名	二の丸
地区番号	
延長	1.10
幅	12.4m
高さ(深さ)	0.3~1m
勾配	
石材	自然石生用、打込み加工が施される
積み方	不明
数量	19
現状	石との間に隙間が空き、石が手前に動いたりしている
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 草込み不明 水路部分は、石材がコンクリートで張り込まっている 下半が埋まっているか分らないが、積まれているか分らないが、コンクリート水路部分では3段積まれているよう見える



跡 図



調査年月	03/09/09
調査者	渡 部

全景(南より)



全景(南西より)



全景(南西より)



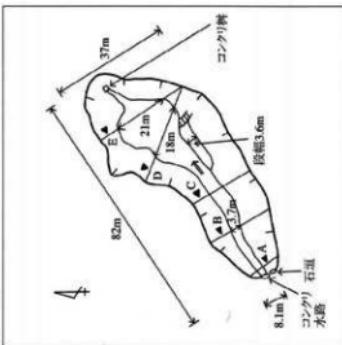
遺構位置図

地区名	大手門北脇池 游2001 (1)
地区番号	二の丸
延長	J7, J8, K7
最大高さ	8.2m
高さ(深さ)	最大3m
幅	最大37m
勾配	
石材	
積み方	
数量	

特記事項
 -良好な保存状況である
 -草がかなり繁っている



跡 図



調査年月 03/07/08 調査者 渡辺

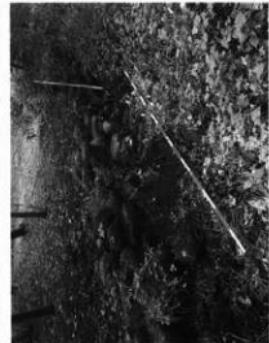
南岸の石段 (南西より)



南岸の石段 (北東より)



南岸の石積み (北東より)



遺構番号

大手門北端池 池2001(2)

地区名
二の丸地区番号
J7、K8、K7

延長

高さ(深さ)

幅

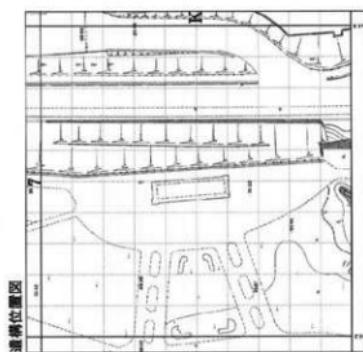
勾配

石材

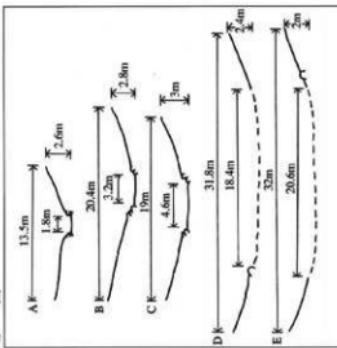
積み方

数量

現状

特記項
・おもむね、北西側が高い

路図

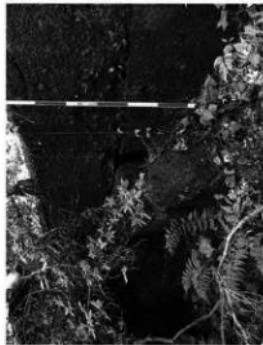


調査年月	調査者
03/07/08	波部

西端のコンクリート水路（北より）



石垣近景（北より）



石垣近景（南東より）

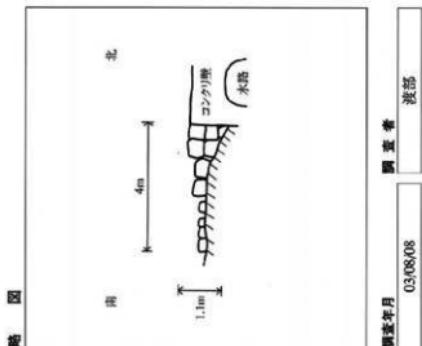
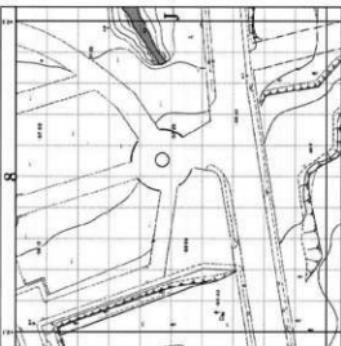


遺構位置図

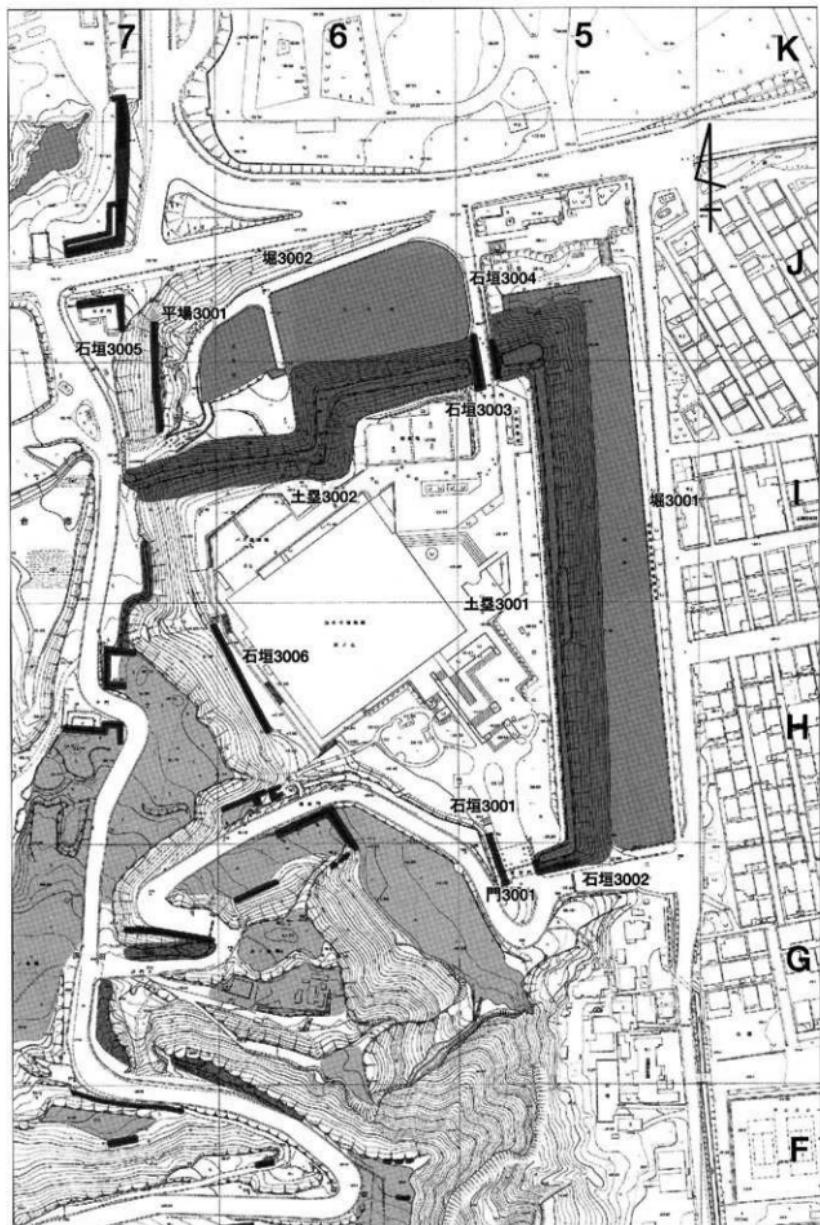
遺構番号	大手門北塩池 池2001 (3)
地区名	二の丸
地区番号	J7、J8、K7
延長	4m
高さ(塗さ)	1.1m
幅	
勾配	
石材	切石
積み方	並層積み
数量	11 1~3段
現状	良好

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート水路に接してお り、近世の石積みかどうかは不明。石材は近世期の可能性がある。 ・空積み。 ・コンクリート水路の出入口は大きな石でふさがれている。
------	---

遺構位置図



3 三の丸地区



第5図 三の丸地区的全体図

全貌 (東より)



近景 (東より)



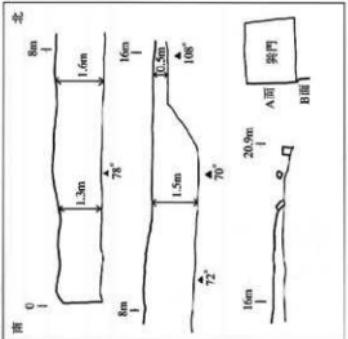
近景 (東より)



遺構位置図



路 図



調査年月

調査者

中山

03/06/17

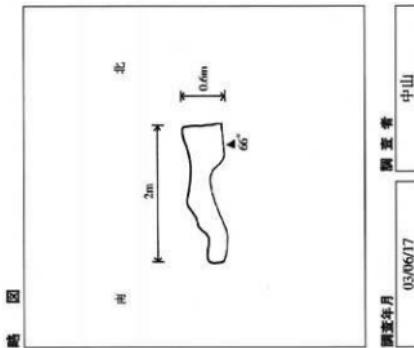
全景(東より)



近景(東より)



測量番号	宗門西側石垣B面 石垣3001B
地区名	三の丸
地区番号	
延長	GS、HS
幅	2.0m
高さ(深さ)	0.2~0.6m
勾配	66°
石材	自然石
積み方	乱積み
数量	13(大12・小1)
現状	部分的にコンクリートが入れられている
特記項	・階段を作る際に石材が動いている可能性がある



全貌（北西より）



近景（西より）



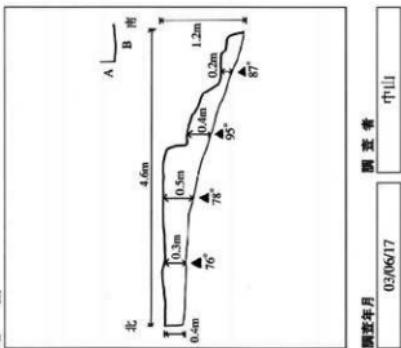
近景（西より）



遺構番号		柴門東側石垣A面 石垣3002A	
地区名	三の丸	地区番号	G5
延長	4.6m	勾配	76° - 95°
高さ(厚さ)	0.2 - 0.5m	石材	切石
積み方	積層積み	数量	12
現状	・底部は、コンクリートで固められている		
特記事項	・石垣と、柴門の間は断溝となつてている		



略図

調査年月
03/06/17
調査者
中山

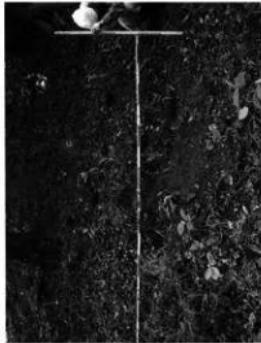
金費 (南西より)



近景 (南より)



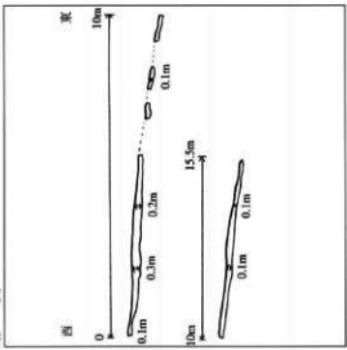
近景 (南より)



測量位置図



断面図



調査年月 03/06/17 調査者 山上

全景(南東より)



近景(東より)

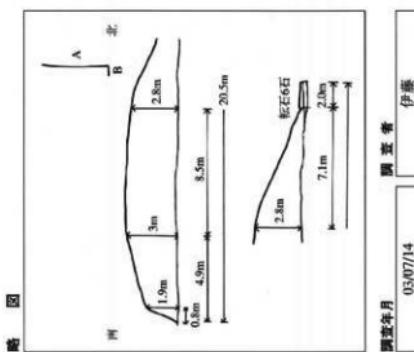
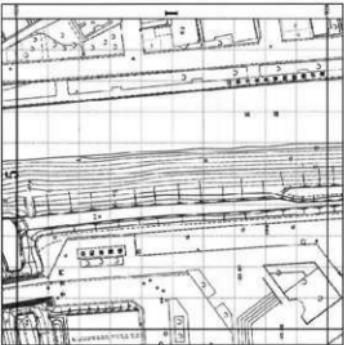


近景(東より)



遺構番号	
地区名	子門西側石垣A面 石垣3003A
地区番号	三の丸
延長	15、15
高さ(深さ)	20.5m 3.0m
幅	75°
勾配	
石材	自然石
積み方	乱積み(一部練り積み)(落し積みの部分あり)
数量	210 7段
現状	
特記事項	
<p>・石垣基部がコンクリート歩道部分にのっていている。コンクリートが目地には嵌込まれている部分があり、一部塗装が剥げられている。</p> <p>・北側に石垣石材と考えられる板石あり</p> <p>・昭和36年(1961)修繕 ・昭和53年(1978)宮城県沖地震で倒壊</p>	

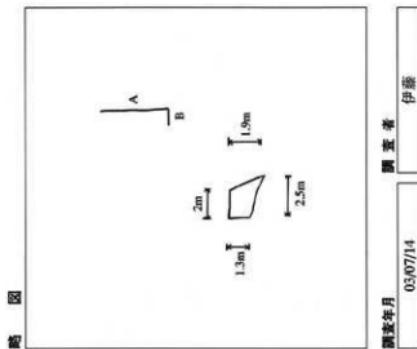
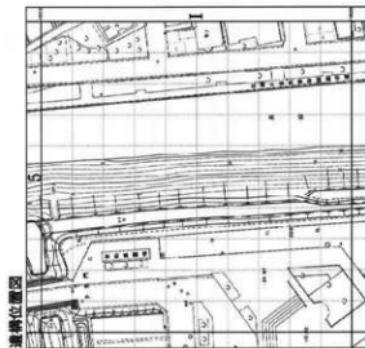
遺構位置図



全景(南より)



遺構番号	子門西側石垣B面 石垣3003B
地区名	三の丸
地区番号	15
延長	2.5m
高さ(深さ)	
傾	
勾配	
石材	自然石
積み方	積み方(一積み積み)直し積みの間合比例
数量	20 4段
現状	
特記事項	



調査年月	03/07/14
調査者	伊藤

全貌 (南西より)



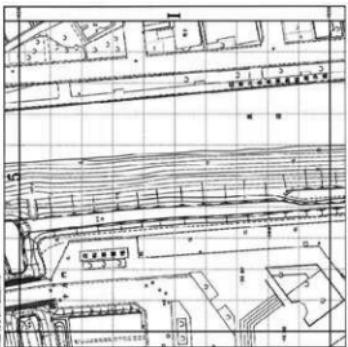
近景 (西より)



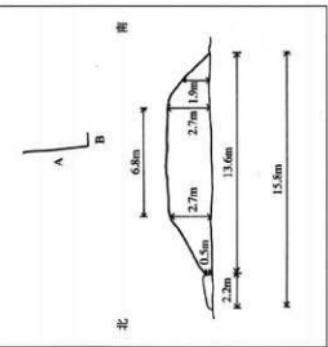
近景 (西より)



道路位置図



断面図



調査年月
03/07/14
調査者
伊藤

特記事項

- 石垣基部が、コンクリート歩道部分にのっている。コンクリートが日当地に挿り込まれている部分があり、一部塗装が剥げられている。
- 北側に石垣石材と考えられる転石6石あり。また、北側の端底にも転石が見られる。

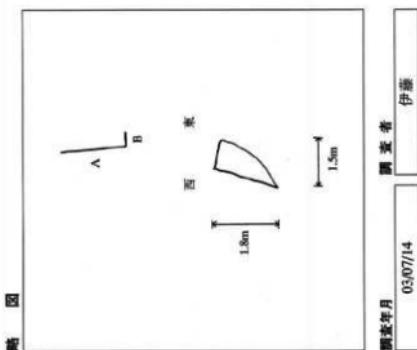
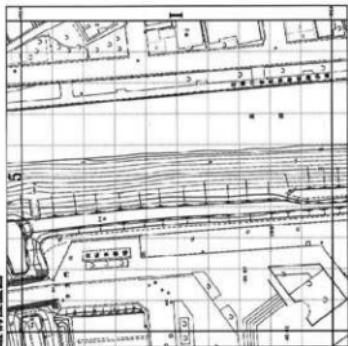
企画（前より）



通称番号	子門東側石垣B面 石垣3004B
地区名	三の丸
地図番号	15
延長	1.5m
高さ(厚さ)	1.8m
構成	勾配
石材	自然石
積み方	積み（一部積み替り）（透、一級品の部分あり）
数量	8
現状	

特記事項

・石垣基部がコンクリート歩道部分にのついている。コンクリートが目地に埋込まれてある部分があり、一部埴瓦管が入れられている。



通称位置図

調査年月	03/07/14
調査者	伊藤

造景 (南東より)



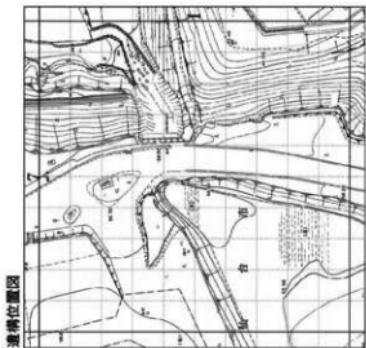
造景 (東より)



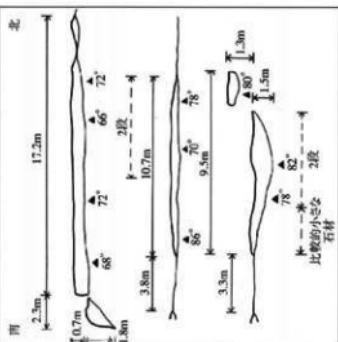
南部近景 (東より)



造景位置図	
地区名	大手門脇椿下石垣 石垣3005
地区番号	三の丸
延長	52.3m
高さ(深さ)	0.2~1.3m
傾斜	66°~86°
勾配	1/2~2/3
石材	自然石
積み方	乱積み
数量	大94石・小52石 1~2段
現状	・土砂により埋まっている部分 がある
特記事項	・北側は比較的大きな石材が、中間は比較的小さな石材が用いられる ・南端の沂流、東側斜面下には崩落したと考えられる石材が見られる



跡図



調査年月	03/07/16	調査者	中山
------	----------	-----	----

中筋近景(車より)



北部近景(車より)



北部近景(車より)



遺跡位置図

大手門脇下石垣 石垣3005

地区名

三の丸

地区番号

17, 17

延長

52.3m

高さ(深さ)

0.2~1.3m

幅

勾配

66°~86°

石材

自然石

積み方

乱積み

数量

大94 小52 1~2段

現状

(P42参照)

特征整理

(P42参照)

断面図



断面図

調査年月	03/07/16
調査者	中山

近景（北より）



全景（北より）



全景（南より）



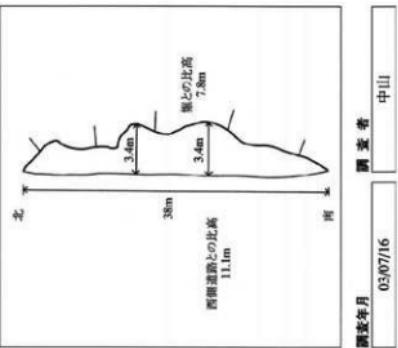
遺構位置図

地区名	大手門脇橋下平場 平場3001
地区番号	三の丸
延長	17
高さ(深さ)	38m
勾配	3.4m
積み方	傾斜
数量	
現状	東側一部崩壊している
特記項	・石垣3005前面の細長い平場 ・一部に上管が設置されている

断面図



断面図



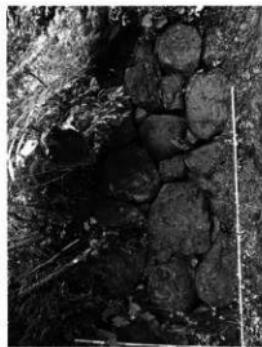
金界(北より)



近景(東より)



近景(東より)

遺構番号
三の丸西側土手石垣 石垣3006地区名
三の丸地区番号
H6延長
51.3m高さ(原さき)
0.3~2m幅
78°~84°石材
自然石が主体で、割石が混じる積み方
乱積み質量
約320石 3~4段

現状

大きな変形はないが、浸水が著しく、

石の隙間に土砂が詰り、雨水が流れ出している。

また木根がからんでいる

特記事項

・裏込めは、玉石

・穴穴はある石材3石

・石材の表面をおしゃってお

・草がかなり表面をこびり付けてお

・壁は断続的である

・昭和59年受振請合時に一部の

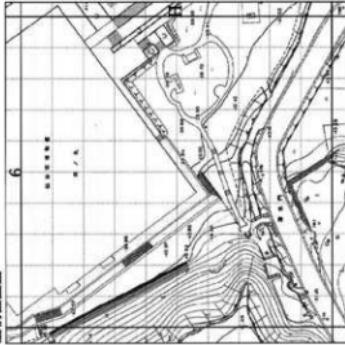
塊石を確認している

・現在の仙台市博物館との間

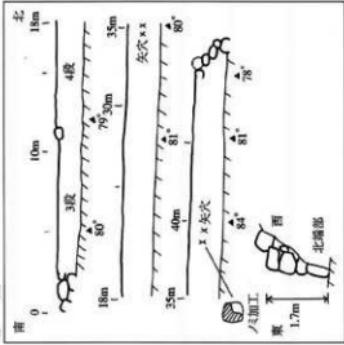
に、斜面4mの擁壁がある

・両端土に接する

遺構位置図



路図

調査年月
03/07/23調査者
渡部

全景(北東より)



全景(南より)



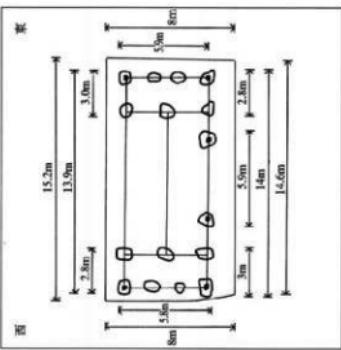
遠景(東より)



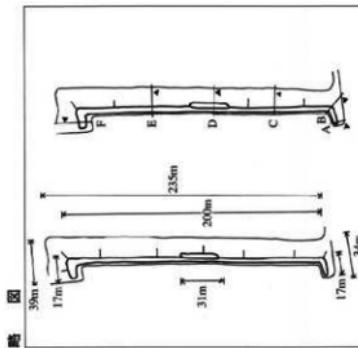
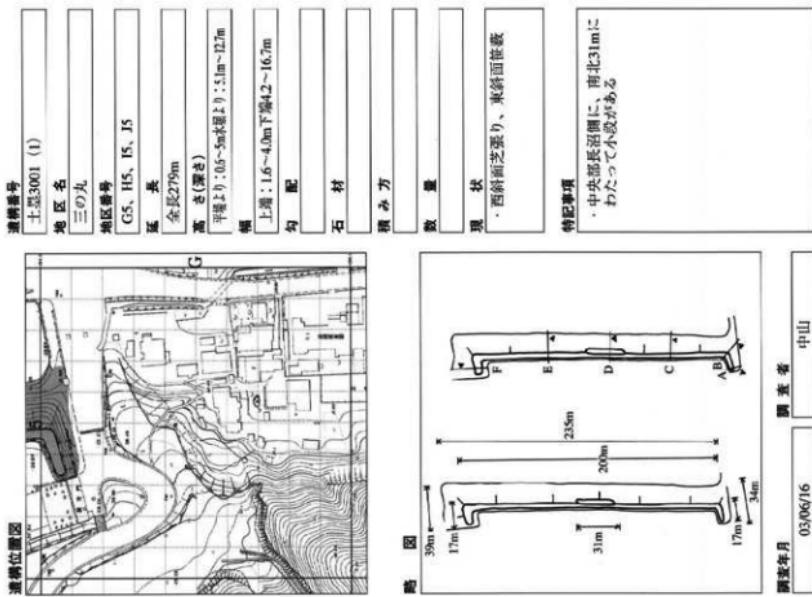
通称位置図

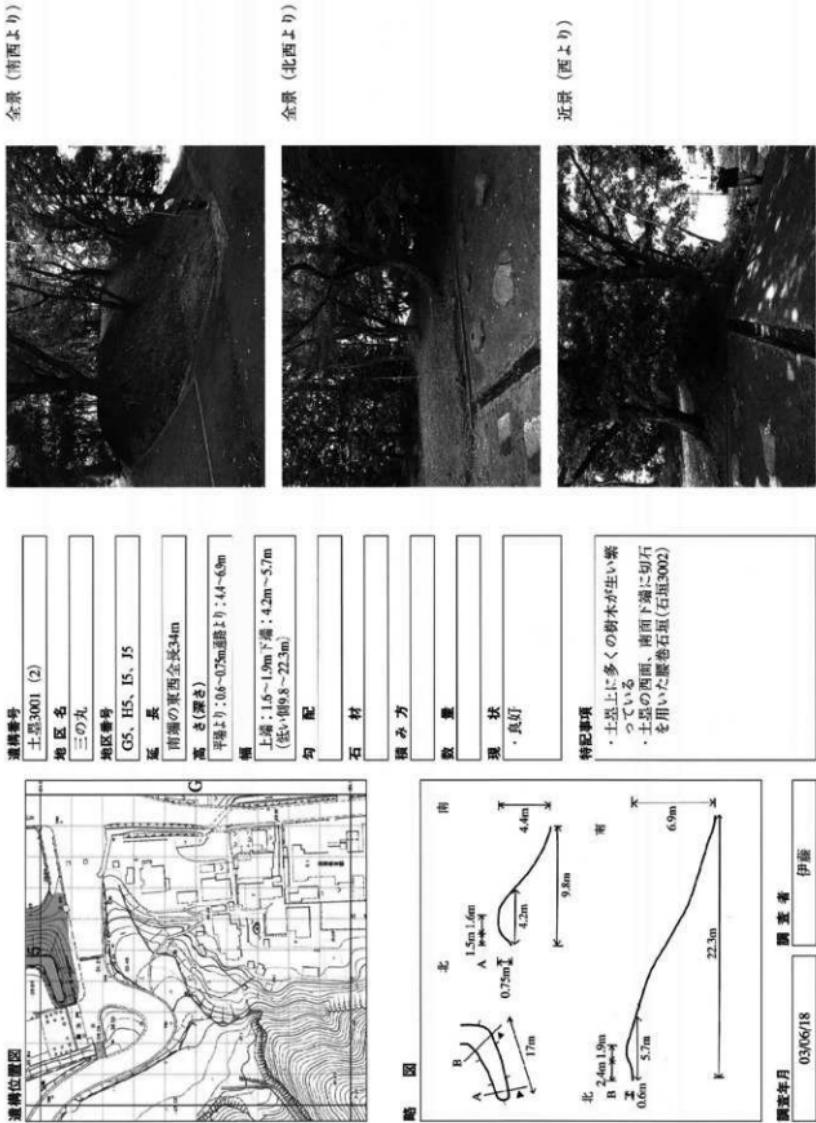


略図



調査年月 03/06/18
調査者 中山





遠景(北西より)



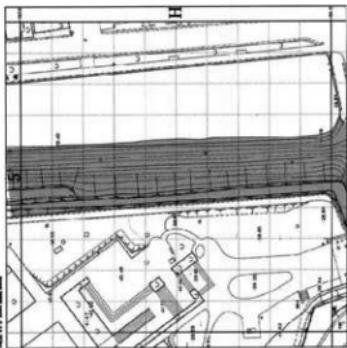
遠景(南西より)



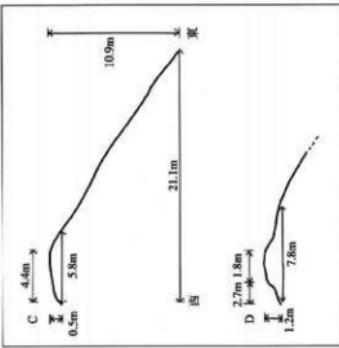
全景(南より)



遺構位置図



附 図



調査年月

03/06/18

調査者

伊藤

遺構番号	土盛3001(3)
地区名	三の丸
地区番号	
延長	G5, H5, I5, J5
南北全长上端:260m下端:235m	
高さ(深さ)	
直輪より:0.8~1.9m木枕より:10.0~11.4m 上端:1.8~4.0m下端:5.5~10.0m(7.8~11.0m)	
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	
特記事項	

近景(北より)



遠景(北西より)



遺構番号

土原3001(4)

地区名

三の丸

地区番号

G5, H5, J5

延長

高さ(深さ)

幅

勾配

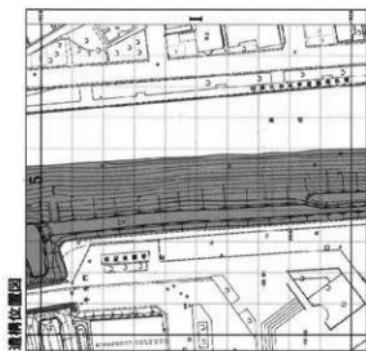
積み方

石材

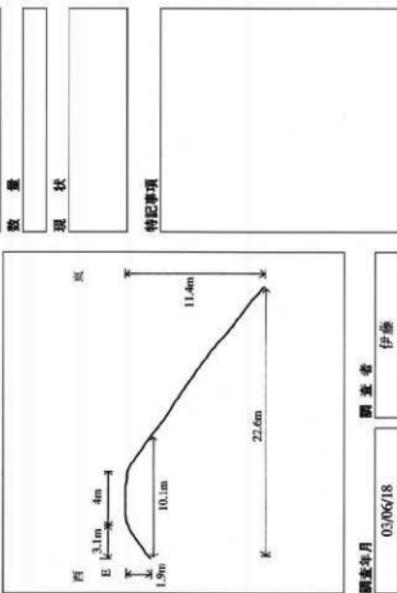
数量

現状

特記事項



断面図



調査年月

03/06/18

調査者

伊藤

遠景(南西より)



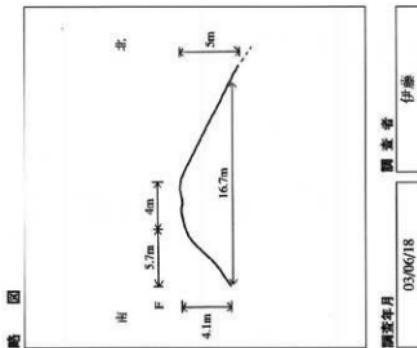
全景(南より)



全景(北西より)



測量番号	土管3001 (5)
地区名	三の丸
地区番号	G5, H5, I5
延長	北端の裏金長上端 : 17.0m 下端 : 39m
高さ(漢さ)	5.0m
幅	上端 : 4.0m 下端 : 16.7m
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	良好
特記事項	・水塔水面からの比高12.7m



調査年月
03/06/18
調査者
伊藤

遠景(北東より)



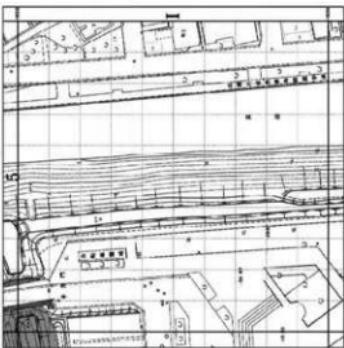
近景(南東より)



近景(南東より)



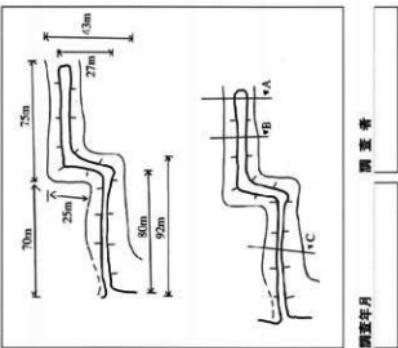
測量位置図



測量位置図

測量番号	土墨3002 (1)
地区名	三の丸
地区番号	16、17、15、16
延長	170m
高さ(深さ)	由頭側より：4.2~8.3m 脇側より：5.1~7.7m
幅	上端：26.0~4.0m 下端：17.3~25.8
勾配	
積み方	
石材	
数量	
現状	・良好
特記事項	

路図



調査年月

調査者

近景(東より)



近景(南より)



遠景(南より)

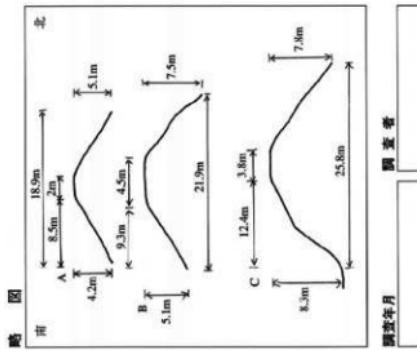


測量位置図



測量位置図

測量番号	土壟3002 (2)
地区名	三の丸
地区番号	15、16、17、15、16
延長	
幅	
高さ(深さ)	
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	
特記事項	



全景(北東より)

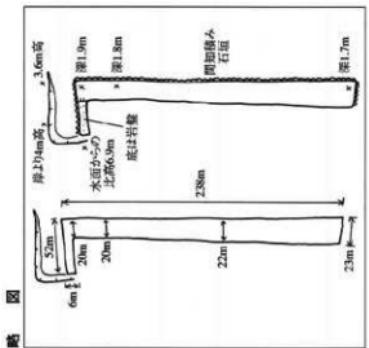
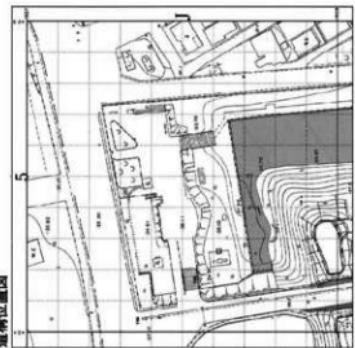
五色沼水堀からの排水口
(東より)

近景(西より)



通称番号	長沼水堀 堀3001
地区名	三の丸
地区番号	G5, H5, I5, J5
延長	290m
高さ(深さ)	1.7~1.9m (岸近く)
幅	6~23m
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	

特記事項
 ・北西端で五色沼より水が流れ込んでいる
 ・北西端は底が岩盤であり、南北に長い堰はそこから一段下がっている
 ・堰の北、東、南壁は開拓石の築積み石垣である



調査年月 03/06/18 調査者 伊藤

近景（北西より）



西端部の崩壊状況（南より）



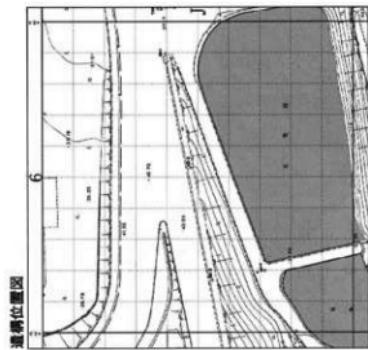
全景（東より）



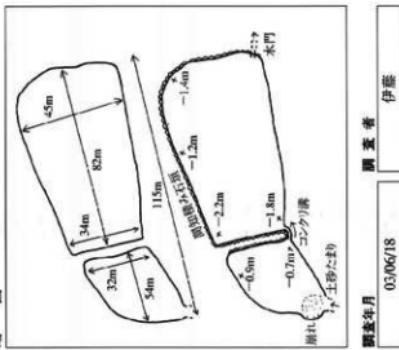
測量番号	五色沼水堀 縦3002
地区名	三の丸
地区番号	16, 17, 16, 17
延長	115m
高さ(溝さ)	0.7~2.2m (岸近く)
幅	45m
勾配	
石材	
積み方	
数量	

現状
・西端で岸の一帯が崩れれている
・西端の河水流入口付近に上砂堆積

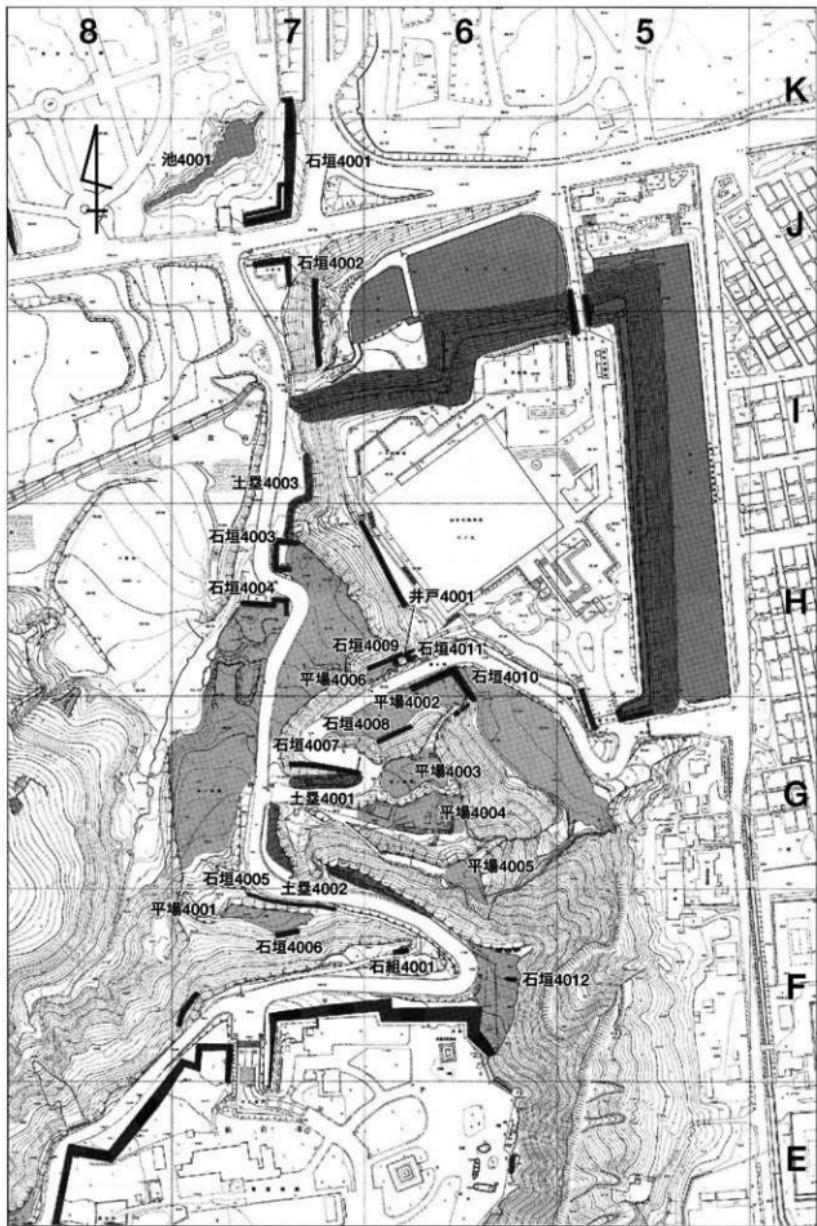
特記事項
・中間の土手及び、東岸は間知れ木縄積み石垣がめぐり、
水中で一部崩れている
・西半浅い、東半深い



断面図



4 登城路地区

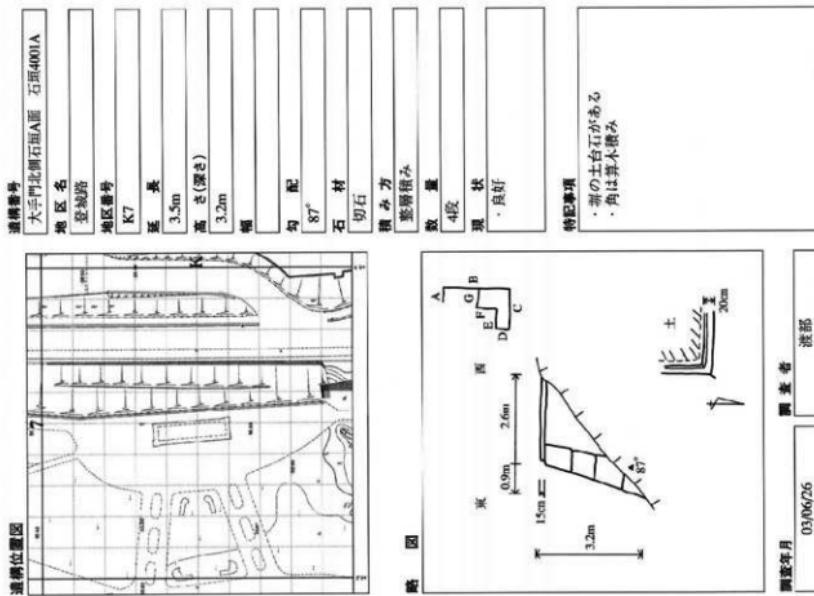


第6図 登城路地区的全体図

全景（北より）



B面の天端石材（南より）



遠景(東より)



近景(南東より)



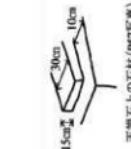
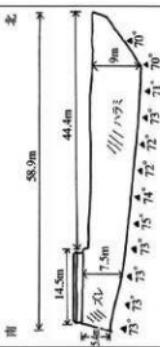
土壌土台石(北より)



測量位置図



路 図



天端石上の石(7m厚)

調査年月

03/06/26 渡部

調査者

地 区 名	大手門北側石垣B面 石垣4001B
登城路	
地区番号	
J1、K7	
延 長	
58.9m	
高さ(覆き)	BC付: 5.4m 最高9m
傾	
勾 配	70°~75°
石 材	
切石	
積み方	整層積み
數 量	最大20段、BC角7段
現 状	
	・BC角付近に、石のズレあり ・中間部少しひずれ
特記項	
	・天端上には、土解の土台石がある ・南部に、土解が発生する ・角石1段に対し、紫石2段 ・BC角は、算木積み

金質（南より）



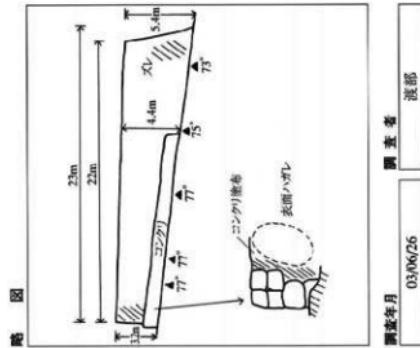
西端部（南より）



BC角部（南東より）



測量番号	
大手門北側石垣面	石墨4001C
地区名	登城路
地区番号	17
延長	23m
高さ(深さ)	BC角: 5.4m CD角: 3.2m
勾配	73°~77°
石材	切石
積み方	整面積み
数量	最大11段、CD角4段
現状	BC角部のズレ ・CD角部の石劣化
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> 天端上には、壁の土台石あり CD角は、角柱状の石を積む。 CD角附近の石材は被熱で劣化しており、一部、コシクリを造り付けている。 	



全景(西より)



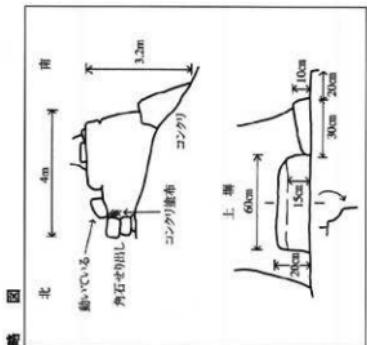
DE角部の石のズレ(西より)



天端の石材(西より)



通報番号	大手門北側石垣D面 石垣400ID		
地区名	登城路		
地区番号	17		
延長	4m		
高さ(深さ)	CD角: 2m DE角: 0.85m		
幅			
勾配	※せり出しているため、計測せず		
石材	・割石 ・角石は立方体でノミ加工が施される		
積み方	乱積み		
数量	21.4段		
現状	・前にせり出しておらず、崩壊の危険性がある ・DE角部の石がズレている		
特記事項	・DB角はサイコロ状の石材を積む ・土壌基部には図示のような細長い石材がある ・昭和53年(1978)、平成15年(2003)の地震で土崩板災		



調査年月 03/06/26 調査者 渡部

全景(北より)



近景(石のせり出し)(北より)



全景(北より)



地盤位置図

測量番号	大手町北側石面E面 石面4001E
地区名	登城路
地区番号	17
延長	19m
高さ(深さ)	84°~89°
幅	0.4~1.0m
勾配	84°~89°
積み方	石と自然石 鉄石と自然石
乱積み	
数量	70 3段
現状	石が抜け落ちたり、せり出している部分があり、崩落の危険がある。
特記事項	・石が抜け落ちたり、せり出している部分があり、崩落の危険がある。

断面図



断面図

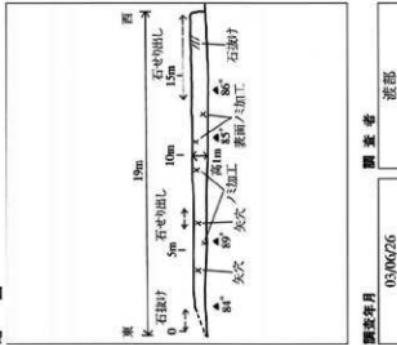


図-4 登城路地区

全景(西より)



近景(西より)



近景(西より)



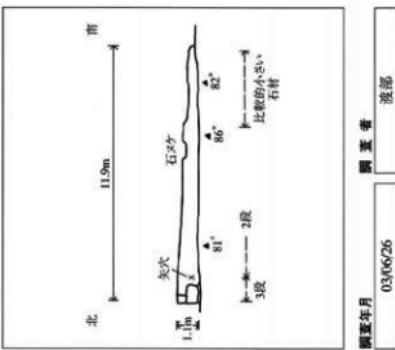
遺構位置図

遺構番号	大手門北側石垣正面 石垣4001F
地区名	登城路
地区番号	17
延長	11.9m
高さ(深さ)	0.4~1.1m
傾斜	
勾配	81°~86°
石材	割石と白石に四角切石が少數まじる
積み方	乱積み
数量	57 2段~3段
現状	・石が抜けている部分がある
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> EF一角付近の石が小さいため積み直した可能性が考えられる 穴穴ある石材1石 FG角削木積み

遺構位置図



路図



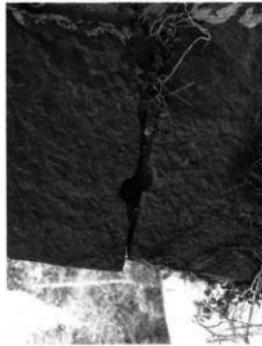
調査年月 03/06/26

調査者 渡部

全景（北より）



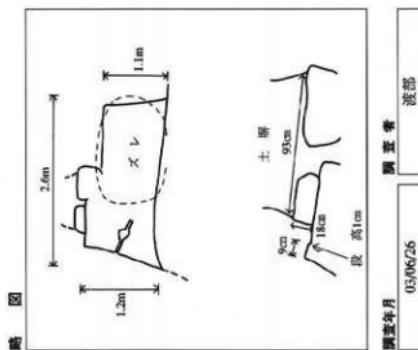
石材にあけられた穴（北より）



天端石の加工（北より）



遺跡番号	
大手門北側石垣G面	石垣4001G
地 区 名	
登城路	
地区番号	17
延 長	2.6m
高 底(原さ)	1.1~1.2m
幅	
勾 配	石がズレているので削定せず
石 材	B面側切石、他は割石
積み方	乱積み
数 量	15
現 状	西半の石がズレており、崩れの危険がある
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> B面側切石2石の合わせ目に、丸い穴が開けられている。 B面側天端石の端に小さな段を加工している。 土塊が残る。 一部コックリが塗られている。 	



全景(北東より)



近景(東より)



近景(東より)

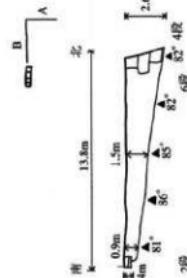


通称番号	大手門脇石垣八面 石垣4002A
地区名	
登城路	
地区番号	17
延長	13.8m
高さ(厚さ)	0.4~2.6m
幅	
勾配	82°~86°
石材	切石
積み方	乾留積み
數量	2~6段
現状	石垣のすれている箇所がある

特記事項
・角石4段。江戸切りが見られる
・石材には近年のものと考えら
れるハツリがある



略図



調査年月 03/06/23 調査者 中山

全景(北東より)



近景(北より)



近景(北より)

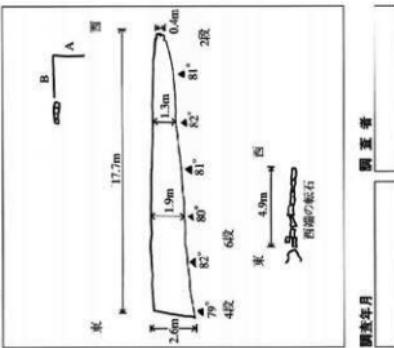


測量番号	大手門監督石垣B面 石垣4002B
地区名	登城路
地区番号	J7
延長	17.7m
高さ(深さ)	0.4~2.6m
幅	
勾配	79°~82°
石材	切石
精み方	整留積み
数量	121: 2~6段
現状	・良好

特記事項
・石材には近年のものとを考えられるハツリが見られる。
・西側に10石並んでおり、そのうち2石はコンクリート製の新しい石材である。



路図



調査年月

調査者

全景(南より)



近景(南より)



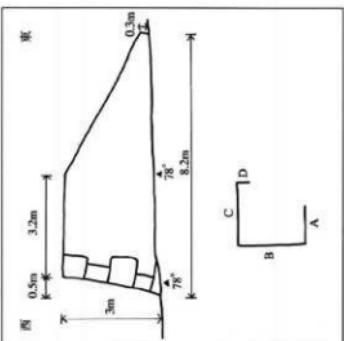
近景(南より)



遺跡位置図



略図



特記事項

- ・出角部、算木積み、江戸切り
- ・奥込め中にコブクリがあり、また、石材表面に数字の痕跡があることから、積み直されていと考えられる

調査年月 03/05/13 調査者 渡部・中山

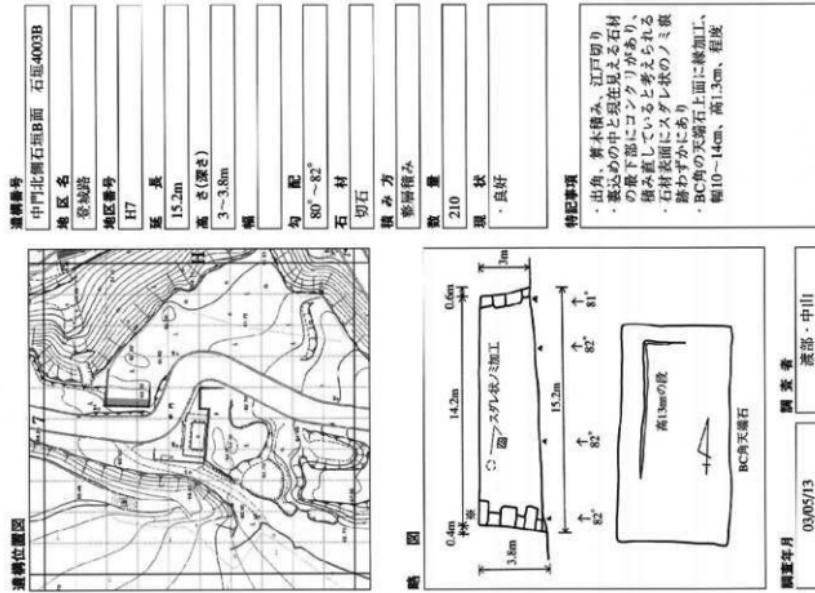
全景(西より)



近景(西より)



BC角部天端石材の加工(東より)



金型 (北西より)



近景 (北より)



近景 (北より)



遺構番号

中門北側石垣C面 石垣40009C
地区名
登城路
地区番号
H7
延長
13m
高さ(深さ)
1.1~3.8m
勾配
78°~84°
石材
切石
積み方
整層積み
数量
152

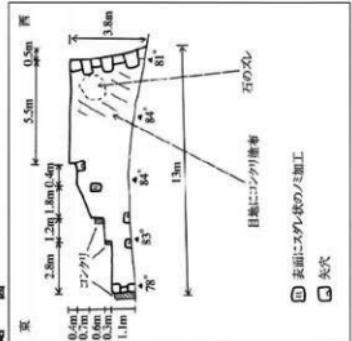
現状
・BC角付近で石のズレが目立つ

特記箇所
・CD角部はコンクリートで仕切られ、巨大な石の下には玉石・矢穴ある石材3石、スダレ状ノミ頭ある石材が1石みられる。

遺構位置図



路図



調査年月	03/05/13
調査者	渡部・中山

企画（東より）



近景（東より）



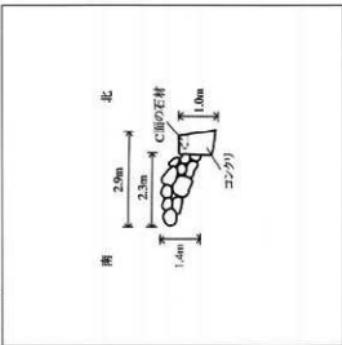
C面の東角部下部（北西より）



測量位置図



路 図



調査年月 03/05/13	調査者 淡部・中山
------------------	--------------

測量番号 中門北側石垣D面 石垣4003D	地区名 登城路	地区番号 H7	延長 2.3m	高さ(深さ) 1.4m	勾配	石材 自然石	積み方 混積み	数量 11	現状 ・ゆるんでおり崩落の危険がある	特記事項 ・北側はコンクリ擁壁にすり付けている。 ・石垣前面は急斜面である。
--------------------------	------------	------------	------------	----------------	----	-----------	------------	----------	-----------------------	--

東端部近景（北より）



西端部近景（北より）



刻印（北より）



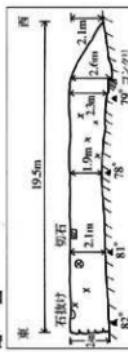
遺構位置図

中門南側石垣A面 石垣400mA	19.5m	1.9~2.6m	78°~82°	183 西側に20石崩落	現状	特記事項
地区名						・穴あきある石材6石
登城路						・刻印ある石材1石「+」
地区番号						・AB角入角、直角に折れる
H7						・裏込めは玉石
延長						・前面に近代機械物があり、土
高さ(深さ)						台が石垣に接している
幅						
勾配						
材種	自然石、削石、やすかに丸石					
積み方						
乱積み						
数量						

遺構位置図

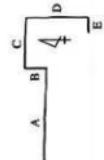


跡 図



矢穴

◎ 刻印「+」

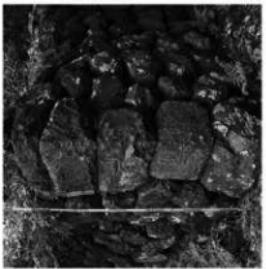
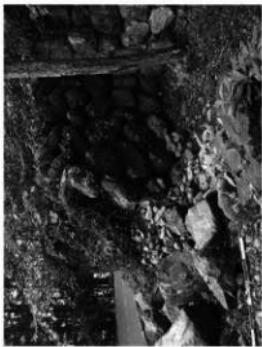


調査年月	03/05/14	調査者	渡部・中山
------	----------	-----	-------

全景(西より)



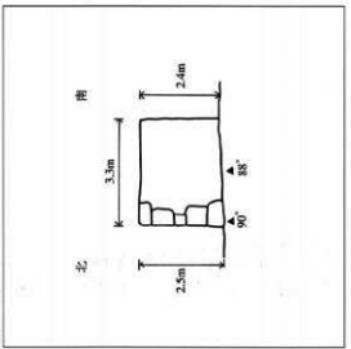
BC角部(北西より)

平成15年5月26日地震による様
害状況(北西より)遺構番号
中門南側石垣B面 石垣4004B地区名
登城路地区番号
H7延長
3.3m高さ(厚さ)
2.4~2.5m構
造勾配
88°~90°石材
自然石、粗石積み方
混積み数量
39現状
[Redacted]特記事項
・AB角は人角、BC角は出角・直角
・奥込めは玉石
・BC角部はサイコロ状の石材
を積み上げている

遺構位置図



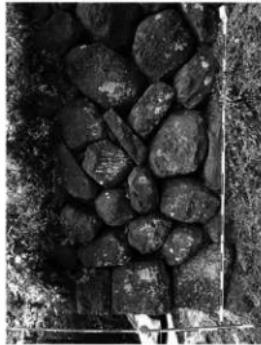
路図

調査年月
03/05/14
調査者
淡部・中山

全景(北より)



近景(北より)



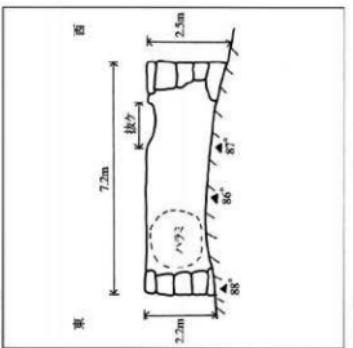
近景(北より)



遺構位置図



路 図



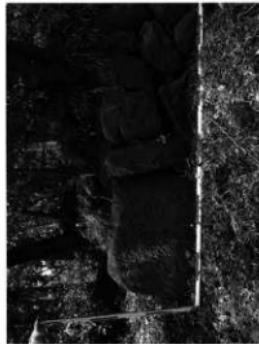
調査年月 03/05/14

調査者 渡部・中山

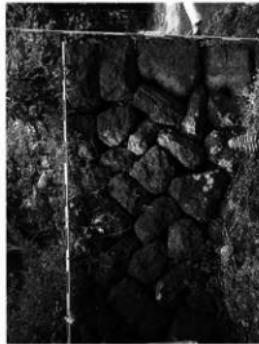
全景(東より)



近景(東より)



近景(東より)

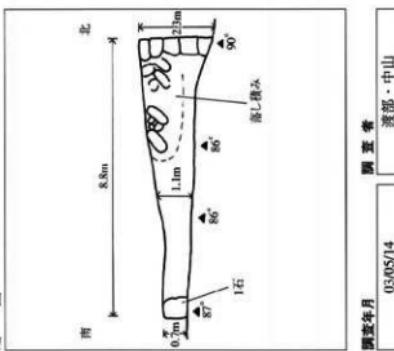
遺跡位置図
中門南側石垣D面 石垣4004D

地 区 名	
登 塗 号	
H7	
延 長	
8.8m	
高 さ(原 土)	
0.7~2.3m	
傾	
勾 配	
86°~90°	
積み方	
落とし積み、乱積み	
数 量	
69	
現 状	
特記事項	
・表込の玉石 ・CD角出丸 ・DE角出丸	

遺跡位置図



踏 図



調査年月	03/05/14
調査者	渡部・中山

全景(南より)



全景(南東より)



遺跡番号		中門前御石垣E面 石垣400AE
地区名	登城路	
地区番号	H7	
延長	3m	
高さ(深さ)	0.7m	
幅		
勾配		
石材	御石、自然石	
積み方	1段(下半は土中のため、段数不明)	
数量	3	
現状		



遺跡 (北東より)



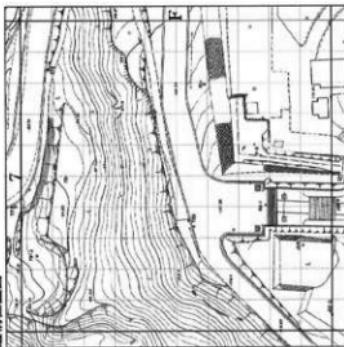
近景 (北より)



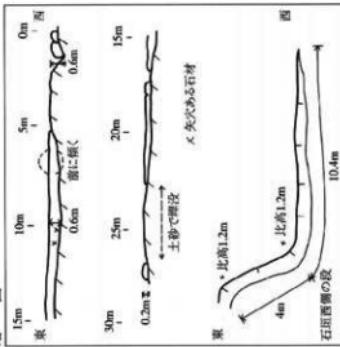
近景 (北より)



遺跡位置図



断面図



調査年月	03/05/15	調査者	渡部・中山
------	----------	-----	-------

遺跡番号
下馬脇石垣 石垣4005地区名
登城路地区番号
F7延長
27.6m高さ(深さ)
0.1~0.6m幅
勾配石材
切石積み方
積み方数量
32.1段のみ

現状

特徴現地

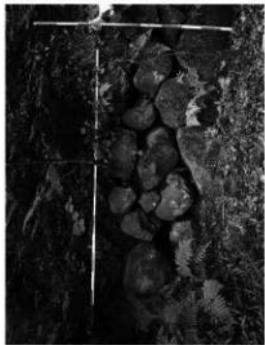
- 前面に傾いている石材がある
- 一部が正面に残りの上段で埋まっている

- 次穴ある石財石
- 前面に倒れこんでいる石材がある
- 前面に倒れこんでいる石材がある
- 一部が正面に残りの上段で埋まっている
- 登城路脇の石垣側面の側面の可能性が考えられる

全景(北より)



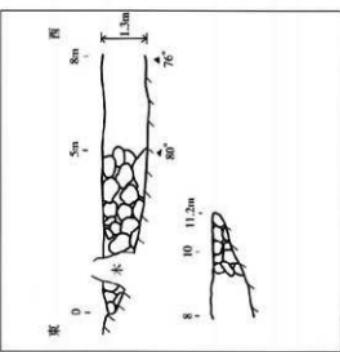
近景(北より)



近景(北より)

調査部位
下馬平場石垣 石垣4006地区名
登城路地区番号
F7延長
11.2m高さ(深さ)
1.3m幅
幅勾配
76°~80°石材
自然石積み方
乱積み数量
75 個詰め石16石 2~4段現状
・東側で根がからんでいいる特記事項
・裏込め石

地図



調査年月
03/05/15
調査者
渡部・中山

遠景(北より)



近景(北より)



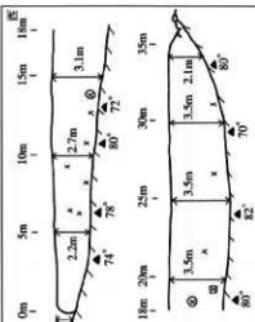
近景(北より)



遺跡位置図



断面図



- Ⓐ 欠穴
Ⓑ 表面ノミ加工
× 表面ノミ加工

調査年月
03/05/19

調査者
淀部・中山

特記事項
 *表面ノミ加工8石、粗いノミ加工1石
 *矢穴あるもの2石(計削できるもので、開口9cm、深10cm、未口6cm)
 *東端に上面平らな石あり
 (角石か)
 ドリルで空けたような丸い穴
 が見える

全景(北西より)



近景(北西より)



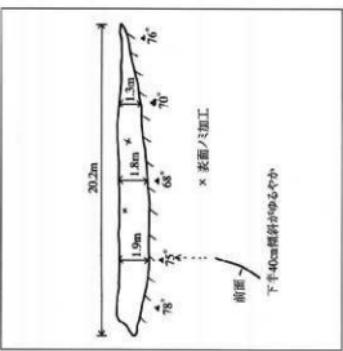
傾斜の状況(北西より)



測量位置図



路 図

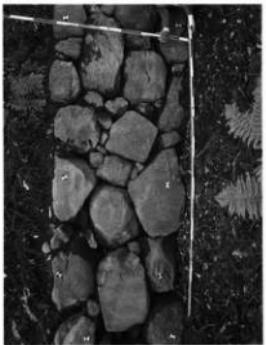


調査年月 03/05/22 調査者 渡部・中山

全景(南西より)



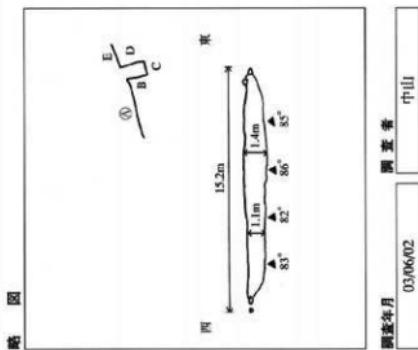
近景(南より)



近景(南より)



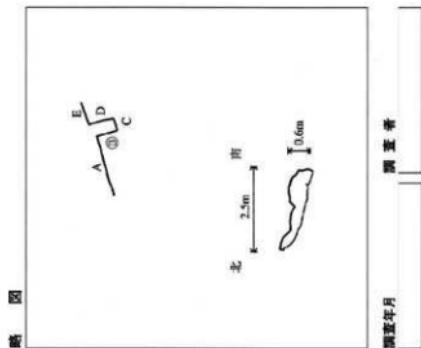
遺跡番号	清水町北側石垣A面 石垣409A
地区名	登城路
地区番号	H6
延長	25.1m
高さ(原さ)	0.3~1.4m
幅	
勾配	
石材	自然石が大部分、削石まじり
積み方	乱積み
数量	115石
現状	
特記事項	



全景(西より)



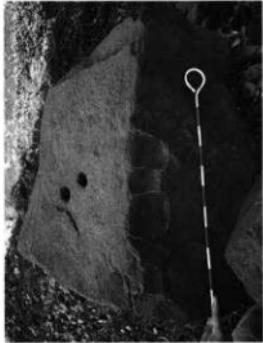
測量番号		清水門北側石垣B面 石面4009B
地区名	登城路	
地区番号	H6	
延長	2.5m	
高さ(深さ)	0.6m	
幅		
勾配		
石材	自然石か大部分、割石まじり	
積み方		
混積み		
数量	20	
現状	崩れている	
特記事項		



全景(南より)



角石の穴穴(北より)



測量番号

済水門北側石垣C面 石垣409C

地区名

登城路

地区番号

H6

延長

2.3m

高さ(奥さ)

0.9m

幅

勾配

石材

積み方

自然石が大部分、削石まじり

15

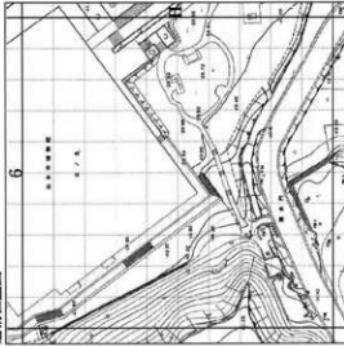
数量

現状

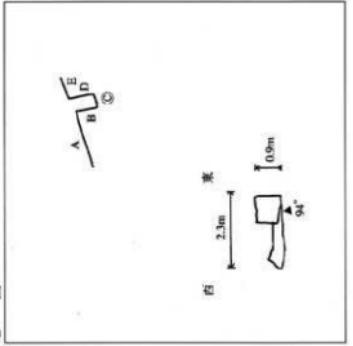
・崩れています

特記事項

測量位置図



附図



調査年月 _____ 調査者 _____

金景(東より)

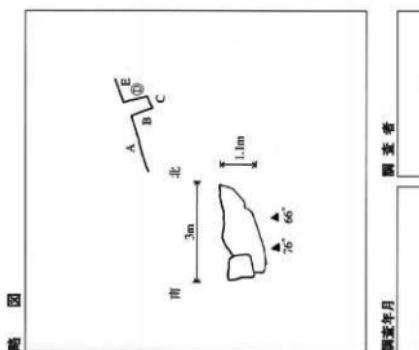


角石(東より)

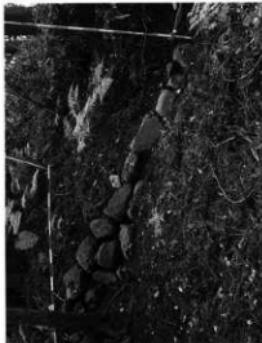


遺跡番号	6	清水町北側石面D面 石面409D
地区名		
登場階		
H6		
延長	3.0m	
高さ(深さ)	1.1m	
幅		
勾配	66°-76°	
石材	自然石が大部分、削石まじり	
積み方	乱積み	
数量	15	
現状	・良好	

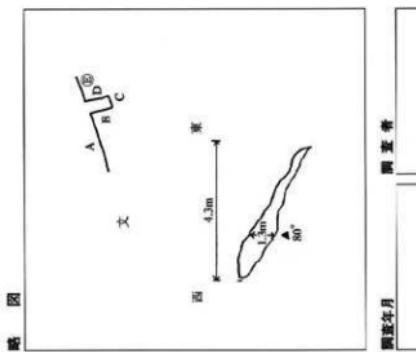
特記事項
 ・CD角部に方形に加工された
 角石1石あり。表面をノミ加
 工している。
 ・穴穴2ヶ所(幅10×深10、幅
 9×深9)



全景(南より)



遺構番号	清水門北側石垣正面 石垣409E
地区名	登城路
地区番号	H6
延長	4.3m
高さ(漢丈)	1.3m
幅	80°
石材	自然石が大部分、削石まじり
積み方	乱積み
数量	24
現状	・良好
特記事項	



調査月

調査者

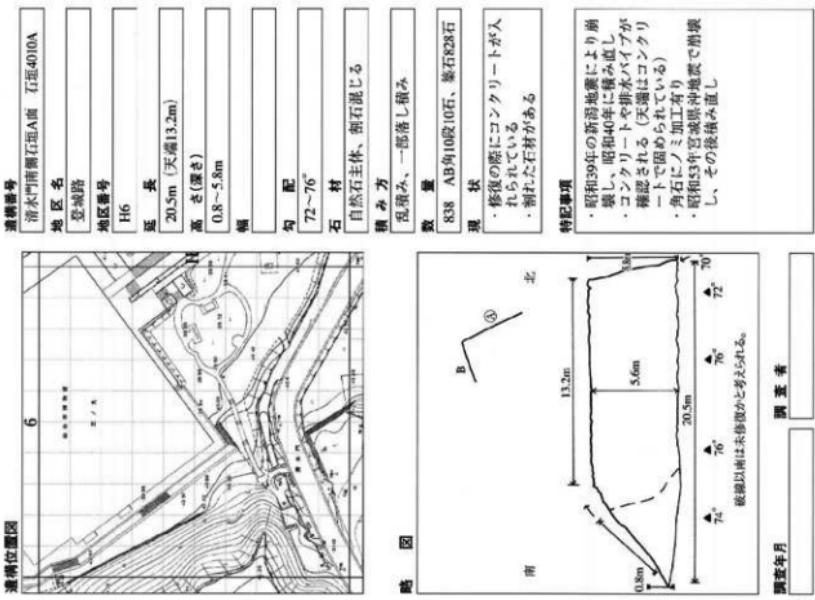
金管（東より）

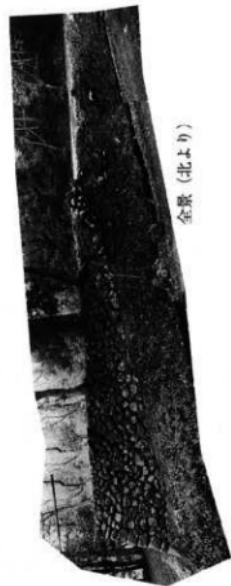


角部（北東より）



南端部（東より）

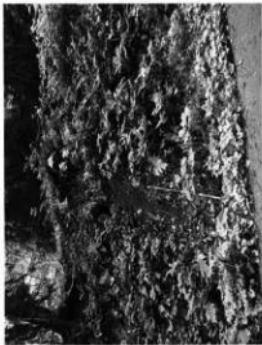




全景(北より)

近景(北より)

平成15年5月26日地震による被
害(北より)



測定番号	清水門南側石垣B面 石面4010B
地区名	登城路
地区番号	H6
延長	30.1m (天端28.8m)
高さ(深さ)	0.9~5.9m
幅	
勾配	
石材	自然石主体、削石まじり
積み方	積み方
混入み	混入み
数量	448 基七の八(例行は全面に含む)
現状	
特記項	・西端部が崩落

測定位置図

6

路図

測定年月

測量者

測定年月

測量者

全景(北東より)



近景(北より)



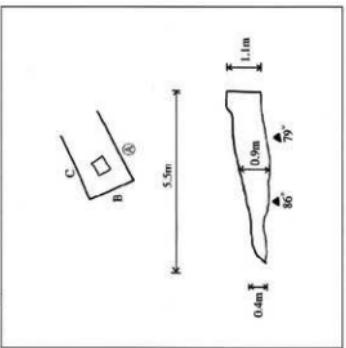
近景(北より)



測線番号	清水町井戸石面入口面 石面4001A
地区名	
登城路	
地区番号	
H6	
延長	5.5m
高さ(深さ)	
0.2~2.2m	
傾傾	
勾配	79°~86°
石材	自然石が大部分、割石まじり
積み方	
乱積み	
数量	44
現状	・良好
特記事項	



断面図



調査年月 03/06/02 調査者 中山

全景(東より)

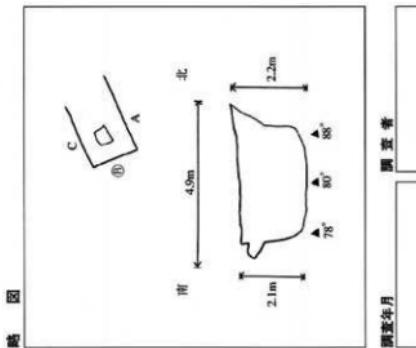


全景(東より)



遺跡番号	清水門井戸石垣面 石面401B
地区名	
登城路	
地区番号	H6
延長	4.9m
高さ(原さ)	2.1~2.2m
幅	
勾配	78°~85°
石材	自然石が大部分、側石は石じり
積み方	
乱積み	
数量	111
現状	・良好

特記事項
・A、C面に比べて石積がやや
小さい



全景(南西より)



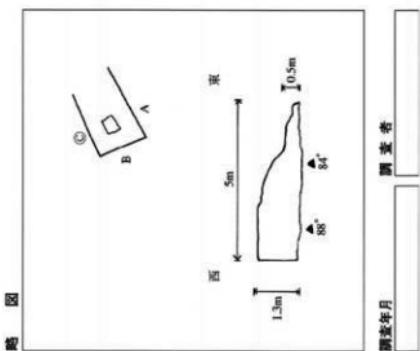
近景(南より)



近景(南より)



測量番号	6	測量番号	清水町井戸石垣C面 石垣401C
地区名		地区番号	
登城路		延長	
H6		5.0m	
高さ(深さ)		0.5~1.3m	
幅			
勾配		84~88°	
石材		自然石が大部分、削石まじり	
積み方		乱積み	
乱積み		数量	
現状		53	
・良好			
特記事項			



調査年月

調査者

全景(北より)



全景(南より)



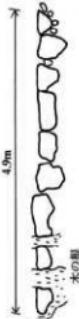
北側崖際の石材(南より)



遺跡位置図



断面



平面

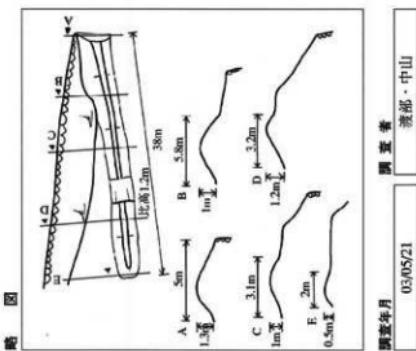
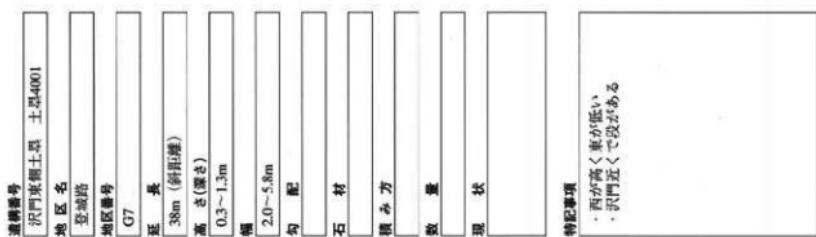
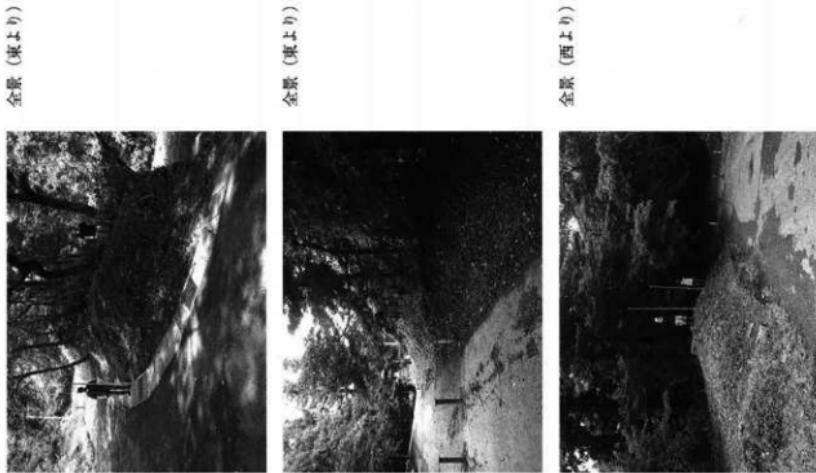
調査年月 _____ 調査者 _____

遺跡番号
時太波石垣 石垣4012

地 区 名	
登記番号	
F6	
延 長	
4.9m	
高 さ(深さ)	
最大25cm	
幅	
勾 配	
石 材	
削 石	
積み方	
数 量	
9	
現 状	

特徴事項

- ・石間に小さな削石、玉石が少
量ある。
- ・一列で擡出されており、洗いあ
るかは不明。
- ・西端は木地脚が石を抱いている。
- ・平場北側の崖際には自然石が
点在している。



近景（北西より）



遠景（西より）



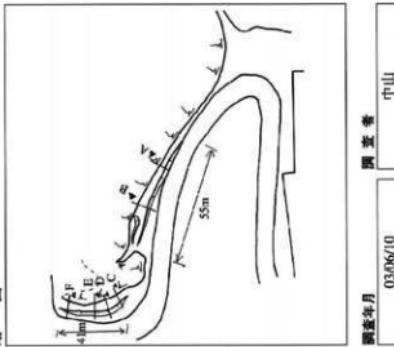
遠景（南より）

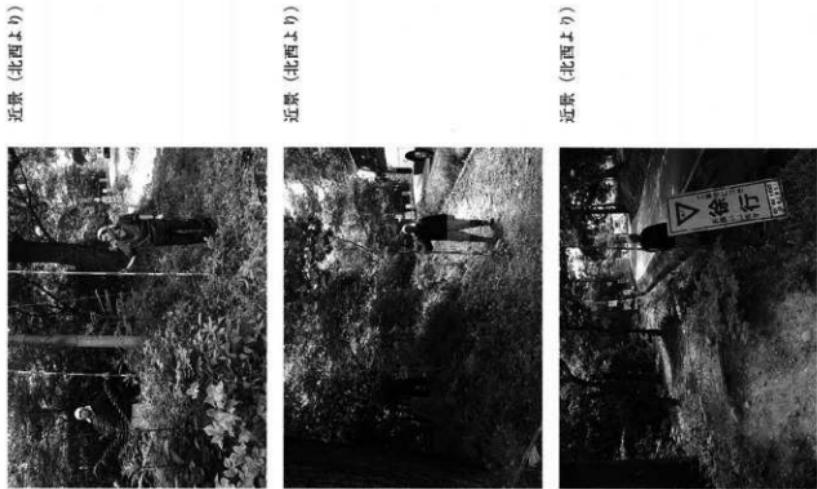


道路番号	浜門南側土堤 土質4002 (1)		
地区名			
登城路			
地区番号			
F6, G6, G7			
延長			
96m (崩れた部分も含む)			
高さ(深さ)			
0.4~1.5m			
傾斜			
上端: 0.8~1.9m 下端: 2.5~10.0m			
勾配			
石材			
積み方			
数量			
現状	途中、約15m崩れています		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・土堤の登城路反対側は、大部分が自然地形のガケ(急斜面) となっています 		

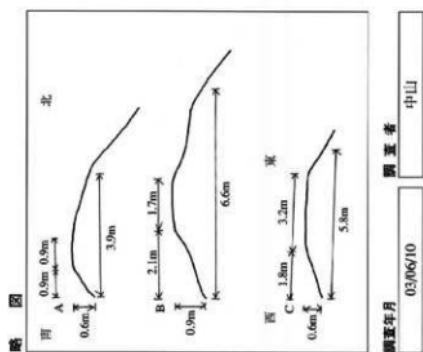


断面図





測量番号	沢ノ門前側土壁 土墨-4002 (2)	
地区名		
登城路		
地区番号		
延長		
FG, G6, G7		
高さ(深さ)		
幅		
勾配		
石材		
積み方		
数量		
現状		
特記事項		



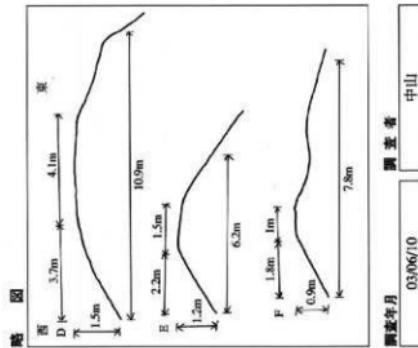
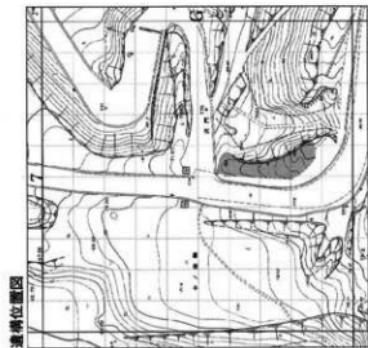
近景(南より)



近景(南より)



測線番号	沢門南側土壁 土壁4002 (3)
地区名	
登城路	
地区番号	F6, G6, G7
延長	
高さ(深さ)	
傾斜	
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	
特記事項	



調査月	03/06/10
調査者	中山

近景(北より)



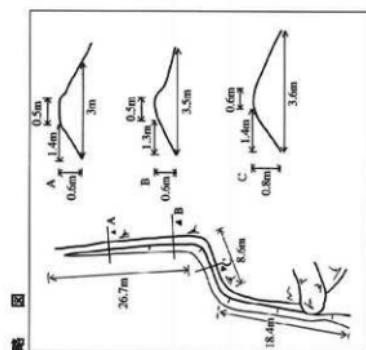
近景(南より)



屈曲部(西より)



測量番号 中門北側土堀 土堀4003 (1)	
地区名	登城路
地区番号	
H7、17	
延長	53.7m
高さ(深さ)	0.6~0.9m
幅	3.0~4.0m
勾配	
積み方	
数量	
現状	・南部で一部崩れている
物記事項	・葉側は自然の傾斜地となる ・周辺に瓦が散乱している

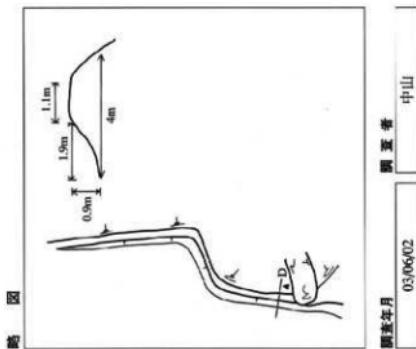


調査年月 03/06/02	調査者 中山
------------------	-----------

近景(北より)



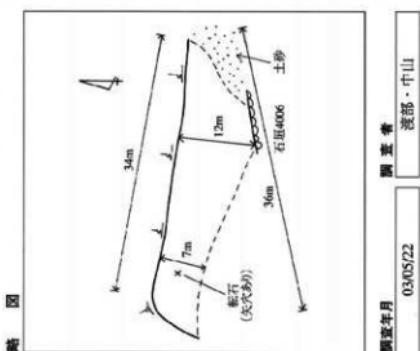
測量番号	中門北側土壁 土壁400B3 (2)	
地区名		
登城路		
地区番号		
H7、17		
延長		
高さ(深さ)		
幅		
勾配		
石材		
積み方		
数量		
現状		
特記事項		



測量年月	03/06/02
測量者	中山



地図番号	下馬平場 平場4001
地区名	登城路
地区番号	
延長	F7
	36m
高さ(深さ)	
幅	
勾配	12m
石材	
積み方	
数量	
現状	・東端に土砂流入
特記事項	・断工あり (矢穴) ・瓦が散乱している



全景(西より)



全景(西より)



全景(東より)

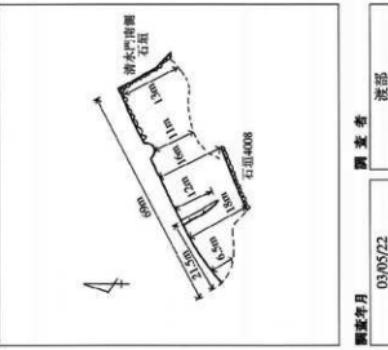


測量位置図



測量番号	渋曲輪平場1 平場4002	
地区名		
登城路		
地区番号	G6, G7, H6	
延長	69m	
高さ(深さ)		
幅	6.5~18m	
勾配		
石材		
積み方		
数量		
現状		
特記項	西側に高0.5mの段がある 南の崖際から湧水がある	

地図



遠景(西より)



全景(西より)



近景(東より)



遺跡位置図

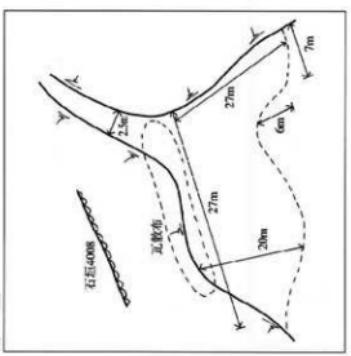
地区名	沢曲輪平場2 平場4003
登城路	
地区番号	G6
延長	
高さ(深さ)	27m
幅	
勾配	20~27m
石材	
積み方	
数量	
現状	

特記事項
・北側斜面部に瓦多い(大型の
棧瓦)

遺跡位置図



地図



調査年月 03/05/22 調査者 波部

遺跡 (西より)



近景 (東より)



近景 (西より)



遺跡位置図

沢曲輪平場3 平場4004

地区名

登城路

地区番号

G6

延長

44m

高さ(深さ)

14~30m

勾配

石 材

積み方

數量

現状

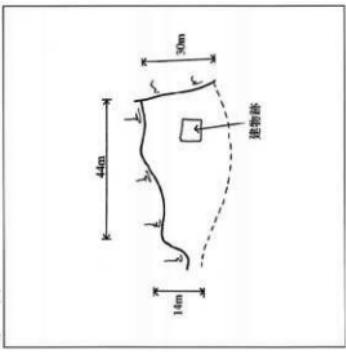
特記事項

・沢水あり
・遺物基礎あり→平安城柵施設

遺跡位置図



略図

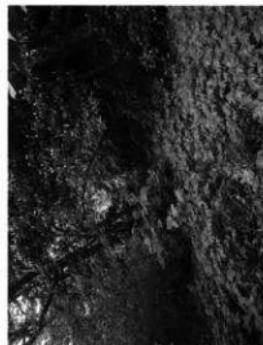


調査年月	03/05/22	調査者	渡部
------	----------	-----	----

全景(東より)



全景(西より)



西岸堤道(北より)



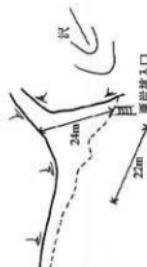
測線位置図



路 図

特記事項

・西岸堤道あり
・西岸堤道のために新たにつくられた半場の可能性が高い

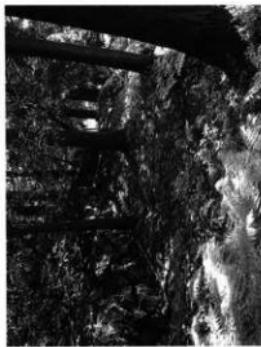


調査年月 03/05/22 調査者 渡部

全景（東より）



全景（西より）



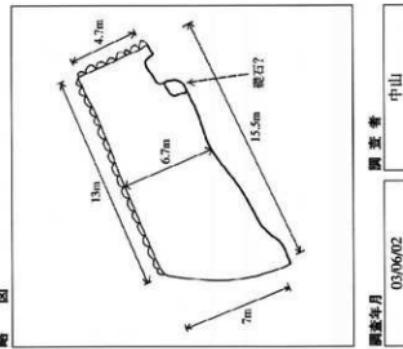
大形石村（南東より）



測量位置図	清水門北側 平場4006
地区名	登城路
地区番号	
H6	
延長	15.5m
高さ(深さ)	
幅	
勾配	4.7~7.0m
石材	
積み方	
数量	
現状	
特記事項	・礫石の可能性を考えられる大形石村がある



地図



全景(北西より)



全景(南東より)

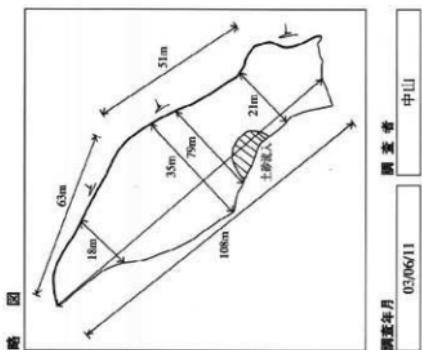


全景(南東より)



地盤位置図	地盤名	地区名	地区番号	登城路	沿道区段平場 平場4007
	長	G5, G6, H6			
	延				
	高さ(深さ)	108m			
幅					21~35m
勾配					
積み方					
数量					
現状					・山側で渓木あり

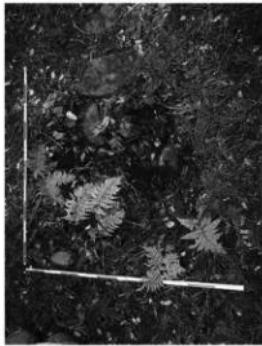
特記事項
・溝った工場であり、平場端の排水口には純え排水が流れ出している。
・山側は地盤が悪いようで、土崩れがある。
・注意する必要がある。



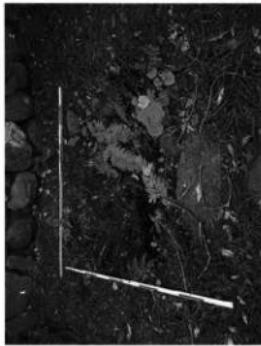
全景(東より)



全景(東より)



全景(東より)



通称番号

井戸4001

地区名

登城路

地区番号

H6

延長

1.3m

高さ(深さ)

0.6m

幅

1.2m

勾配

石材

自然石、一部割石あり

積み方

数量

11 東延:9石 西延:1石 北延:1石

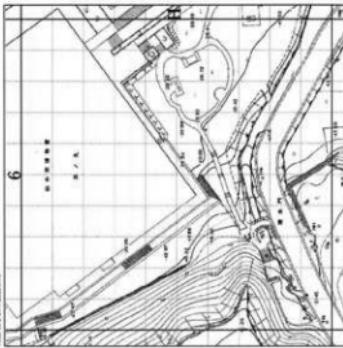
現状

・良好

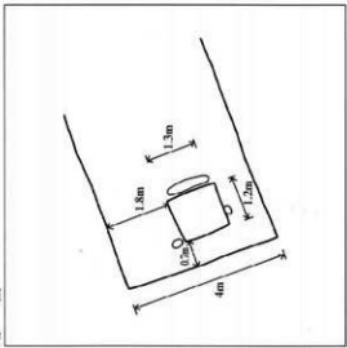
特記事項

- 石垣401に開まれております。中央部から両端に寄つたところにある。
- 現在は埋まつた状態にある。(若干残存)
- 水は少しはある

通称番号



略図



調査年月

03/06/02

調査者

中山

全景(西より)



全景(南東より)



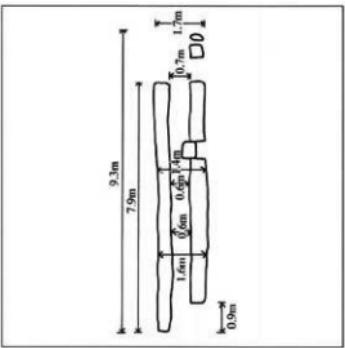
近景(東より)



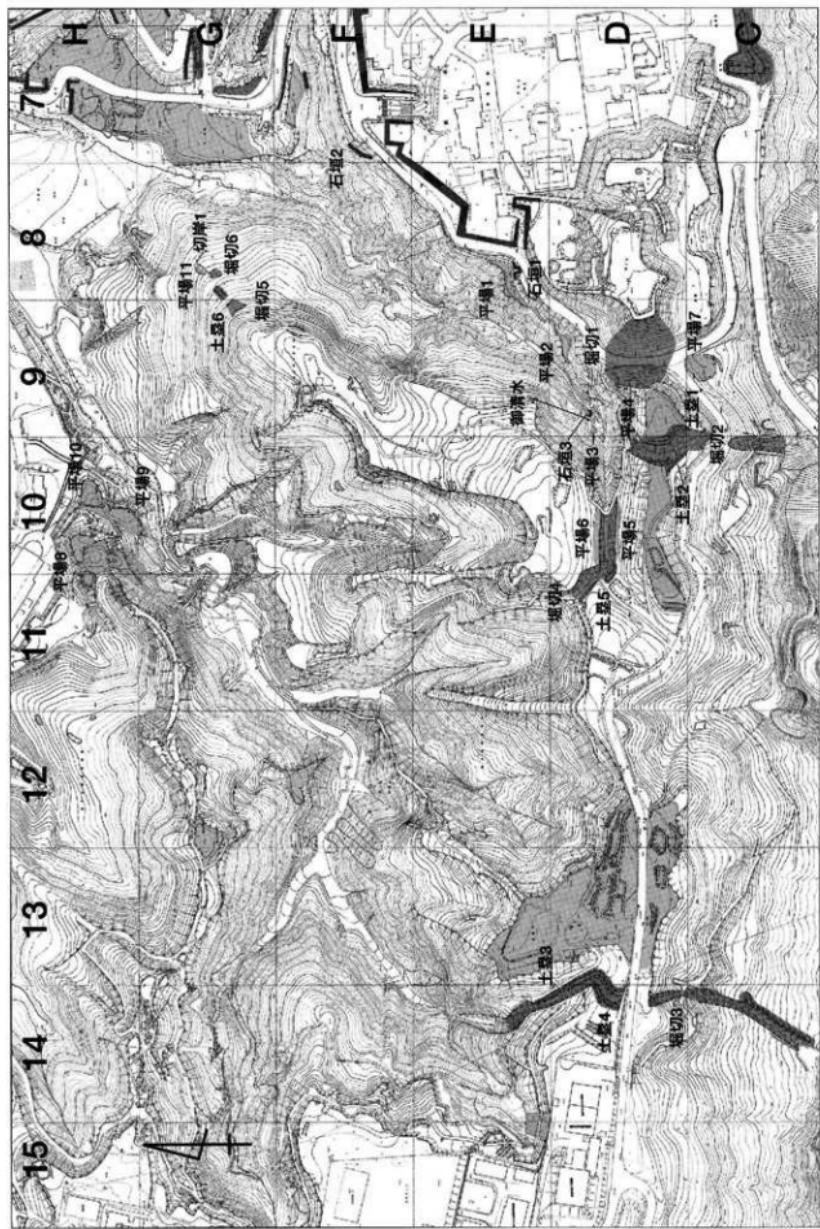
遺跡位置図



略図



5 御裏林地区



第7図 御裏林地区の全体図

金櫻(北西より)



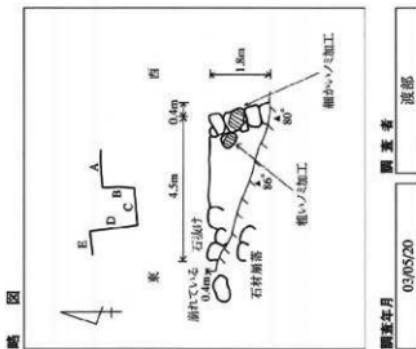
近景(北より)



AB角部(北西より)



測量位置図		路図		現状	
断面番号	断面番号	地名	地名	特記事項	特記事項
折水清石垣A面 石垣IA	御菴林	TR	TR	・表面に粗いノミ加工と細かい ノミ加工あり	・表面に粗いノミ加工と細かい ノミ加工あり
地区名	地区番号	延長	勾配	・AB引出角	・AB引出角
		4.9m	80°、86°	・東端崩れ付け	・東端崩れ付け
		高さ(深さ)	石材	・兼込め玉石	・兼込め玉石
		4.9m	自然石、表面加工あり		
			精み方		
			乱積み		
			数量		
			29		
				・東端崩れている	



近景(西より)



近景(西より)



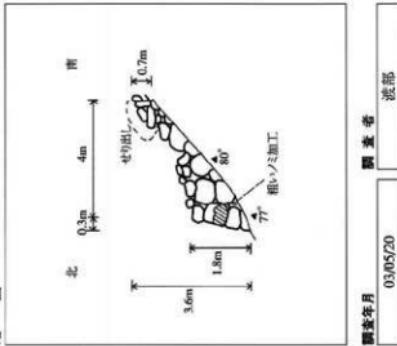
遺構番号

行水漕石垣B面 石垣IIB	
地区名	
御裏林	
地区番号	
ES	
延長	
4m	
高さ(深さ)	
0.7~1.8m (比高:1.6m)	
幅	
勾配	
77°、80°	
石材	
自然石、一部に表面加工	
積み方	
乱積み	
数量	
27	
現状	
・前端の上端がせり出している	
物記事項	
・表面に粗いノミ加工	
・AB角出角	
・BC角、入角	
・表込め玉石	

遺構位置図



路図



調査年月	03/05/20
調査者	渋部

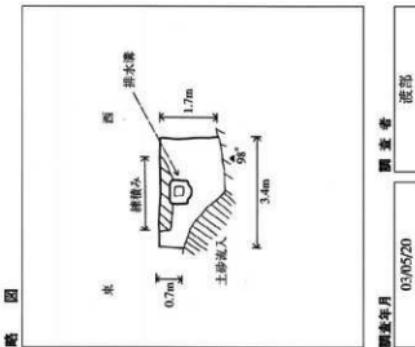
全景(北より)



排水溝(北より)



通報番号	防水平石垣C面 石垣IC
地区名	御菴林
地区番号	E8
延長	3.4m
高さ(深さ)	0.7-1.7m
幅	
勾配	98°(せり出している)
石材	自然石
積み方	乱積み
数量	21
現状	<p>手前にせり出している ・中央上端に排水口があり、横 み直されている</p>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> BC角、入角 CD角入角 BC角部に土砂流入、かなり 詰まっている 中央の排水管は、コンクリート 管、上部に別な石で縫合のみの積み 直し



調査年月
03/05/20

調査者
渡部

近景(東より)



近景(東より)



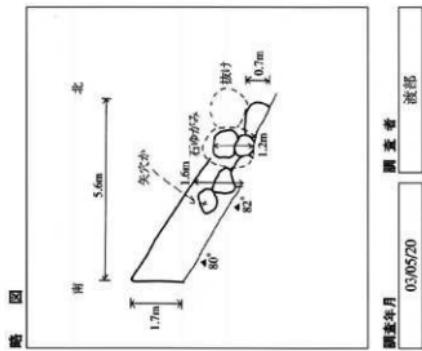
矢穴? (東より)



遺跡位置図

地区名	防水滑石垣D面 石垣ID
御裏林	
地区番号	
E8	
延長	
5.6m	
高さ(深さ)	
0.7~1.7m	
幅	
勾配	
80°、82°	
石材	
自然石	
積み方	
乱積み	
数量	
28	
現状	・北端くずされている
特記事項	・矢穴らしい穴あり(幅7cm、深3cm) ・CD角入角 ・DE角出角 ・裏込め玉石

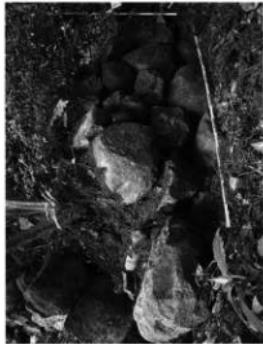
遺跡位置図



近景(北より)



近景(北東より)



石材表面のノミ加工(北より)



遺構番号

竹下滑石垣E面 石垣1E

地区名
御褒林

地区番号

E8

延長

4.3m

高さ(深さ)

1.7m

幅

88°

石材

自然石、一部に表面加工
積み方

乱積み

数量

21

現状

・東端崩れており、せり出している

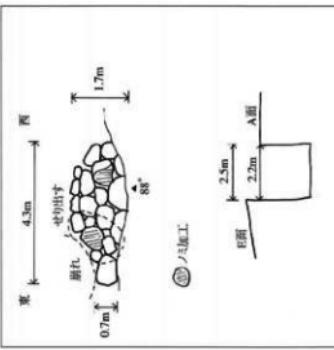
特記事項

- 表面上に細かいノミ加工がある石材2石
- DE角、出角
- 西端地山すり付け
- 嵌め玉石

遺構番号



路図



調査年月

03/05/20

調査者

波部

全景(北西より)



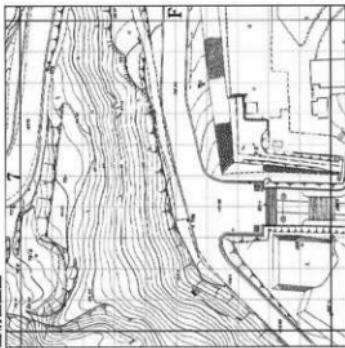
近景(北西より)



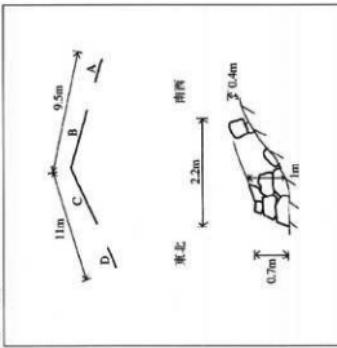
遠景(西より)



測量位置図



地図



調査年月	03/05/21
調査者	波部・中山

地区名
御裏林地区番号
17延長
2.2m高さ(深さ)
0.4~1m幅
幅勾配
勾配石材
石材自然石
自然石積み方
積み方乱積み
乱積み数量
数量15~2~3段
現状

現状
根がからむ
・根が剥げている
・石が剥げてある
・前面せり出し

特記事項
・被災の玉石

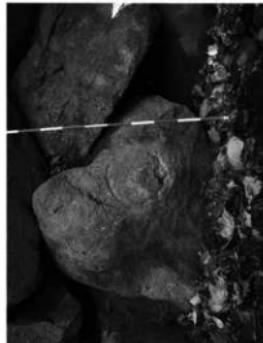
近景(北より)



近景(北西より)



近景(北西より)



遺跡位置図

本丸西北壁下右端B面 石垣2B

地区名 御裏林

地区番号

F7

延長

4.5m

高さ(深さ)

2m

幅

勾配

石材

自然石 主体、鵞石混じる

積み方

乱積み

数量

36 3~4段

現状

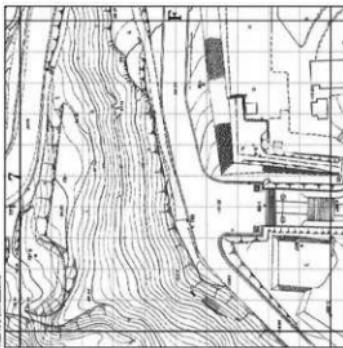
根がからむ

前面へせり出している

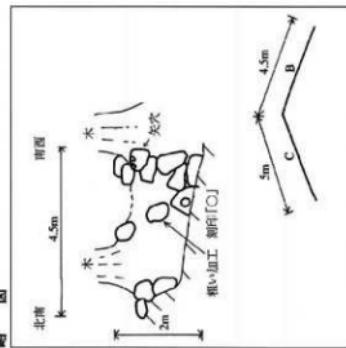
特記事項

- ・矢穴ある鵞石
- 矢穴①一間□・末口3.5・深7.5
- 矢穴②一7・4・7.5
- 矢穴③7.5・×・×
- ・無い表面加工なし
- ・刻印(○) 深15cm
- ・AB角地角の出角
- ・裏込め玉石

遺跡位置図



図



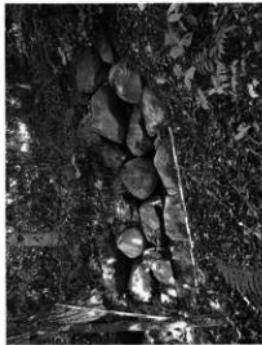
調査年月

03/05/21

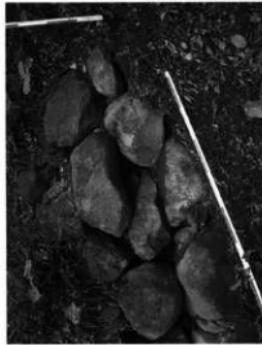
調査者

深部・中山

全景 (北西より)



近景 (北西より)



遠景 (北西より)



測量番号

木丸北西壁下石面 石庭C面

地区名
御裏林地区番号
F7延長
5m高さ(深さ)
1.6m

幅

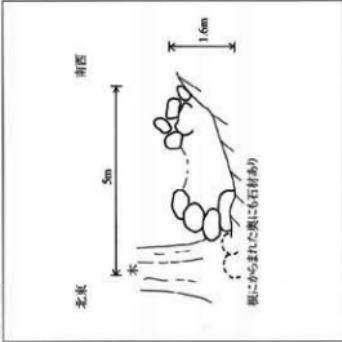
勾配

石材
自然石積み方
混積み数量
23 3~4段現状
・場がからんでいる
・石が抜けている、せり出している特記事項
・差込式玉石
・AB角突出角

測量位置図



地図

調査年月
03/05/21調査者
渡部・中山

全景(北西より)



近景(北西より)



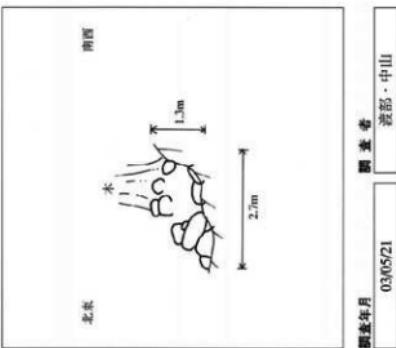
側面(北東より)



遺跡番号	本丸北西壁下石垣D面 石垣2D		
地区名	御表林		
地区番号	F7		
延長	2.7m		
高さ(深さ)	1.3m		
傾斜			
勾配			
石材			
自然石			
積み方			
乱積み			
数量	19	2~3段	
現状	根がからんでいる。 石が抜けている、前面にせり出している。		
特記事項	・表込め玉石		



跡 図



全景(東より)



近景(東より)



木材の状況(南より)



測量番号

拂消水

地区名

御裏林

地区番号

D9

延長

高さ(深さ)

幅

勾配

石材

積み方

数量

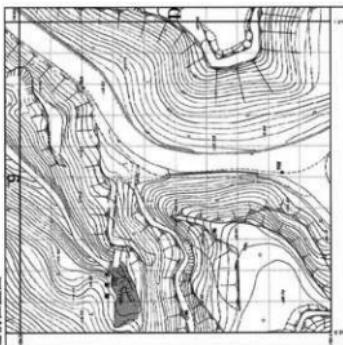
現状

- ・コンクリ施設あり
- ・湧水あり

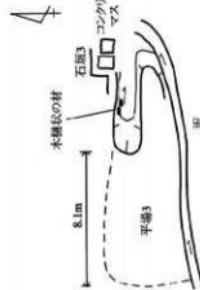
特記事項

- ・園の部分に木材あり

測量位置図



附 図



調査年月

05/05/23

調査者

渡部・中山

全景(南東より)

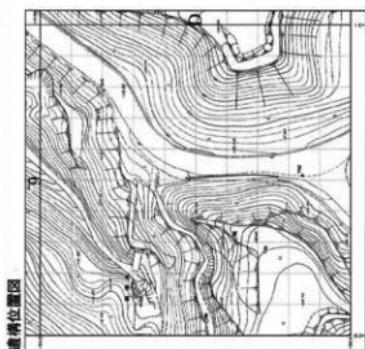


近景(南より)

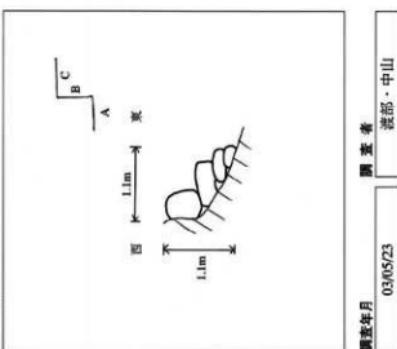


遺跡番号

測量位置図	御来林 御来林
地区名	御来林
地区番号	D9
延長	1.1m
高さ(深さ)	1.1m
傾	
勾配	
石材	自然石
積み方	乱積み
数量	4-4段
現状	
特記事項	



路図

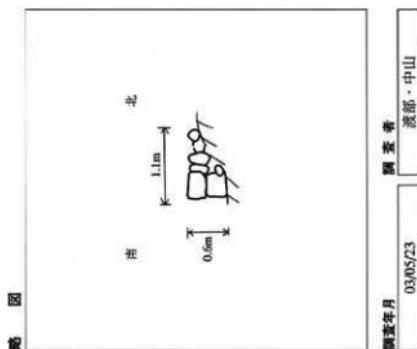
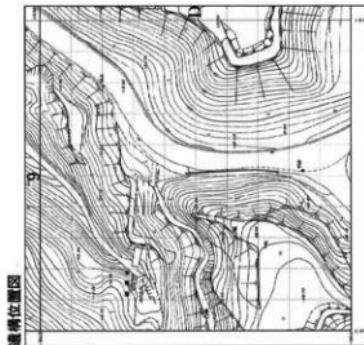


調査年月
03/05/23
調査者
淡部・中山

金界(東より)



測量番号	御清水石垣B面 石垣3B
地区名	御菴林
地区番号	D9
延長	1.1m
高さ(深さ)	0.6m
幅	幅
勾配	勾配
石材	石材
自然石	自然石
積み方	積み方
乱積み	乱積み
数量	数量
現状	現状
特記項	特記項

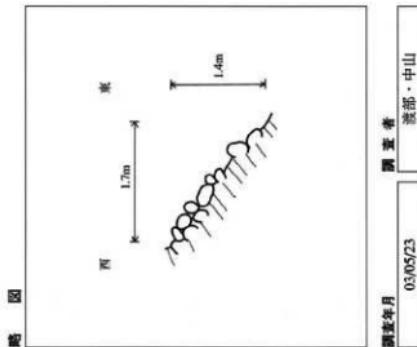
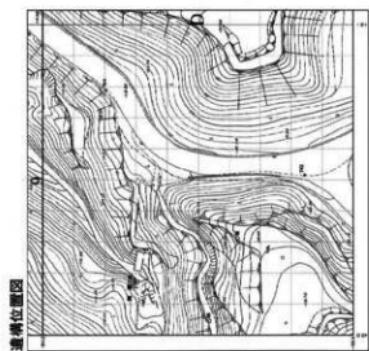


調査年月	03/05/23
調査者	渡部・中山

全景 (南より)



測量番号	御清水石垣C面 石加3C
地区名	御表林
地区番号	D9
延長	1.7m
高さ(深さ)	1.4m
幅	
勾配	
石材	自然石
積み方	乱積み
数量	10 2段
現状	
特記事項	・A、B面に比べ、小さく丸い 石を使用している



全景 (南より)



西斜面 (東より)



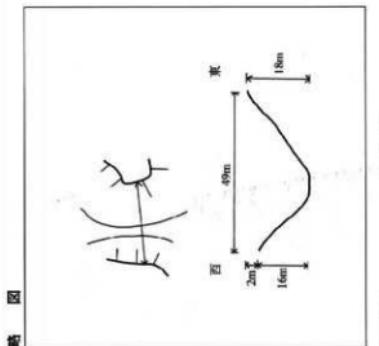
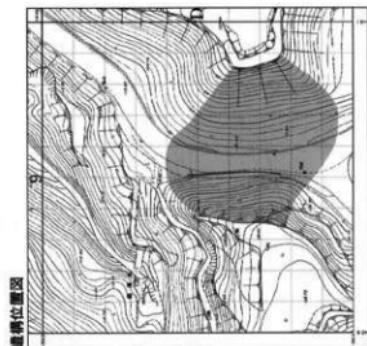
全景 (北より)



測量位置図	切通掘切 堀切	地 区 名	御裏林	地区番号	D9	延 長	約55m	高さ(深さ)	西側: 16m 東側: 18m	幅	上端: 45m 下端: 6m	勾 配	石 材	積み方	數 量	現 状	下端部分は市漁として利用されている

特記事項

*堀切の東側には、入ることが出来ないため、レーザー測量及び、地図上の測量とした。
*道路として利用されているところ以外の状態は良好と考えられる。

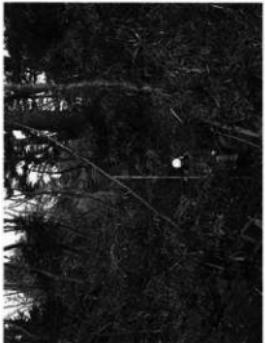


調査年月	03/05/28	調査者	中山
------	----------	-----	----

全景(北東より)



近景(北より)



全景(南東より)



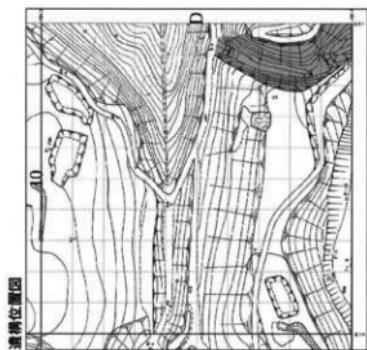
測量番号	照切2 北半 (1)
地区名	御褒林
地区番号	D10
延長	61m
高さ(深さ)	4.0~6.1m
幅	上端:11.9~17.1m 下端:1.8~2.4m
勾配	
石材	
積み方	
数量	

現状

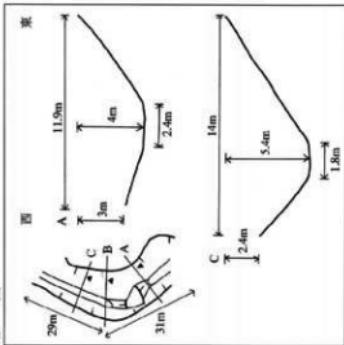
- 斜面の急傾斜に沿っていろいろなものが散在する。
- それが、他の地質と異なり、
- 森林、灌木、草木などがあり、根張りしている。

特征現象

- 右側よりも左側が高い。
- 山の尾根部分を切っている。
- 中央部分に土壌状高まりがある。



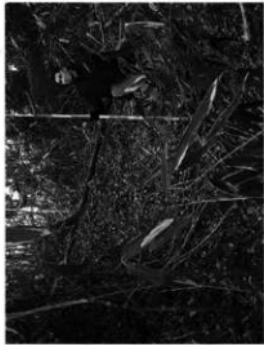
路図



土壤状高まり（北西より）



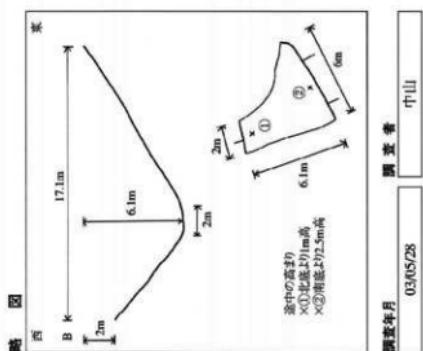
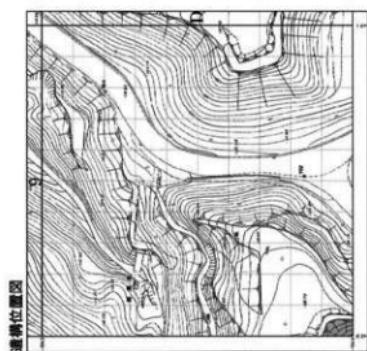
土壤状高まり（北西より）

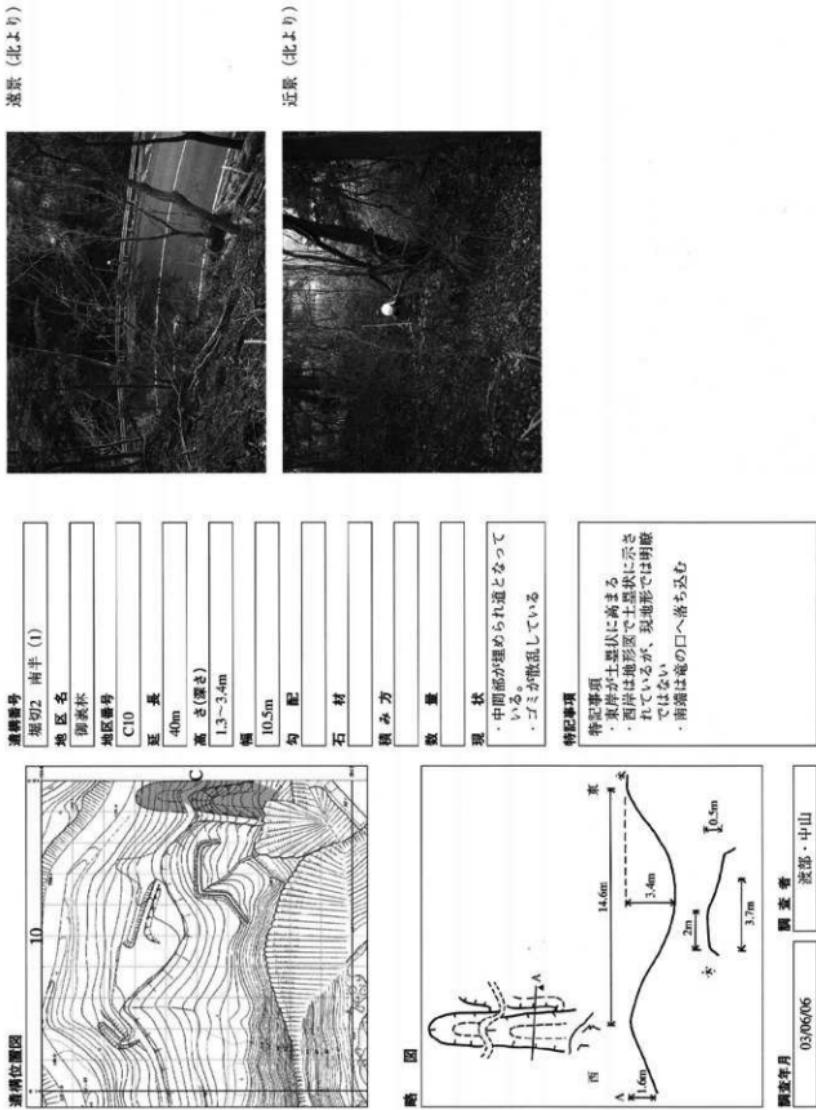


土壤状高まり（南東より）



測量番号	測量切2 北半 (2)	
地区名		
御裏林		
地区番号		
D9		
延長		
高さ(深さ)		
幅		
勾配		
石材		
積み方		
数量		
現状		
特記事項		





東岸の高まり（北西より）



西岸方向（北東より）



測量位置図



地図



近景(北西より)



近景(北西より)



測量番号

掘切3 北半 (1)

地区名

御裏林

地区番号

D13, D14, E14

延長

76m

高さ(深さ)

1.8~3.3m

幅

6.6~8.4m

勾配

-

積み方

石材

数量

-

現状

-

良好

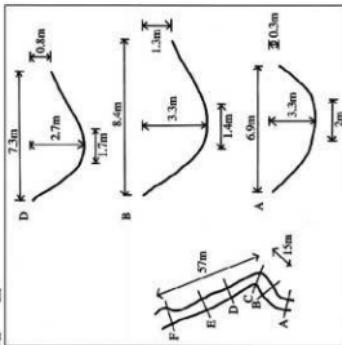
特徴概要

- ・葉面が広くなっている
- ・北端はそのまま自然の沢につながる
- ・断面A付近が一番高く、北に向かって傾斜している

測量位置図



断面図



近景(北西より)



近景(北西より)



遺構番号

掘切3 北半(2)

地区名

御裏林

地区番号

D13、D14、E14

延長

高さ(深さ)

幅

勾配

石材

積み方

数量

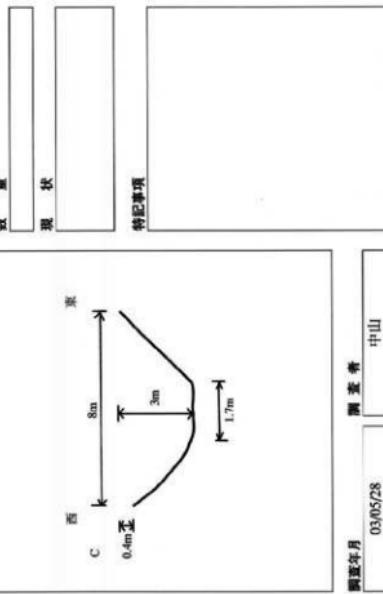
現状

特記項

遺構位置図



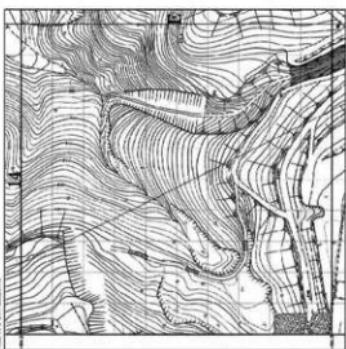
略図



添景(南東より)



測量位置図

測量番号
測量番号
測量番号北半 (3)
地区名
御萩林D13、D14、E14
延長高さ(深さ)
桿

勾配

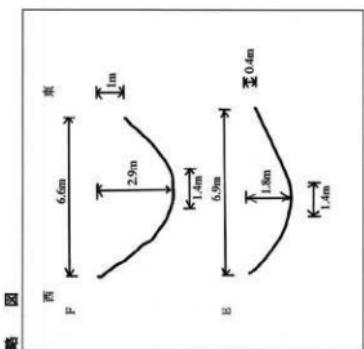
石材

積み方

数量

現状

特記項目



調査年月 03/05/28	調査者 中山
------------------	-----------

近景(北より)



近景(北より)



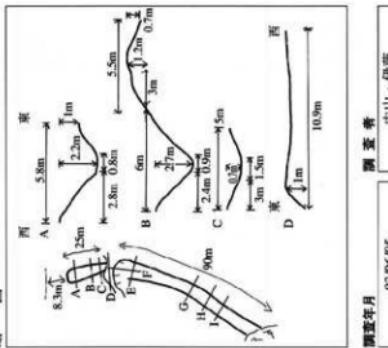
中間の埋没箇所(東より)



測量位置図



路図



調査年月

調査年月
03/06/05
調査者
中山 - 伊藤

近景(北より)



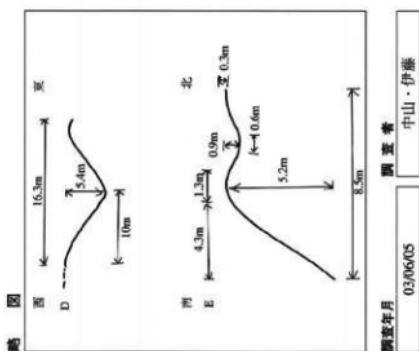
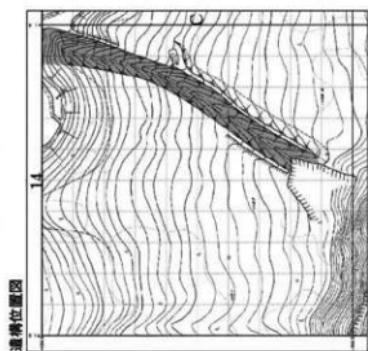
近景(北より)



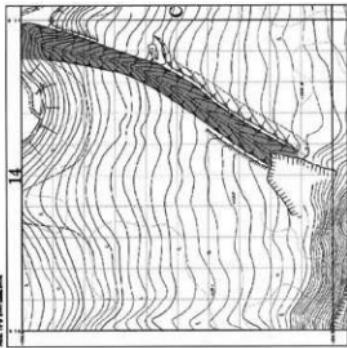
近景(北より)



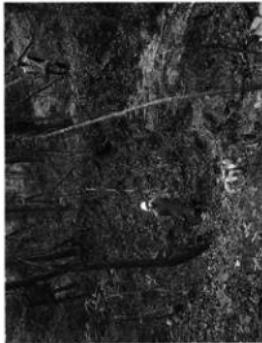
測量位置番号	掘切3 南半 (2)	中央部
地区名	御来林	
地区番号	C14, D14	
延長		
高さ(深さ)		
幅	5.4m (D)	
勾配	16.3m (D)	
石材		
積み方		
数量		
現状		
特記事項		



測量位置図



近景(北より)



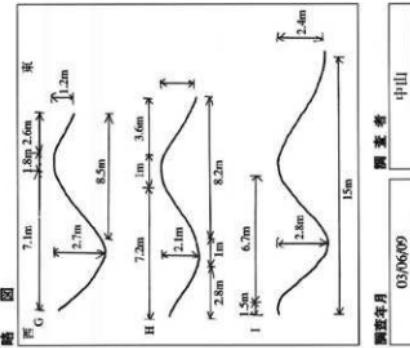
近景(北より)



測量番号

施設番号	掘削3 南半 (3) 南部
地区名	御裏林
地区番号	C14、D14
延長	
高さ(深さ)	
幅	
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 南端は土砂崩れが起きており 危険 笹竹が多い
特記項	<ul style="list-style-type: none"> 南端の削削は、そのまま谷となる
測量年月	03/06/09
測量者	中山

地図



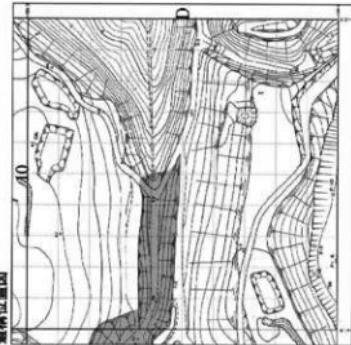
全景(東より)



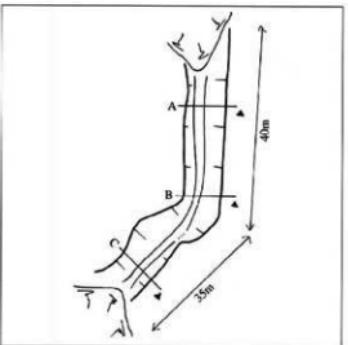
全景(東より)



測量番号



路 図



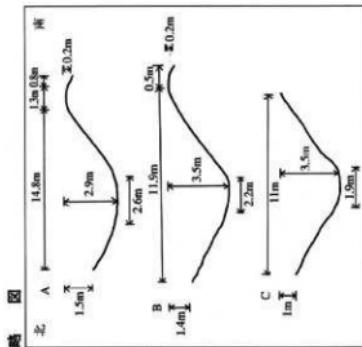
近景(東より)



造物位置図



断面図



調査年月 03/06/05
調査者 中山・伊藤

全景(北西より)



全景(北より)



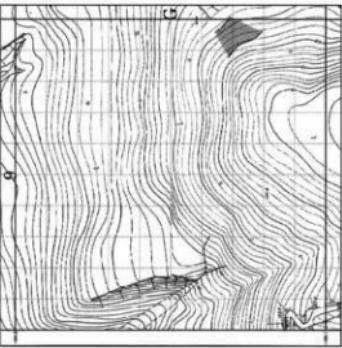
全景(南東より)



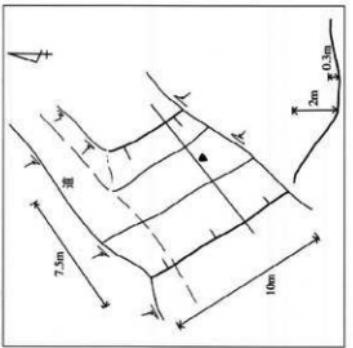
測量位置図

測量番号	
測量名	
地区番号	
G9	
延長	10m
高さ(深さ)	2m
幅	7.5m
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	
備考	草木繁る

測量位置図



路図



調査年月 03/07/02 測量者 渡部

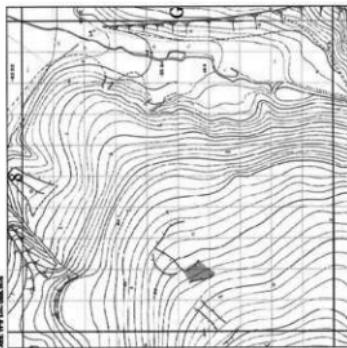
全景(西より)



全景(北より)

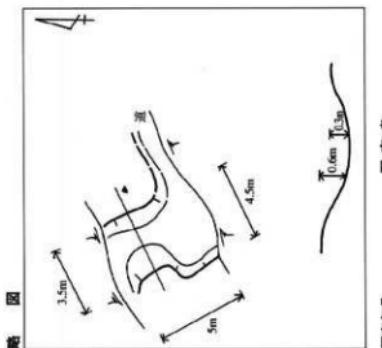


測量位置図



測量番号	
施設番号	
地区名	御裏林
地区番号	G8
面積	5ha
高さ(深さ)	0.6m
傾斜	3.5-4.5%
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	草木繁る

特記事項
 屋根線を
 ごく浅いものだが、屋根線を
 切る毛なので端刃としめた
 道があるため、改修されている
 ようで、本來の地形は判断
 しにくく
 不整地であるが、広い方と狭
 い方のどちらかが本来の形か分
 からない



調査年月	03/07/02
調査者	渡部

南端部(南東より)



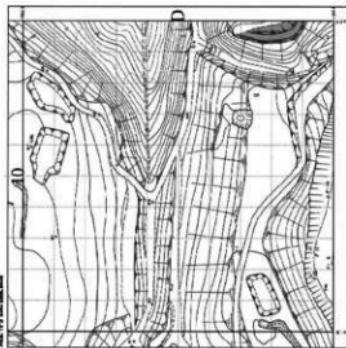
中央部(南より)



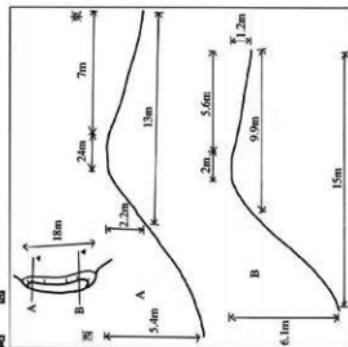
北端部(北より)



測量位置図



路 図



調査年月

03/06/02

調査者

中山・伊藤

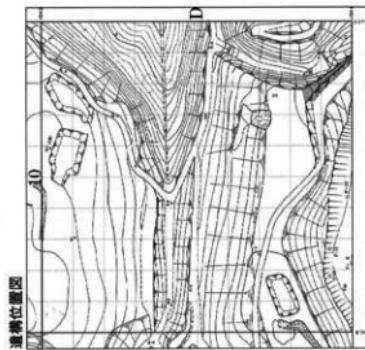
近景(南東より)



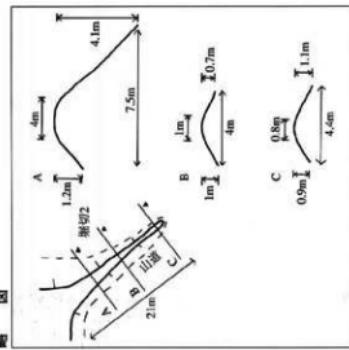
近景(南より)



測量番号	
地区名	御裏林
地区番号	
D10	
延長	21m
高さ(原さ)	0.7~4.1m
幅	4m~7.5m
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	良好
特記事項	山道を作る際に削られて十数本に見える可能性もあるが、確かに隣接するため植栽と理解した。



路図



調査年月 調査者

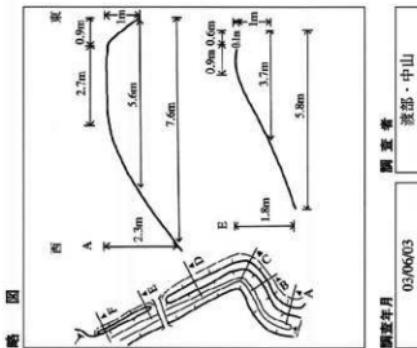
近景(北より)



近景(北より)



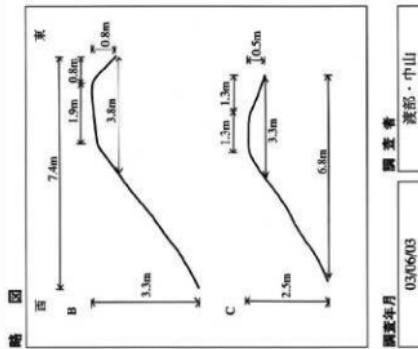
測量位置番号	○-14
地区名	御裏林
地区番号	D13, D14, E14
延長	81.5m
高さ(深さ)	西側: 1.8~2.5m 東側: 0.1~1.0m 上端: 0.5~3.6m 堪能から: 5.8~7.6m 反対側から: 1.5m~3.9m
標高	勾配
石材	積み方
質量	形状
	良好 ・傷から南に8~10m間の部分 が欠けている
	特記事項 ・遊歩道で削削られたと考え られる ・遊歩道の歩道の部分の土器 は、造成時に壊されたと考え られる



近景(北東より)



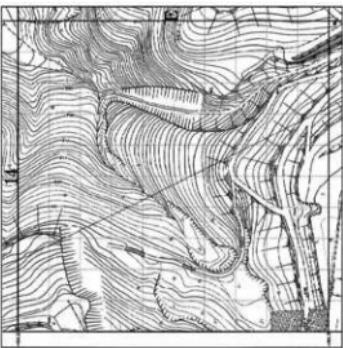
測量番号	13
地区名	御裏林
地区番号	D13
延長	
高さ(直径)	
幅	
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	
特記事項	



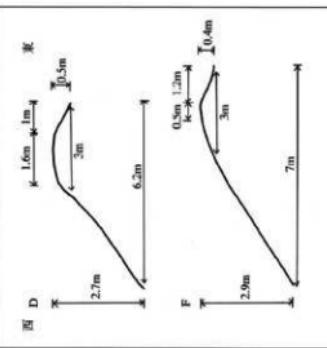
近景(北西より)



測量位置図



路 図



調査年月

03/06/03

調査者

淡部・中山

測量(北西より)

測量番号	土盛3(3)
地区名	御来林
地区番号	E14
延長	81.5m
高さ(深さ)	
傾 慎	
勾配	
石 村	
積み方	
数 量	
現 状	
特記事項	

測量位置図

近景(樹上)



測量部位図



地区名

御裏林

地区番号

D14

延長

24.5m

高さ(覆葉)

西側: 0.6~131.3m 東側: 2.0m

幅

上端: 0.9~1.0m 基部から: 5.0~6.0m
反対側から: 3.2~5.5m

勾配

石材

積み方

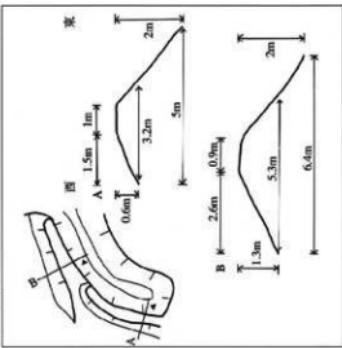
数量

現状

良好

特記項

路図



調査年月 _____ 調査者 _____

測量部位図

139

近景(西より)



近景(西より)



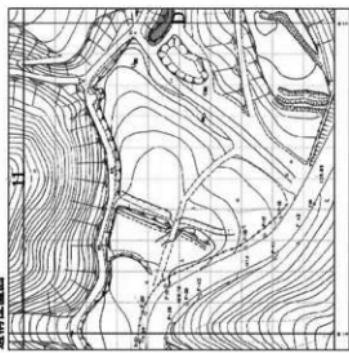
遠景(東より)



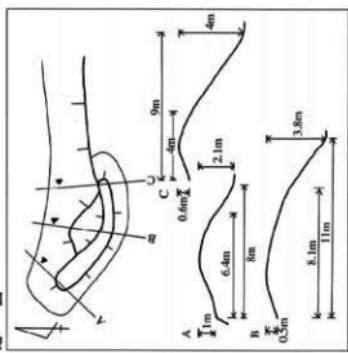
調査位置図

土器番号	
地区名	
御裏林	
地区番号	
D10, D11	
延長	21m
高さ(深さ)	0.5~1m (2.1~4m)
傾	4~8.1m (8~11m)
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	良好
特記事項	

地形位置図



断面図



調査年月 02/07/23 調査者 渡部

近景(南西より)



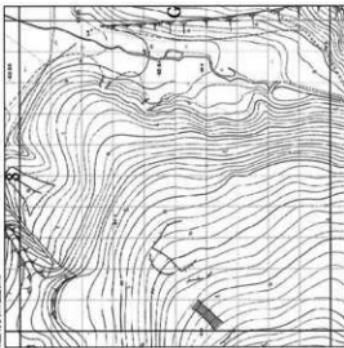
近景(南東より)



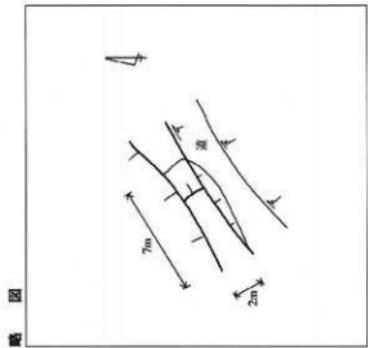
近景(北東より)



造林位置図



略図



調査月 03/07/02 調査者 渡部

全景(東より)



全景(東より)



測量部位

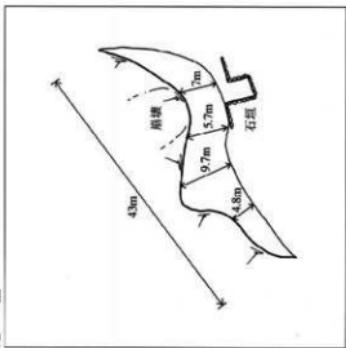
地区名	御裏林
地区番号	ES、E9
延長	
幅	
高さ(深さ)	
勾配	
石材	
積み方	
数量	
現状	

特記事項
 ・貯水池の前面に広がる不整形の平場
 ・大深沢に面する
 ・石垣石材が散乱している
 ・地形図と比べると、沢の侵食が進んでいる。

測量位置図



路図



調査年月
03/05/20
調査者
渡部・中山

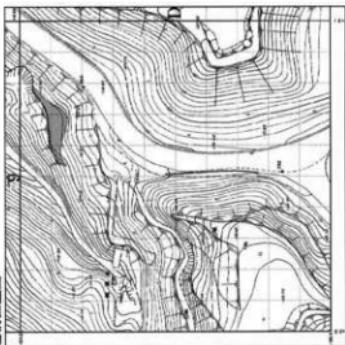
全景(東より)



全景(西より)



測量位置図



路図

路図

現状
・雨個は、かなり土砂が流入している

特記事項



調査年月 03/05/23	調査者 波部・中山
------------------	--------------

全景(東より)



全景(南より)



測量番号
御清水平場 平場3
地区名
御裏林
地区番号
D9

延長
8.1m

高さ(深さ)
4.8m

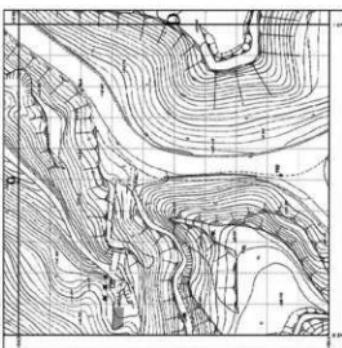
勾配
石材

積み方
数量

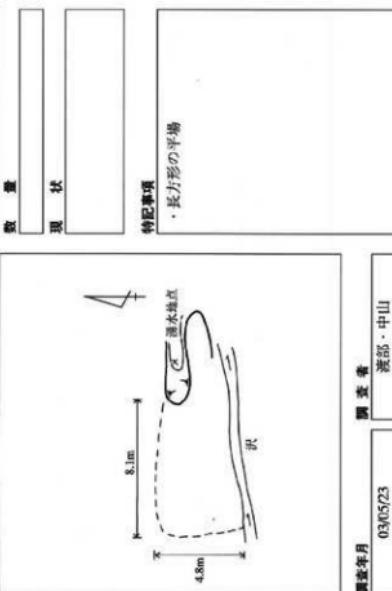
現状

特記事項
・長方形の平場

測量位置図



踏図



調査年月

03/05/23 調査者 深部・中山

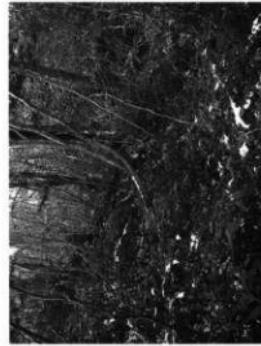
全景(丙より)



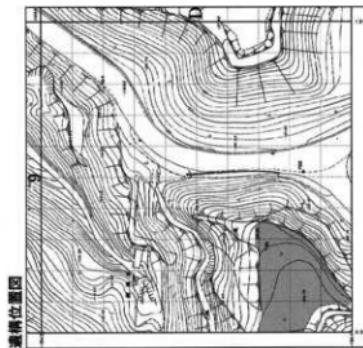
全景(西より)



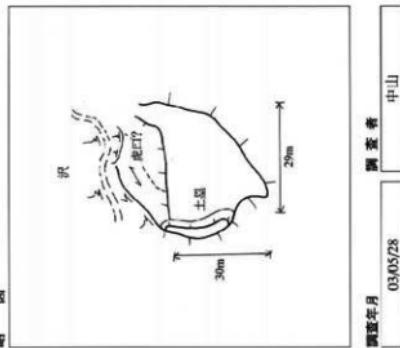
平場の北側斜面(東より)



測量位置図		現状		特記事項	
地区名	切通西側平場 平場4	樹木、笹叢見通しがきかないと		・標高2mの東側にある平場	
地区番号	御裏林			・平場西端に土壠がある	
D9				・北側が平場への虎口と考えられる	
延長					
幅	30m				
高さ(深さ)	29m				
勾配					
石材					
積み方					
数量					



路図



全景(東より)



全景(東より)



測量番号

平地5

地区名

御菴林

地区番号

D10

延長

35.2m

高さ(深さ)

幅

2.7~4.0m

勾配

石材

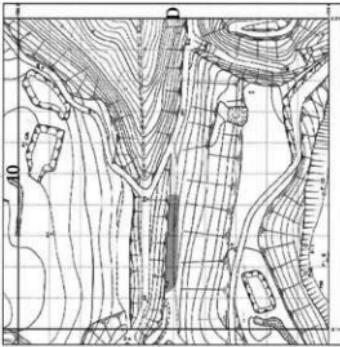
積み方

数量

現状

特記事項

測量位置図



附図

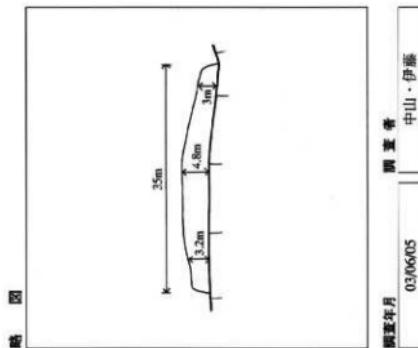
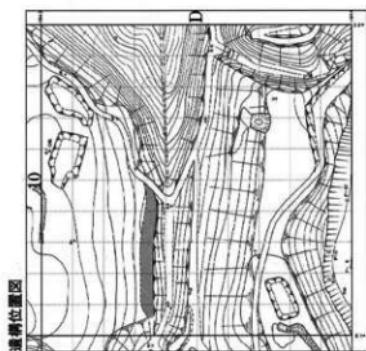


測量年月 03/06/05
測量者 中山・伊藤

全景(西より)



遺跡番号	平場6
地区名	御裏林
地区番号	D10
延長	35.0m
高さ(深さ)	
幅	3.0~4.8m
勾配	
積み方	
数量	
現状	
特記事項	



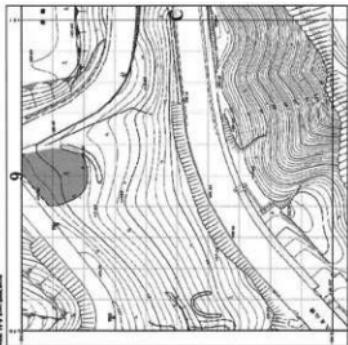
全景(西より)



全景(西より)



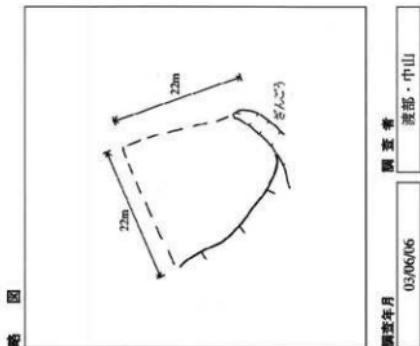
測量位置図



地図

測量位置図

測量者号	平均7
地区名	御真林
測区番号	C9
延長	幅
高さ(深さ)	勾配
石材	積み方
数量	現状
	物記整理



調査年月

03/06/06

調査者

渡部・中山

全景(南西より)

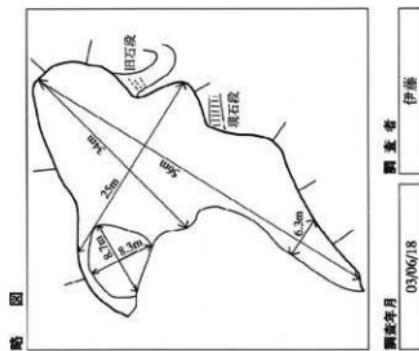


全景(北東より)



測定位置図		測定結果							
測定番号	測定日	地区名	測量者	地区番号	延長	勾配	積み方	数量	現状
月次定期地下場 平場S (1)		御裏林		H10	5cm	福 25m	積み方	数 量	現 状 ・良好

物記現
 ・西側に径8cm程の円形の落ち込みあり(落ち葉、木片等積のため)
 ・北側に地形水が現在中央部に堆積、両側部にあずまや



遺跡番号	全景(南より)		
測量点地平線 平標高 [2]	石面鏡		
地区名			
御裏林			
地区番号			
H10			
延長			
1.9m			
高さ(深さ)			
1.2m			
傾斜			
0.8~1.6m			
勾配			
30°			
石材			
自然石			
積み方			
数量			
21 6袋			
現状			
特記事項	・下部石材(4t)の更に上にトロに も石材がある(ビンホールにて調査)		
遺構位置図			
輪 図			
調査年月			
調査者			

全景(北より)



全景(南より)



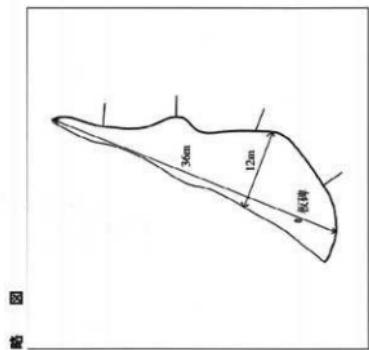
板碑(北より)



遺跡位置図



附 図



特記事項

- ・南側二板碑あり
- ・川内古碑群1号碑 (正安4年
[1302] 碑)
- ・川内古碑群2号碑 (弘安10年
[1287] 碑)
- ・栗林一杉木現存

調査年月 03/06/18 調査者 伊藤

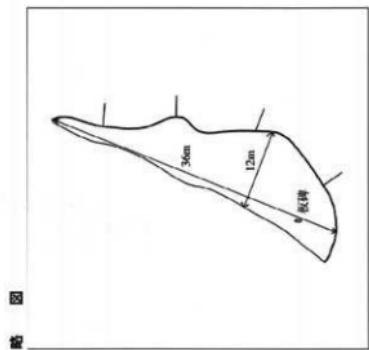
全景(北より)

遺跡番号	平場9
地区名	御裏林
地区番号	H10
延長	36m
高さ(漢丈)	12m
幅	
勾配	
積み方	
石材	
数量	
現状	良好

遺跡位置図



附 図



調査年月 03/06/18 調査者 伊藤

全景(前より)



測量位置図



地区番号

平場10

地区名

御裏林

地区番号

H10

延長

15m

幅

13m

勾配

-

石材

-

積み方

-

数量

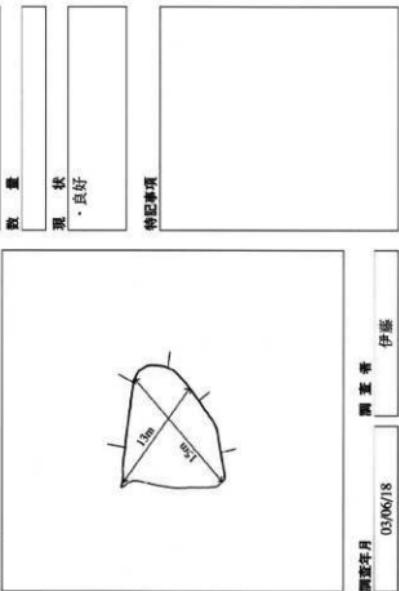
-

現状

・良好

物記事項

路図

調査年月
03/06/18
調査者
伊藤

全景(南より)



全景(北東より)



造林番号

平場11

地区名

御裏林

地区番号

GR8

区長

7.2m

高さ(深さ)

2m

勾配

材種

積み方

数量

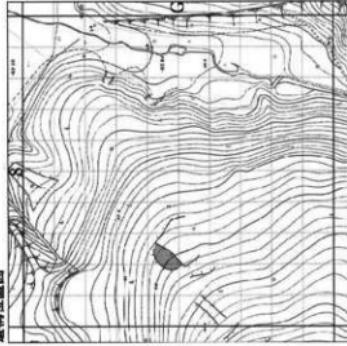
現状

・草木繁茂する
・木が倒れている

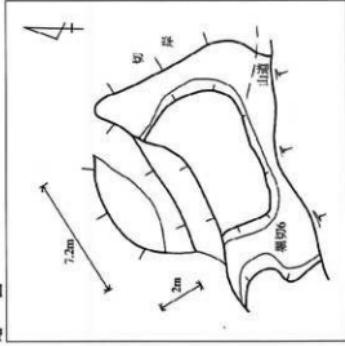
特記事項

・半月状の小さな段
・上段より1.4mトガる

造林位置図



輪 図



調査年月

03/07/02

調査者

渡部

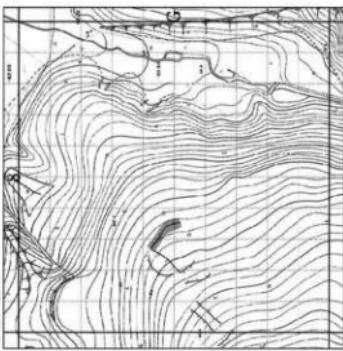
近景（南東より）



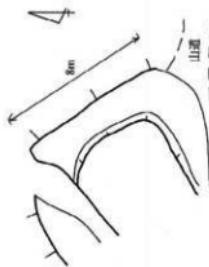
近景（南西より）



測量位置図



路 図



特記事項
・急な傾斜で落ちていく
・切岸上は標高1.5~2mの狭い平
地がある

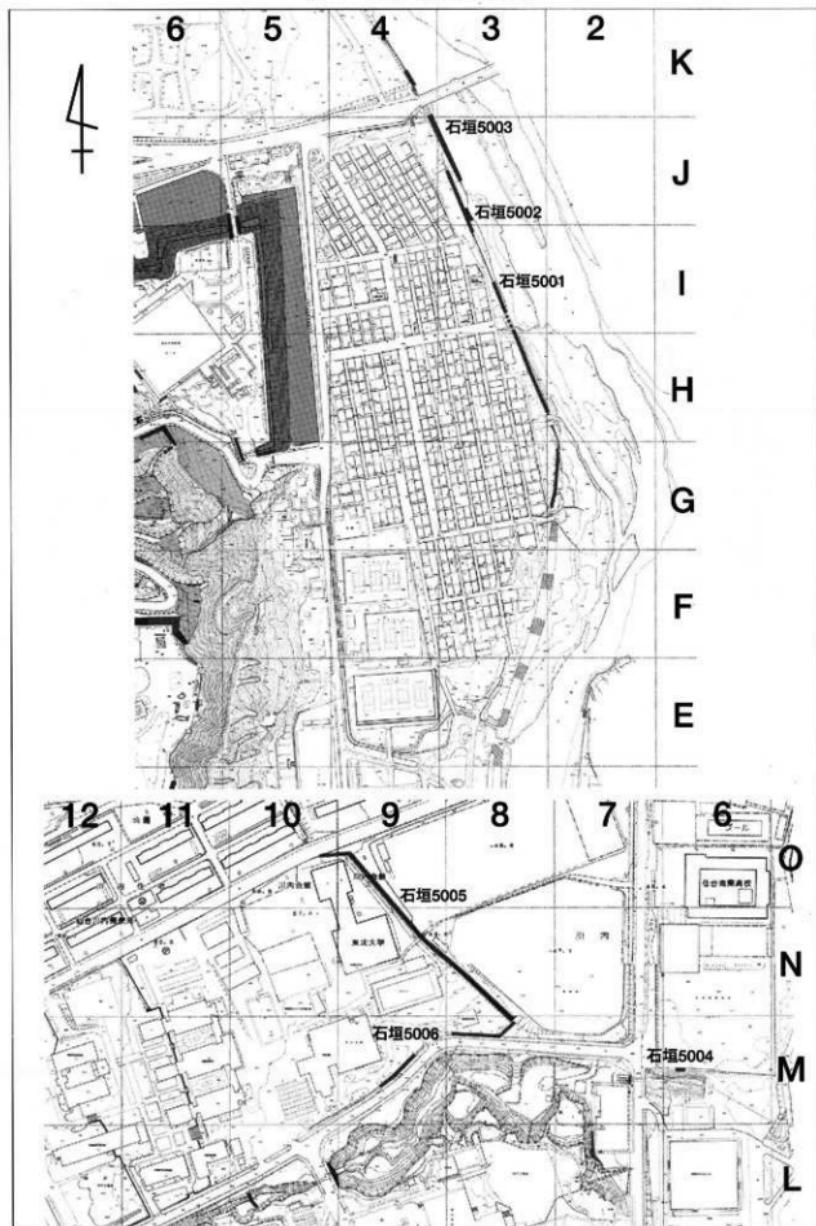
調査年月
03/07/02

調査者
渡部

測量位置図

切岸1	
地区名	御袁林
地区番号	G8
延長	8m
高さ(深さ)	
幅	
勾配	43°
石 材	
積み方	
數 量	
現 状	

6 その他の地区



第8図 その他の地区的全体図

遠景(東より)



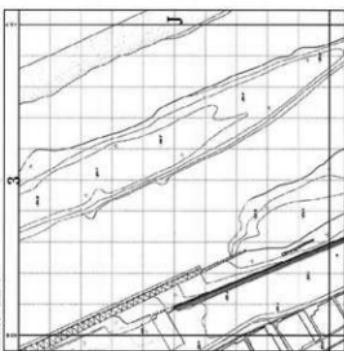
北端部近景(北東より)



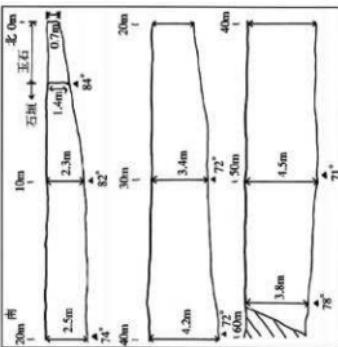
北端部近景(南東より)



測量位置図



輪 図



調査年月

03/05/07

調査者

深部・伊藤

測量番号

広瀬川源岸石垣1 石垣500(1)

地区名

その他

地区番号

G2, H3, I3, J3

延長

260m

高さ(漢字)

0.7~4.5m

幅

勾配

71°~84°

石材

自然石・削石

積み方

乱積み

数量

現状

・良好

近景(東より)



矢穴のある石材(東より)



矢穴のある石材(東より)

地図番号
広瀬川左岸片石垣 1 石垣9001(2)地区名
その他地区番号
G2, H3, B, J3
延長

高さ(深さ)

傾斜

勾配

石材

積み方

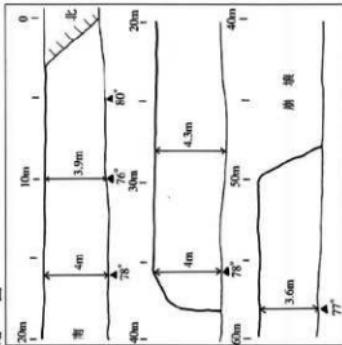
数量

現状
・長さ約15mにわたり崩れています。特記事項
・崩れ前の北側の石垣に、矢穴で削られた石柱が比較的多く見られる。

道路位置図



断面図

調査年月
03/05/26 調査者
渡部

崩れた部分（南東より）



崩落石材（南東より）



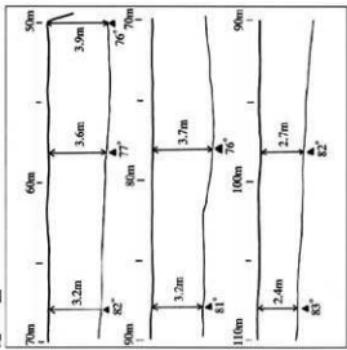
崩れ部西端の近景（北東より）



調査位置図



路 図



調査年月

03/05/26

調査者

波部

近景（東より）



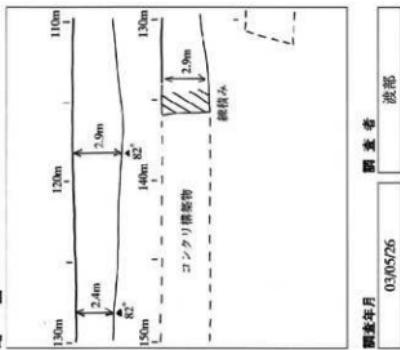
遠景（南東より）

遠景（南東より）
コンクリート製樋渠物（北東より）

測量位置図



路図



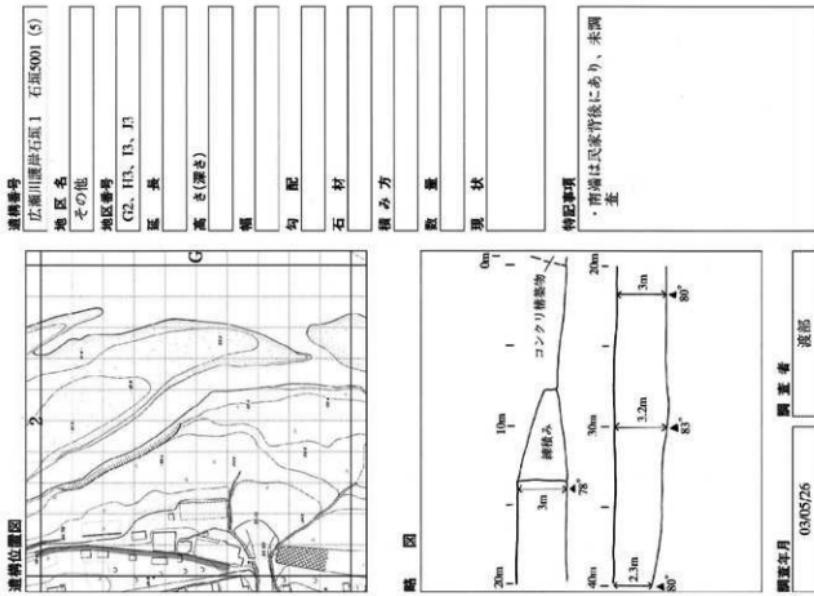
測量番号	広瀬川護岸石垣1 石垣3001 (4)
地区名	その他
地区番号	G2, H3, B, J3
延長	
高さ(深さ)	
傾斜	
勾配	
石材	
積み方	
数量	

測量位置図

近景(東より)



近景(東より)



全景(東より)



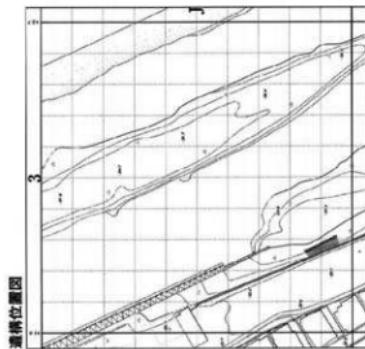
近景(東より)



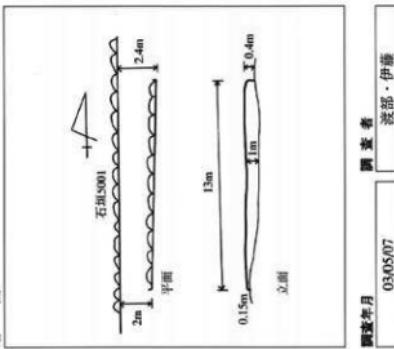
近景(東より)



測量番号	広瀬川護岸石垣2 石垣5002
地区名	その他
地区番号	
13	
延長	13m
高さ(深さ)	0.15~1m
幅	76
勾配	
石材	自然石
積み方	乱積み
数量	3段
現状	良好
特記事項	
・良好な部分で3段 ・石垣5001の前面の低い石垣	



略図



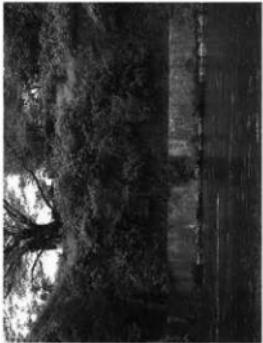
全景(東より)



全景(東より)



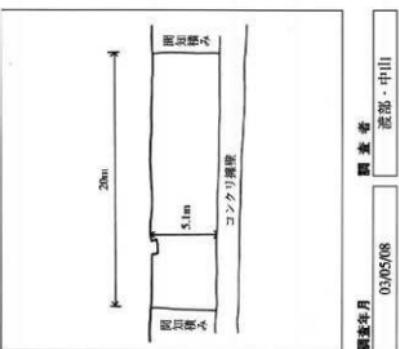
全景(東より)

選択箇所番号
広瀬川新野石垣3 石垣S03 (1) 北平地区名
その他地区番号
K4延長
約200m高さ(深さ)
排水路高さで5.1m、さらにも下にコンクリ
幅勾配
不規則な斜面石材
切石積み方
整礎積み数量
未記載現状
良好

特徴項目

・南端はよつきり見えない
・北端は開拓積み石垣に接する

断面図

調査年月
03/05/08調査者
渡部・中川

全景(東より)



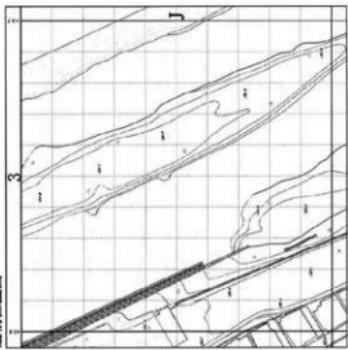
近景(東より)



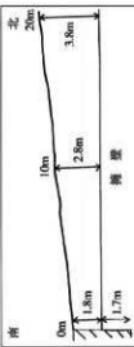
近景(東より)



道路位置図



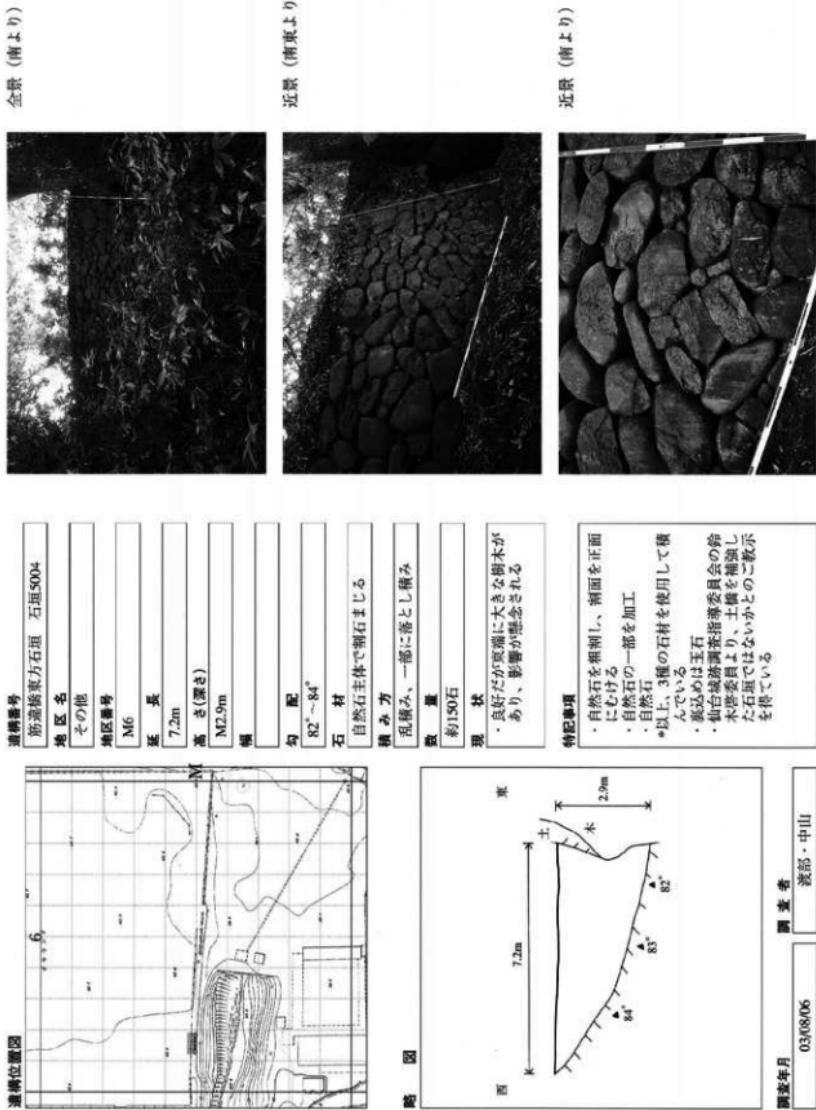
断面図



特記事項

- ・雨落、間知積み石垣
- ・南端 3段
- ・石垣の下1.7mコンクリで覆われる。

調査年月 03/05/08 調査者 渡部・中山



全景(北より)



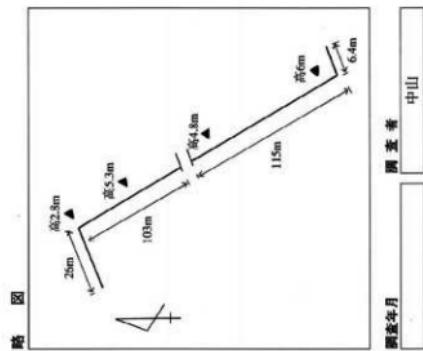
近景(北東より)



近景(北東より)



測量番号	北方武家屋敷石垣1 石垣5005	
地区名	その他	
地区番号	M8, NS, N9, O9, O10	
延長	222m	
高さ(深さ)	2.8~6.0m	
幅		
勾配		
石材		
切石		
積み方		
整頓積み		
数量		
現状	・良好	
特記項	平成15年5月に一部崩落 ・倒れ方に玉石とコンクリート	



近景(北東より)



近景(北東より)



AB角部(南より)

遺構位置図
北方式屋敷石垣2 石垣506 A面

地区名	その他
地区番号	M8
延長	19.5m
高さ(深さ)	1.2m
幅	77
勾配	
石材	切石
積み方	整置積み
数	4段
量	良好

特記項

- 築造不明
- 近代以降の可能性が考えられる

遺構位置図



略図

調査月 03/09/05 調査者 渡部

全景(東より)



近景(南より)



矢穴(南より)

道路位置図
北方式家敷石油2 石油506 R面

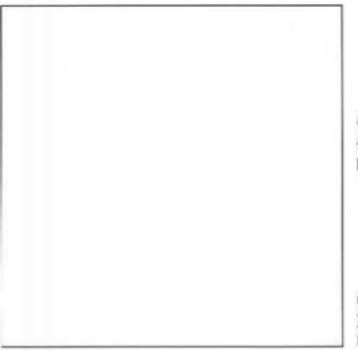
地区名	その他
地区番号	
延長	
39m	
高さ(深さ)	
0.4~1m	
幅	
勾配	
85°、86°	
石材	
切石	
積み方	
並置積み	
数量	
1~4段	
現状	
・良好	

特記事項
・裏込め不規
・AB角部は尖角で、斜木積み。
・ABは江戸切りであるが石面
505や、養國神社周辺の石面
の加工に似ることから近代以
降の複数の工能性が窺い
・矢穴2ヶ所あり
①開口5cm×深4cm
②開口7cm×深5cm

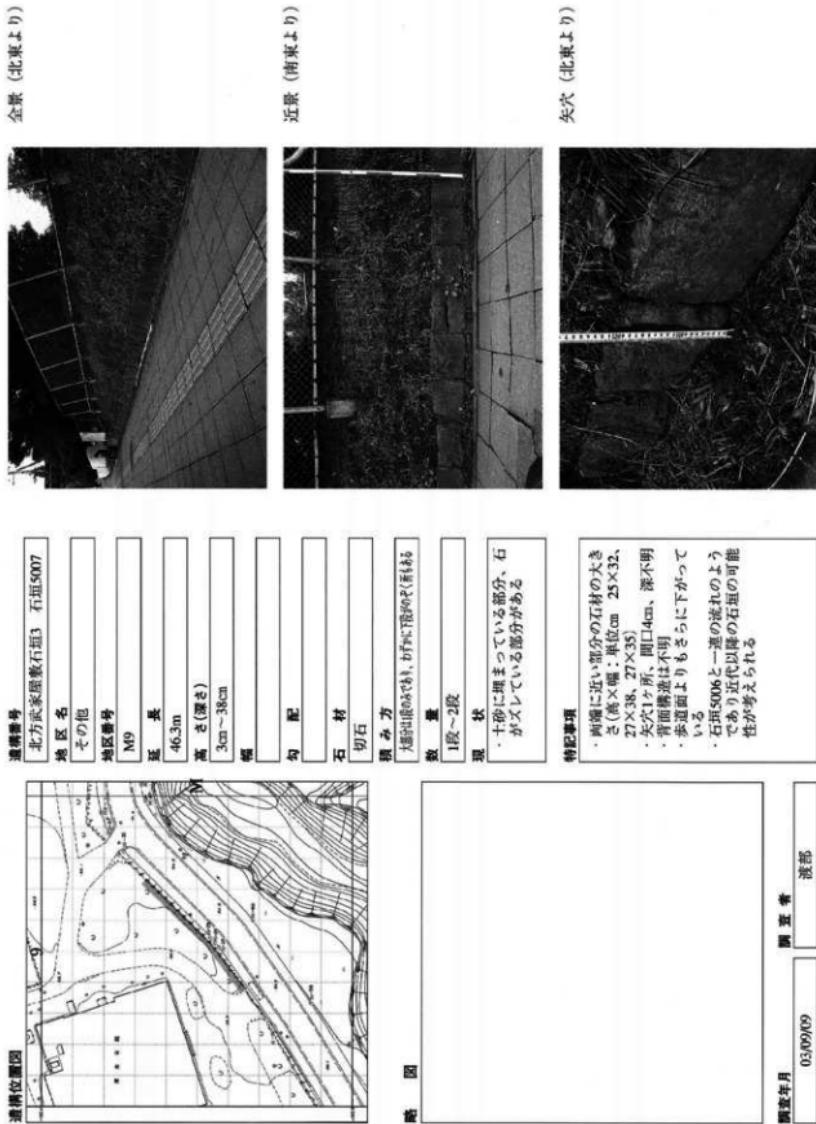
道路位置図



断面図



調査年月 03/09/05	調査者 渡部
------------------	-----------



IV ま と め

仙台城跡全域の遺構分布調査の結果をまとめたものが第10図である。ここには、今回は台帳を報告していないが平坦な地形がみとめられる範囲も平場として着色している。

(1) 本丸地区

北側、北西側に切石を使用した高石垣が存在する。東側の崖地に面して自然石や割石を使用した石垣が認められるが、自然崩壊が進み危険な状況である。南縁部には大番士土手（土塁1001）が築かれており、残存状況は良好である。なお、今回は史跡未指定の民有地である西半部の分布調査は行っていない。

(2) 二の丸地区

千貫橋跡、前述橋跡に切石を使用した石垣が存在するが、一部改変を受けている。西縁の小石垣2001は、二の丸西縁を区画する跡跡の基礎の可能性が高い。

(3) 三の丸地区

子門跡、奥門跡の両側に石垣が存在する。曲輪西縁の土手下に自然石や割石を使用した石垣（石垣3004・3005）が存在するが、湧水があり保存状態は悪い。

(4) 登城路地区

奥門からの登城路周辺に石垣が存在する。いずれも自然石や割石を使用した石垣である。清水門石垣（4010）、沢門下石垣（4007）以外は保存状況が良好である。

(5) 御裏林地区

本丸西側には尾切1、堀切2、堀切3の南北方向にのびる3条の堀切が存在するが、さらに東西方向の堀切4が存在する。御清水から中鶴池方向へのびる尾根上にある堀切5、堀切6、土塁8、平場8、切岸などの遺構群は、仙台城跡調査指導委員会の千田嘉博委員からは中央にさかのほる砦遺構の可能性が高いとの指導をいただいた。

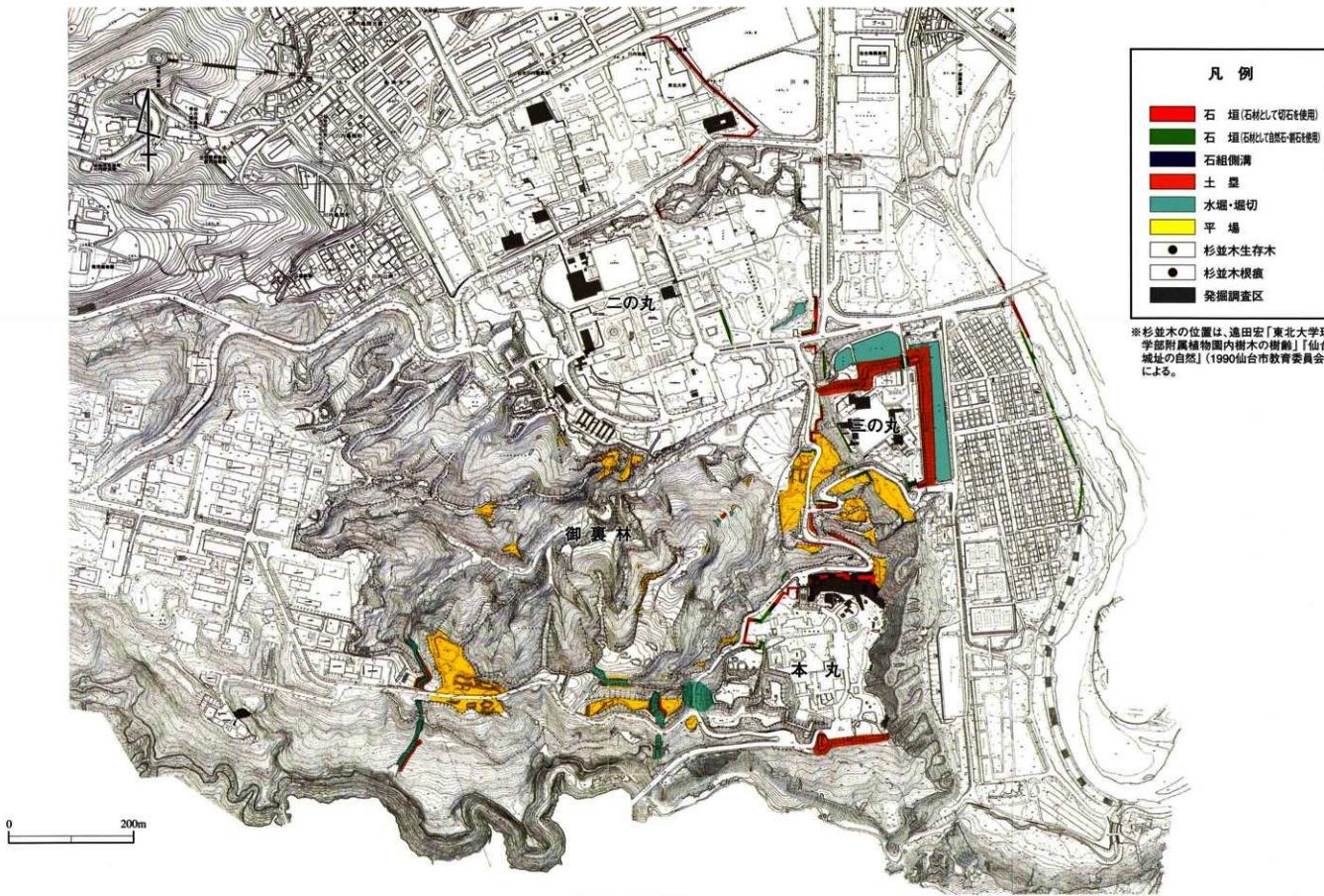
第9図には、塹壕と考えられる細長く屈曲する溝や、大きなくぼ地、亜炭坑と考えられる穴など、近代以降に構築された可能性のある遺構の位置を示した。アミで示した平場のなかには塹壕と考えられる溝や小規模な土塁を伴ったものがあり、第二師団期の工兵作業場であった頃に地形が改変された可能性も考えられるため、計測は行ったものの今回の報告では台帳を示さなかった。これらの遺構の所属時期等については古い地形図や絵図等の分析もあわせて今後とも検討していきたい。

(6) その他の地区

広瀬川西岸に位置する護岸石垣の規模を計測した。また今回は調査していないが、人橋北側の川底には、近世期の人橋の橋脚跡と考えられる穴が認められることから、渇水時に調査していく必要がある。筋違橋東側では、自然石や割石を使用した石垣が発見された。

第9図 近代以降の可能性が考えられる遺構 ○平場 △土壙 □堤(築堤) ◎防空壕 ? ●垂放坑?





第10図 遺構全体図

報告書抄録

ふりがな	せんだいじょうあと				
書名	仙台城跡4				
調査名	-平成15年度 調査報告書-				
巻次	4				
シリーズ名	仙台市文化財調査報告書				
シリーズ番号	第271集				
編著者名	渡部 紀 中山 純 伊藤 隆				
編集機関	仙台市教育委員会				
所在地	〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7-1 TEL 022-214-8544				
発行年月日	2004年3月31日				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	調査地地点	コード 市町村 遺跡番号 04100 01033 北緯 東経	調査期間 2003.05.07 ～ 2003.08.08	調査面積 約145ha
仙台城跡	宮城県仙台市 青葉区川内ほか		38°15'01" 140°51'35"		重要遺跡の 遺構確認調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
仙台城跡	城館跡	江戸時代	石垣、土塁 堀切、平場		分布調査を行い、石垣、堀切 などの遺構の所在を確認し、 記録した。

教育局文化財課

仙台市文化財調査報告書第271集

仙 台 城 跡 4

— 平成15年度 調査報告書 —

2004年3月

發 行 仙 台 市 教 育 委 員 會
仙 台 市 青 菜 区 駐 分 町 三 丁 目 7-1
文 化 部 深 022(214)8544

印 刷 株 式 会 社 仙 台 紙 工 印 刷
仙 台 市 青 菜 区 二 丁 目 7-14
TEL. 022(231)2245

